



Copyright © 2014 Raritan, Inc. DKX3-v3.0.0-0B-J 2014 年 2 月 255-62-0001-00 本書には、著作権によって保護されている専有情報が含まれています。無断で転載することは禁じら れており、本書のいかなる部分も、Raritan, Inc.より事前に書面による承諾を得ることなく複写、複 製、他の言語へ翻訳することはできません。

© Copyright 2014 Raritan, Inc. 本書に記載されているサードパーティ製のすべてのソフトウェアおよびハードウェアは、それぞれの所有者の登録商標または商標であり、それぞれの所有者に帰属します。

FCC 情報

この装置は、FCC 規則のパート 15 に定められたクラス A デジタル装置に関する規制要件に基づき試験が実施され、その適合が認証されています。これらの規制要件は、商業環境において機器を使用する際、有害な干渉に対する妥当な保護を提供するために設けられています。この機器は、無線周波数 エネルギーを生成かつ利用すると共に、放射することもあります。取扱説明書に従って設置および使 用が行われない場合は、無線通信に有害な干渉を引き起こす恐れがあります。この機器を住宅地で利 用すると有害な干渉を引き起こす場合もあります。

VCCI 情報 (日本)

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用す ると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な 対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

Raritan は、事故、災害、誤用、乱用、本製品の Raritan 製品以外への改良が起因する、または Raritan が適切にコントロールできないような状況下、もしくは通常の操作以外で発生した本製品への損傷に 対して一切責任を負いません。

本製品に付属されている電源ケーブルは、本製品でのみ使用してください。



はじめに

	-
概要	1
ヘルプでの最新情報	1
パッケージの内容	2
KXⅢの写真および機能	2
ハードウェア	2
ソフトウェア	3
Dominion KX3-832	4
Dominion KX3-864	6
モデルごとにサポートされているユーザ数とポート数	7
KXⅢ リモート/ローカル コンソール インタフェース	7
KX III KVM Client アプリケーション	8
KXⅢ オンライン ヘルプ	8

入門

KX Ⅲ の設置および設定	9
ポップアップの許可	9
セキュリティ警告および検証メッセージ	9
Java 検証およびアクセス警告	9
その他のセキュリティ警告	
証明書のインストール	
例 1: ブラウザへの証明書のインポート	11
例 2: [信頼済みサイト] への KX III の追加と証明書のインポート	
KX III へのログイン	14

KX III インタフェースおよびナビゲーション

概要	16
KXⅢ リモート コンソール インタフェース	16
[Port Access] (ポート アクセス) ページ (リモート コンソール ディスプレイ)	17
[Port Action] (ポート アクション) メニュー	20
	23



16

9

	KX III ローカル	コンソール	インタフェース		
--	-------------	-------	---------	--	--

Virtual KVM Client (VKC) へルプ

概要	26
ターゲット サーバへの接続	27
接続プロパティの設定	28
接続プロパティへのアクセス	28
接続プロパティの概要	28
デフォルトの接続プロパティ設定 - 最適化による最高のパフォーマンスの実現	29
[Optimize for] (最適化): 選択	30
[Video Mode] (ビデオ モード)	30
[Noise Filter] (ノイズ フィルタ)	31
接続情報	32
接続情報のアクセスおよびコピー	33
USB プロファイル	33
キーボード	34
[Send Ctrl+Alt+Del] (Ctrl+Alt+Del の送信) マクロ	34
[Send LeftAlt+Tab] (Send LeftAlt+Tab の送信)	34
CIM キーボード/マウス オプションの設定	34
[Send Text to Target] (テキストをターゲットに送信)	35
キーボード マクロ	35
マクロの新規作成	35
マクロのインポート	37
マクロのエクスポート	38
ビデオのプロパティ	39
画面を更新する	39
[Auto-sense Video Settings] (ビデオ設定の自動検出)	40
色の調整	40
ビデオ設定の調整	40
ターゲット コマンドによるスクリーンショット (ターゲット スクリーンショット)	42
マウス オプション	43
デュアル マウス モード	44
シングル マウス モード	47
ツール オプション	47
[General Settings] (全般)	47
クライアント起動設定	50
VKC および AKC でのポート スキャンの設定	52
表示オプション	54
[View Toolbar] (ツール バーの表示)	54
[View Status Bar] (ステータス バーの表示)	54
[Scaling] (拡大、縮小)	54
[Full Screen Mode] (全画面モード)	55
仮想メディア	56
仮想メディアを使用するための条件	56



ローカル ドライブのマウント	57
仮想メディアによりサポートされているタスク	58
サポートされている仮想メディア タイプ	
サポートされている仮想メディア オペレーティング システム	59
サポートされている仮想メディア ドライブ数	59
仮想メディアの接続および切断	60
Windows XP 環境での仮想メディア	62
Linux 環境での仮想メディア	63
Mac 環境での仮想メディア	63
仮想メディア ファイル サーバのセットアップ (ファイル サーバ ISO イメー	・ジの場合
のみ)	64
スマート カード	65
スマート カードの最小システム要件、CIM、およびサポートされているスマ-	-ト カー
ド リーダーとサポートされていないスマート カード リーダー	65
スマート カード リーダーへのアクセス時の認証	66
スマート カード使用時の PC 共有モードおよびプライバシー設定	66
スマート カード リーダーの検出	66
スマート カード リーダーのマウント	67
スマート カード リーダーの更新	67
スマート カードの取り外しおよび再挿入の通知の送信	68
スマート カード リーダーのアンマウント (取り外し)	68
デジタル音声	68
サポートされている音声デバイス形式	
音声の再生とキャプチャに関する推奨事項と要件	
音声レベル	69
PC 共有モードが有効になっている場合の音声接続に関する推奨事項	
带域幅要件	70
音声設定の保存	72
単一のリモート クライアントから複数のターゲットへの接続	72
デジタル音声デバイスの接続および切断	73
キャプチャ/再生バッファ サイズの調整 (音声設定)	76
バージョン情報 - Virtual KVM Client	76

Active KVM Client (AKC) $\sim n J'$

概要	
ターゲット サーバへの接続	
AKC でサポートされている Microsoft .Net Framework	79
AKC でサポートされているオペレーティング システム	79
AKC でサポートされているブラウザ	
AKC を使用するため前提条件	
Cookie を許可	
"信頼済みサイト ゾーン" に KX III IP アドレスを追加	
"保護モード" を無効化	
AKC ダウンロード サーバ証明書の検証を有効にする	



KX Ⅲ リモート コンソール - KX Ⅲ エンド ユーザ ヘルプ

概要	
KX III へのログイン	
ポートのスキャン・リモート コンソール	
ポートのスキャンのスライド ショー・リモート コンソール	
ポート スキャン中のターゲット ステータス インジケータ・リモート コンソー	ル 85
ポート スキャン オプションの使用	
ターゲットのスキャン	87
パスワードの変更	
お気に入りの管理	
お気に入りの有効化	90
お気に入りのアクセスおよび表示	91

KX Ⅲ ローカル コンソール - KX Ⅲ エンド ユーザ ヘルプ

概要92
ターゲット サーバにアクセスする
ローカル コンソールの画面解像度
ユーザが同時接続可能
ホット キーと接続キー94
KXⅢ ローカル コンソール インタフェースへの切り替え - デフォルトのホット キー9
接続キーの例94
Sun サーバへのアクセス時に使用できる特別なキー組み合わせ
ポートのスキャン・ローカル コンソール
ポートのスキャンのスライド ショー・ローカル コンソール
ポート スキャン中のターゲット ステータス インジケータ・ローカル コンソール100
ローカル コンソール スキャンの設定101
ターゲットのスキャン - ローカル コンソール101



vii

目次

ローカル コンソールのスマート カード アクセス	102
ローカル コンソールの USB プロファイル オプション	103
KXⅢ ローカル コンソール ファクトリ リセット	104
デバイスのリセット ボタンによる KX Ⅲ のリセット	105

KXIII と Cat5 Reach DVI の接続 - 拡張ローカル ポート機能の提供

概要	
Cat5 Reach DVI の概要	
KX III と Cat5 Reach DVI @	の接続108

KX III から Paragon II へのアクセス

概要	111
サポートされている Paragon II CIMS および設定	112
KX III - KX III 構成の Paragon CIM に関するガイドライン	114
KX III - Paragon II 構成に関するガイドライン	115
Paragon II と KX III の間でサポートされている接続距離	117
KX III への Paragon II の接続	117

仕様

ハードウェア	119
KX Ⅲ の寸法および物理的仕様	119
KXⅢ でサポートされているターゲット サーバ画面解像度	
ターゲット サーバのサポートされている画面解像度、接続距離、およびリフレ	ッシュ
u - i	124
KXⅢ ローカル ポートのサポートされている DVI 解像度	
サポートされているコンピュータ インタフェース モジュール (CIM) の仕様	
サポートされているデジタル ビデオ CIM (Mac 用)	
デジタル CIM タイミング モード	
デジタル CIM の既定モードおよび標準モード	
DVI 互換モード	
サポートされているリモート接続	
ネットワーク速度の設定	
Dell 筐体を接続する場合のケーブル長と画面解像度	
スマート カードの最小システム要件	
サポートされているスマート カード リーダー	
サポートされていないスマート カード リーダー	
音声の再生とキャプチャに関する推奨事項と要件	
サポートされている音声/仮想メディアおよびスマート カード接続の数	
各言語に対して KX III でサポートされているキーボード	
Mac Mini BIOS のキー入力コマンド	
Windows キーボードによる Mac ターゲットへのアクセス	



119

107

使用される TCP ポートおよび UDP ポート	. 140
HTTP ポートおよび HTTPS ポートの設定	. 141
ソフトウェア	. 142
サポートされているオペレーティング システムとブラウザ	.142
Java および Microsoft .NET の要件	. 143
多言語対応キーボードの JRE の要件	.144
監査ログおよび Syslog でキャプチャされるイベント	.144

留意事項

概要	145
Java Runtime Environment (JRE) に関する留意事項	145
Java のキャッシュ機能の無効化および Java キャッシュのクリア	145
Java が Mac に正しくロードされていない場合	146
CIM に関する留意事項	146
Linux ターゲット サーバに対して Windows の 3 ボタン マウスを使用する場合.	146
Windows 2000 での複合 USB デバイスの動作	147
仮想メディアに関する留意事項	148
Linux クライアントからドライブに接続できない場合	148
Mac クライアントからファイルの読み書きができない場合	148
Windows 環境での VKC および AKC を介した仮想メディア	149
ファイル追加後に仮想メディアが最新の情報に更新されない	150
仮想メディアの Linux ドライブが 2 回リストされる	150
Windows 2000 の仮想メディアへのアクセス	150
Mac および Linux の仮想メディア USB ドライブの切断	150
仮想メディア機能利用時におけるターゲット サーバの BIOS の起動時間	150
高速の仮想メディア接続を使用した場合の仮想メディアの接続エラー	151
ビデオ モードと解像度に関する留意事項	151
Mac でのビデオ画像の表示が暗い場合	151
ローカル ポートで黒色の縞が表示される場合	151
Sun Composite Sync ビデオ	151
SUSE と VESA のビデオ モード	152
キーボードに関する留意事項	152
フランス語キーボード	152
キーボード言語の設定 (Fedora クライアント)	154
Linux ターゲット サーバでマクロが保存されない場合	155
リモート アクセスに対応していない Mac キーボードのキー	156
マウスに関する留意事項	156
マウス ポインタの同期 (Fedora)	156
シングル マウス モード: CC-SG の管理下にあるターゲットに接続する場合	156
音声	157
音声の再生とキャプチャに関する問題	157
Linux 環境での音声	157
Windows 環境での音声	158



Fedora サーバへの Virtual KVM Client (VKC) スマート カードの接続
ブラウザに関する留意事項158
Fedora 使用時の Firefox のフリーズに関する問題の解決158

FAQ

159

一般的な FAQ	
リモート アクセス	
ユニバーサル仮想メディア	
帯域幅と KVM-over-IP のパフォーマンス	
IPv6 ネットワーキング	
サーバ	
ブレード サーバ	
インストール	
ローカル ポート - KX III	
拡張ローカル ポート	
二重化電源	
インテリジェント電源タップ (PDU) の管理	
Ethernet と IP ネットワーキング	
ローカル ポートの統合およびカスケード接続	
コンピュータ インタフェース モジュール (CIM)	
セキュリティ	
スマート カード認証と CAC 認証	
管理機能	
ドキュメントおよびサポート	
その他	

索引



Ch1 はじめに

この章の内容

概要	1
ヘルプでの最新情報	1
パッケージの内容	2
KX III の写真および機能	2
KX III リモート/ローカル コンソール インタフェース	7
KX III KVM Client アプリケーション	8
KX III オンライン ヘルプ	8

概要

Dominion KX III は、エンタープライズ クラスのセキュアな KVM-over-IP スイッチであり、1、2、4、または 8 ユーザが、8 \sim 64 台のサーバを リモート BIOS レベルで制御できます。

KX III は、DVI/HDMI/DisplayPort のデジタル/アナログ ビデオ、音声、 仮想メディア、スマート カード/CAC、ブレード サーバ サポート、お よびモバイル アクセスなどの標準機能を装備しています。

KX III を個々に、または Raritan の CommandCenter Secure Gateway (CC-SG) と共に導入します。

ヘルプでの最新情報

- KX III は DVI ビデオ モニタをサポート
 - このリリースでは、以下の機能も追加:
 - Raritan の Cat5 Reach DVI への接続により KX III の接続距離を 延長可能 - 「KX III と Cat5 Reach DVI の接続 - 拡張ローカル ポート機能の提供 『107p. 』」を参照
 - Virtual KVM Client (VKC) および Active KVM Client (AKC) の接続プロパティの変更 「接続プロパティの設定 『28p. 』」を 参照
 - KX III リモート クライアントでのお気に入りの有効化/無効化 -「お気に入りの管理 『89p. 』」を参照
 - 外部のあらゆる仮想メディア ドライブ タイプをサポート



パッケージの内容

KX III は、標準 1U (kxx-864 の場合は 2U) 19 インチ ラックマウント シ ャーシに搭載される、完全に構成されたスタンドアロン製品として出荷 されます。各 KX III は、以下の内容で出荷されます。

数量	品目
1	KX III
1	KX III クイック セットアップ ガイ ド
1	ラックマウント キット
2	AC 電源コード
1	ゴム足 1 組 (4 個、デスクトップ設置 用)
1	アプリケーション ノート
1	保証書

KX III の写真および機能

ハードウェア

- KVM-over-IP リモート アクセスの統合
- 1U または 2U サイズ、ラックマウント対応、ブラケット付属
- フェイルオーバ対応の二重化電源 障害警告機能を備えた自動切換 え電源
- 以下の CIM をサポート:
 - 仮想メディアおよびずれないマウスでは、次のいずれかの CIM を使用します。
 - D2CIM-VUSB
 - D2CIM-DVUSB
 - D2CIM-DVUSB-DVI
 - D2CIM-DVUSB-HDMI
 - D2CIM-DVUSB-DP
 - PS2 接続に必要:



Ch 1: はじめに

- DCIM-PS2
- DVI ローカル ポートから DVI モニタをサポート
 - DVI-VGA コンバータ経由の VGA サポート
 - 標準 DVI ケーブルによる DVI サポート
- 他の複数のカスケード接続デバイスへのアクセスに使用されるベース KX III デバイスでのカスケード接続のサポート
- マルチ ユーザ機能 (1/2/4/8 リモート ユーザ、1 ローカル ユーザ)
- UTP (Cat5/5e/6) ケーブルを使用したサーバへの配線
- フェイルオーバ対応の二重化 Ethernet ポート (10/100/1000 LAN)
- フィールド アップグレード可能
- ラック内アクセス用 USB ローカル ユーザ ポート
 - USB キーボード/マウス ポート
 - サポートされる USB デバイス用の USB ポート(前面に 1 ポート、背面に 3 ポート)
 - ローカル/リモート ユーザ アクセスと同時に操作可能
 - 管理用のローカル グラフィカル ユーザ インタフェース (GUI)
- 中央管理されるアクセス セキュリティ
- 電源管理の統合
- 二重化電源やネットワーク アクティビティ、リモート ユーザの状況
 を示す LED インジケータ
- ハードウェア リセット ボタン

注:リリース KX III 3.0.0 では、モデムがサポートされていませんが、今後のリリースでサポートされる予定です。

ソフトウェア

- Windows®、Mac®、および Linux® 環境での仮想メディア サポート*
- ずれないマウス*

*注: 仮想メディアおよびずれないマウスには、D2CIM-VUSB、 D2CIM-DVUSB、D2CIM-DVUSB DVI、D2CIM-DVUSB HDMI、または D2CIM-DVUSB-DP CIM を使用する必要があります。



- USB を介したデジタル音声をサポート
- 設定可能なスキャン セット内で最大 32 台のターゲットをポート スキャンしサムネイル表示
- Web ベースのアクセスと管理
- わかりやすいグラフィカル ユーザ インタフェース (GUI)
- デュアル ポート ビデオ出力のサポート
- すべての KVM 信号を 256 ビット暗号化 (ビデオや仮想メディアを 含む)
- LDAP、Active Directory®、RADIUS、または内部機能による認証および認可
- DHCP または静的な IP アドレスの指定
- スマート カード/CAC 認証
- SNMP、SNMP3、および Syslog 管理
- IPv4 および IPv6 のサポート
- 誤操作を防ぐためにサーバと直接関連付けられる電源管理
- Raritan の CommandCenter Secure Gateway (CC-SG) 管理ユニットとの統合
- CC-SG の制御からデバイスを解除するための CC Unmanage 機能
- Raritan PX1 および PX2 のアプライアンスのサポート

Dominion KX3-832

KX3-832 の写真





KX3-832 の特長





図の説明	
A	二重化電源 AC 100 V/240 V
B	ローカル USB ポート
C	DVI-D ポート
D	32 KVM ポート UTP ケーブル (Cat5/5e/6)
Ø	二重化 10/100/1000 Ethernet アクセス
Ð	カスケード接続ポート
<u>注:</u> リリー されてい	-ス KX III 3.0.0 では、モデムがサポート ませんが、今後のリリースでサポートさ

れる予定です。



Dominion KX3-864

KX3-864 の写真



KX3-864 の特長



図の説明	3
A	二重化電源 AC 100 V/240 V
B	ローカル USB ポート
C	DVI-D ポート
D	64 KVM ポート UTP ケーブル (Cat5/5e/6)
Ø	二重化 10/100/1000 Ethernet アクセス
Ð	カスケード接続ポート



図の説明

注:リリース KX III 3.0.0 では、モデムがサポート されていませんが、今後のリリースでサポートさ れる予定です。

モデルごとにサポー	\mathbf{F}	されているユーザ数と	ポー	ト数
				1 221

[Model] (モデ ル)	ポート	リモート ユー ザ
KX3-864	64	8
KX3-832	32	8
KX3-808	8	8
KX3-464	64	4
KX3-432	32	4
KX3-416	16	4
KX3-232	32	2
KX3-216	16	2
KX3-132	32	1
KX3-116	16	1
KX3-108	8	1

KX Ⅲ リモート/ローカル コンソール インタフェース

リモート コンソール インタフェースを使用して、ネットワーク接続経 由で KX III の設定および管理を行います。

ローカル コンソール インタフェースでは、ローカルに KX III にアクセ スできます。

それぞれ「*KX III リモート コンソール インタフェース* 『*16*p. 』」お よび「*KX III ローカル コンソール インタフェース* 『*25*p. 』」を参照 してください。



KX III KVM Client アプリケーション

KX III は、Virtual KVM Client (VKC) および Active KVM Client (AKC) と 連動します。

クライアントの使用法のヘルプについては、「*Virtual KVM Client (VKC)* ヘルプ 『26p. 』」および「*Active KVM Client (AKC) ヘルプ* 『78p. 』」 を参照してください。

KX Ⅲ オンライン ヘルプ

KX III オンライン ヘルプは、プライマリ ヘルプ ソースと見なされます。 PDF バージョンのヘルプは、セカンダリ リソースです。

KX III を使用する前に、現在のリリースに関する重要な情報について、 KX III リリース ノートを参照してください。

KVM Client ヘルプは、KX III オンライン ヘルプに含まれています。

オンライン ヘルプには、『KX III クイック セットアップ ガイド』が付 属しています。これは、*Raritan の Web サイト*

『*http://www.raritan.com/support/firmware-and-documentation* 参照 』の「Raritan Firmware, Upgrades and Documentation」ページにあります。

「Raritan Firmware, Upgrades and Documentation」ページには、PDF バー ジョンの管理者へルプも用意されています。

注:オンライン ヘルプを使用するには、ブラウザでアクティブ コンテン ツを有効にする必要があります。



この章の内容

KX III の設置および設定	9
ポップアップの許可	9
セキュリティ警告および検証メッセージ	9
証明書のインストール	. 10
KX III へのログイン	.14

KX III の設置および設定

最初に使用する場合は、KX III を設置して設定します。 KX III に付属している、または *Raritan サポート Web サイト http://www.raritan.com/support* からダウンロードした『KX III クイック セットアップ ガイド』を参照するか、「KX III の設置および設定」を参 照してください。

ポップアップの許可

ブラウザの種類を問わず、KX III リモート コンソールを起動するために は、デバイスの IP アドレスからのポップアップを許可する必要がありま す。

セキュリティ警告および検証メッセージ

KX III にログインすると、セキュリティ警告およびアプリケーション検 証メッセージが表示されることがあります。

この警告やメッセージには、以下のものがあります。

- Java" セキュリティ警告および KX III の検証要求。「Java 検証およびアクセス警告『9p.』」および「証明書のインストール『10p.』」 を参照してください。
- ブラウザおよびセキュリティの設定に基づくその他のセキュリティ
 警告。「その他のセキュリティ警告『10p.』」を参照してください。

Java 検証およびアクセス警告

KX III にログインすると、Java® 1.7 により、KX III を検証してアプリケーションへのアクセスを許可するよう求められます。

Java の警告を抑制し、セキュリティを強化するために、各 KX III に SSL 証明書をインストールすることをお勧めします。「SSL 証明書」を参照 してください。



その他のセキュリティ警告

KX III に SSL 証明書をインストールした後に、ブラウザおよびセキュリ ティの設定によっては、KX III にログインすると、さらにセキュリティ 警告が表示される場合があります。

KX III リモート コンソールを起動するには、これらの警告を承諾する必要があります。

セキュリティと証明書に関する警告メッセージに対して以下のオプションをオンにすることにより、それ以降にログインしたときに表示される 警告メッセージが抑制されます。

- [今後、この警告を表示しない]
- [この発行元からのコンテンツを常に信頼する]

証明書のインストール

ブラウザで、KXIII の SSL 証明書を受け入れて検証するよう求められる 場合があります。

ブラウザおよびセキュリティの設定によっては、KX III にログインする と、さらにセキュリティ警告が表示される場合があります。

KX III リモート コンソールを起動するには、これらの警告を承諾する必要があります。詳細については、「*セキュリティ警告および検証メッセージ*『*9*p.』」を参照してください。

ブラウザで SSL 証明書をインストールする方法について、例を 2 つ示 します。どちらも Microsoft Internet Explorer 8[®] および Windows 7[®] を使 用します。

具体的な方法および手順は、使用するブラウザおよびオペレーティング システムによって異なります。詳細については、使用するブラウザおよ びオペレーティング システムのヘルプを参照してください。



例 1: ブラウザへの証明書のインポート

この例では、ブラウザに証明書をインポートします。

💐 Raritan.	Port Access Power Virtual Med	a User Management Device Settings Security Maintenance Diagnost
Dominion® KX III	Home > Ports	More Information
Time & Session: December 16, 2013 07:08:17	Port Access	The certificate used to identify the website is not trusted. The reasons are listed below. Proceed at our or non risk
Do you want to Continue? The connection to this website is untrusted website is untrusted website: https://192.1 Note: The certificate is not valid and cannot be u The certificate is not valid and cannot be u	SR.61.20:443 sed to verify the identity of this website. Java security update bogget the JAR file manifest does not contact the Publisher for 2 them per More Information Continue Cancel	The certificate Authority that issued this certificate is not trusted. The application is being downloaded from a site other than the one specified by the security certificate. • Ownloading from "192.163.01.02" • Development of the specified by the security from the specificate Details • Development of your Java application will cause this application to be bioded in the future. See current Java downloaded i
「 IF ブラウザを	調き KV III にロガイ、	/1 + +
IL フラクタゼ		「しよう。
	ニ 、 ム ソ ノ イ 言 ロ く [Mi	
LMore Informatio の詳細の表示) イアログ ボッ	on」(詳細情報) タイアロ をクリックします。 証 クスが開きます。ウィー	ク ホックスで [View Certificate Details] (証明 明書をインストールするかどうかを確認する ゲードの手順に従います。
注・ブラウザで		(1) T = (1 - (1)) + (1 - (1)





手順	
4	[コンテンツ] タブをクリックします。
5	[証明書] をクリックします。
6	証明書のインポート ウィザードが開くので、各手順を進めます。 • [インポートする証明書ファイル] - 参照して証明書を探す • [証明書ストア] - 場所を選択して証明書を保存する
7	ウィザードの最後の手順で[完了]をクリックします。
8	証明書がインポートされます。成功メッセージを閉じます。
9	[インターネット オプション] ダイアログ ボックスで [OK] をクリックして変更を適 用し、ブラウザを閉じて再度開きます。



例 2: [信頼済みサイト] への KX III の追加と証明書のインポート

この例では、KX III の URL が信頼済みサイトとして追加され、一連の手続きの中で自己署名証明書が追加されます。





Ch 2: 入門



手順	
1	IE ブラウザを開き、KX III にログインします。
2	最初の Java [™] セキュリティ警告で [More Information] (詳細情報) をクリックします。
3	[More Information] (詳細情報) ダイアログ ボックスで [View Certificate Details] (証明書 の詳細の表示) をクリックします。証明書をインストールするかどうかを確認するダ イアログ ボックスが開きます。ウィザードの手順に従います。 詳細については、「例1: ブラウザへの証明書のインポート 『11p. 』」を参照して ください。

KX III へのログイン

Microsoft .NET[®] や Java Runtime Environment[™] がインストールされており、 ネットワーク接続機能を備えたワークステーションから KX III リモー ト コンソールにログインします。

KX III にログインして使用するには、ポップアップを許可する必要があります。

セキュリティ警告と検証メッセージ、およびそれらを抑制または除外す る手順については、「*セキュリティ警告および検証メッセージ*『9_p. 』」 を参照してください。

- ▶ KXIII にログインするには、以下の手順に従います。
- 1. サポートされている Web ブラウザを起動します。



- 2. 次のどちらかを入力します。
 - URL: http://IP-ADDRESS(Java ベースの Virtual KVM Client を使 用する場合)

または

クトされます。

http://IP-ADDRESS/akc (Microsoft .NET ベースの Active KVM Client の場合)

IP-ADDRESS は、KX III に割り当てられた IP アドレスです。

また、HTTPS を使用するか、管理者によって割り当てられた、KX III の DNS 名 (適用可能な場合)を使用することもできます。 常に、HTTP の IP アドレスから HTTPS の IP アドレスにリダイレ

- 3. ユーザ名とパスワードを入力して、[Login] (ログイン) をクリックします。
- 4. ユーザ同意書に承諾します(該当する場合)。
- 5. セキュリティ警告が表示される場合は、アクセスの承諾または許可、 あるいはその両方を行います。



Ch 3 KX III インタフェースおよびナビゲー ション

この章の内容

概要			16
KX III	リモート	コンソール インタフェース	16
KX III	ローカル	コンソール インタフェース	25

概要

KX III リモート コンソール インタフェースと KX III ローカル コンソ ール インタフェースは、デバイス設定および管理、ターゲット サーバ のリストおよび選択用に、Web ベース インタフェースを備えています。

KX III リモート コンソール インタフェース

KX III リモート コンソールは、ブラウザ ベースのグラフィカル ユーザ インタフェースで、このコンソールを通じて、KX III に接続されている KVM ターゲット サーバおよびシリアル ターゲットにログインして、 KX III をリモート管理できます。

KX III リモート コンソールは、接続されているターゲット サーバへの デジタル接続を提供します。KX III リモート コンソールを使用して KVM ターゲット サーバにログインすると、Virtual KVM Client のウィン ドウが開きます。

KX III ローカル コンソールと KX III リモート コンソールのグラフィカ ル ユーザ インタフェースには多くの類似点があります。相違点につい ては、ユーザ マニュアルに記載されています。以下のオプションは KX III リモート コンソールに用意されていますが、KX III ローカル コンソ ールには用意されていません。

- 仮想メディア
- [Favorites] (お気に入り)
- [Backup/Restore] (バックアップ/リストア)
- [Firmware Upgrade] (ファームウェアのアップグレード)
- SSL 証明書
- 音声



[Port Access] (ポート アクセス) ページ (リモート コンソール ディス プレイ)

正常にログインすると、[Port Access] (ポート アクセス) ページが表示さ れ、すべてのポートについて、そのステータスと可用性が表示されます。 KVM ターゲット サーバ (ブレード サーバや標準サーバ) に接続されて いるポートは、青で表示されます。こうしたポートのいずれかを右クリ ックして、[Port Action] (ポート アクション) メニューを開きます。詳細 については、「[Port Action] (ポート アクション) メニュー 『20p. 』」 を参照してください。

CIM が接続されていないか、CIM 名が空白になっているポートには、デフォルト ポート名「Dominion-KX3_Port#」が割り当てられます。「Port#」は KX III の物理ポートの番号を表します。

🕮 Raritan.	Port Access Po	wer Virtual Media User Management Device	e Settings Security Maintenance Diagnostics t	leip		
Dominion [®] KX III	61-61-01					
	Home > Ports					Logo
Time & Session: December 05, 2013 14:21:27	Port Acces	5				
Uaer; admin State: 3 min idle Your P: 192.168.32.165 Last Login: Dec 05, 2013 11:40:42	Click on the 0 / 4 Remote	a individual port name to see allowable e KVM channels currently in use.	operations.			
	View By Port	View By Group View By Search Set Scan				
Device Information: Device Name: DominionKX-sample	▲ No.	Name	Туре	Statu s	Availability	
P Address: 192.168.61.20	1	HDMI Target	DVM-HDMI	up	idle	
Firmware: 3.0.0.1.369 Device Model: DKX3.432	2	Dominion-KX2_Port2	DVM-DVI	up	idle	
Network: LAN1	з	Low Cost DVM (PQ20540016)	Dual-VM	up	idie	
Powerin1: on Powerin2: off	4	Windows XP SP3	DCIM	up	idle	
Configured As Base	5	DP-Dominion-KX2_Port13	DVM-DP	up	idle	
	6	Domini	DCIM	up	idle	
Port States:	7	Dominion-KX2_Port7	Dual-VM	up	idie	
359 Ports: up 54 Ports: down	8	pc-lox8-update	Not Available	down	idle	
413 Ports: idle	9 🕨	KX884-80-234-Tier5	TierDevice	up	idle	
	10 🕨	 kx832-60-241-tier3 	TierDevice	up	idle	
Connected Users:	11 🔻	KX832-61-14-Tier1	TierDevice	up	idie	
admin (Local Console) 38 min idle	11-1	DCIMS?mulatorPort029	DCIM	up	idle	
admin (192.168.32.165)	11-2	DCMSimulatorPort028	DCIM	up	idle	
3 min idle	11-3	DCMSimulatorPort027	DCIM	up	idle	
Contract Name	11-4	DCIMSimulatorPort039	DCIM	up	idie	
Favorite Devices:		> >¦ -1/5-page			15 Rows pe	r Page Set

このページの 4 つのタブでは、ポート別の表示、グループ別の表示、検索による表示、およびポートのスキャンが可能です。

列の見出しをクリックすることで、ポート番号、ポート名、ステータス ([Up] (アップ) および [Down] (ダウン))、可用性 ([Idle] (アイドル)、 [Connected] (接続済み)、[Busy] (ビジー)、[Unavailable] (使用不可能)、 [Connecting] (接続中)) で並べ替えを行うことができます。

[Set Scan] (スキャン設定) タブを使用して、KX III に接続されているター ゲットを 32 台までスキャンできます。「ポートのスキャン - リモート コンソール 『83p. 』」を参照してください。



カスケード接続デバイス - [Port Access] (ポート アクセス) ページ

ティアー接続構成にしており、ベース KX III デバイスから他の複数台の ティアー接続デバイスにアクセスしている場合、カスケード接続デバイ スは、[Port Access] (ポート アクセス) ページでカスケード接続デバイス 名の左にある展開矢印アイコン ▶ をクリックすると表示されます。

ブレード シャーシ - [Port Access] (ポート アクセス) ページ

ブレード サーバは、[Port Access] (ポート アクセス) ページ上の展開可 能な階層リストに表示されます。階層のルートはブレード シャーシで、 個別のブレードはルートの下にラベルが付けられて表示されます。個別 のブレードを表示するには、ルート シャーシの横の展開矢印アイコン を使用します。

注: ブレード シャーシを階層順に表示するには、ブレード サーバ シャ ーシにブレード シャーシのサブタイプを設定する必要があります。

デュアル ビデオ ポート グループ - [Port Access] (ポート アクセス) ページ

デュアル ビデオ ポート グループは、[Port Access (ポート アクセス)] ページにデュアル ポート タイプとして表示されます。ポート グループ に属しているプライマリ ポートおよびセカンダリ ポートは、[Port Access (ポート アクセス)] ページに、それぞれ [Dual Port(P) (デュアル ポート (P))] および [Dual Port(S) (デュアル ポート (S))] として表示さ れます。たとえば、CIM タイプが DCIM の場合は、[DCIM Dual Port (P) (DCIM デュアル ポート (P))] が表示されます。

リモート クライアントからデュアル ポート ビデオ グループにアクセ スする場合は、プライマリ ポートに接続すると、デュアル ポート グル ープのプライマリ ポートとセカンダリ ポートの両方に対する KVM 接 続ウィンドウが開きます。

注: デュアル ビデオ プライマリ ポートは、ポート グループの作成時に 定義されます。

注: プライマリ ポートのクリックによってデュアル ビデオ ポート グ ループにリモート接続するには、2 つの KVM チャネルが必要です。2 つ のチャネルを利用できない場合、接続リンクは表示されません。

注: デュアル ビデオ ポート グループのセカンダリ ポートをクリック しても、[Action] (アクション) メニューは表示されません。

注: ローカル ポートからプライマリ ポートおよびセカンダリ ポートに 同時に接続することはできません。



[View by Group] (グループ別表示) タブ

[View by Group] (グループ別表示) タブには、ブレード シャーシ、「標準の」ポート グループ、およびデュアル ビデオ ポート グループが表示 されます。グループの横の展開矢印アイコン ▶ クリックすると、ポート グループに割り当てられたポートが表示されます。

rt Acce	55				
k on ti	he individual nort name to see allo	wable onerations			
Remo	ote KVM channels currently in use	h.			
_					
w By Po	ort View By Group View By Search Set	Sean		CN/15/0000011	
na By Po No.	ort View By Group View By Search Set : Name	Scan Type	Status	Availability	
w By Po No.	view By Group View By Search Set : Name • WinXPGroup	Ecan Type Dual Video Port Group	Status	Availability	
er By Po No. 2	vit Wiew By Group View By Search Set Name ▼ WextPGroup wnXP-primary	Type Dual Video Port Group Dual-VM Dual Port (P)	Status	Availability idle	
w By Po No. 2 8	vit View By Group View By Search Set S Name ▼ WistPGroup wn0P-primary wn0P-secondary	Con Dual Video Port Groop Dual VM Dual Port (P) DVM-CVI Dual Port (5)	Status up up	Availability idle idle	

[View by Search] (検索して表示) タブ

[View by Search](検索して表示)タブでは、ポート名で検索できます。検 索時にアスタリスク(*)をワイルドカードとして使用できます。また、 名前全体で検索することも名前の一部だけで検索することもできます。

[Set Scan] (スキャン設定) タブ

ポート スキャン機能には、[Port Access] (ポート アクセス) ページの [Set Scan] (スキャン設定) タブからアクセスします。この機能によって、 スキャンするターゲットのセットを定義できます。スキャンしたターゲ ットのサムネイル表示も使用できます。サムネイルを選択すると、その ターゲットが Virtual KVM Client ウィンドウに表示されます。

「ポートのスキャン - リモート コンソール 『83p. 』」を参照してくだ さい。



[Port Action] (ポート アクション) メニュー

[Port Access] (ポート アクセス) リストで [Port Name] (ポート名) をクリ ックすると、[Port Action] (ポート アクション) メニューが表示されます。 対象のポートに対して適切なメニュー オプションを選択して実行しま す。[Port Action] (ポート アクション) メニューには、ポートのステータ スと可用性に応じて、その時点で利用可能なオプションだけが表示され ます。

Home > Ports

Port Access

Click on the individual port name to see allowable operations. 0 / 4 Remote KVM channels currently in use.

View By Po	rt View By Group View By Search Set Scan	
▲ No.	Name	
1	HDMI Target	
2	Connect Port2	
3		
4	Windows XP SP3	1
Alt Area	DD min Pertit	ALC: NO

[Connect] (接続)

[Connect](接続) - ターゲット サーバへの新しい接続を作成します。
 KX III リモート コンソールの場合は、新しい Virtual KVM Client ページが表示されます。
 KX III ローカル コンソールの場合は、ローカル ユーザ インタフェースからターゲット サーバに表示が切り替わります。
 ローカル ポートで切り替えを行うためには、KX III ローカル コンソール インタフェースが表示されている必要があります。
 ローカル ポートからのホット キー切り替えも利用できるようになりました。

注:すべての接続がビジー状態の場合、KX III リモート コンソールで 使用可能なポートに対してこのオプションは使用できません。



Ch 3: KX III インタフェースおよびナビゲーション

[Switch From] (切り替え)

 [Switch From](切り替え元)-既存の接続から選択したポート(KVM ターゲット サーバ)に切り替えます。
 このメニュー項目は、KVM ターゲットに対してのみ、また Virtual

KVM Client が開いている場合にのみ使用できます。

注: KX III ローカル コンソールでは、このメニュー項目は使用でき ません。

Home > Ports				1
Port Access				- <u>5</u>
Click on the 1 / 4 Remote	individual po KVM channe	rt name to see Is currently in	allowable use.	e operations.
View By Port	View By Group	View By Search	Set Scan	<u> </u>
▲ No.	Name			
Switch From I	HDMI Targe <mark>t</mark>			~
Connect	15	rt2		
3	Low Cost DVM [F	Q20540016]		. anna

[Disconnect] (切断)

 [Disconnect](切断) - このポートを切断し、このターゲット サーバの Virtual KVM Client ページを閉じます。

このメニュー項目は、ポート ステータスが [up] (アップ) および [connected] (接続済み) であるか、または [up] (アップ) および [busy] (ビジー) であるときにのみ使用できます。



Ch 3: KX III インタフェースおよびナビゲーション

注: KX III ローカル コンソールでは、このメニュー項目は使用でき ません。ローカル コンソールで切り替えたターゲットを切断する唯 一の方法は、ホットキーを使用することです。

Home > Ports

Port Access

Click on the individual port name to see allowable operations. 1 / 4 Remote KVM channels currently in use.

View B	y Port View B	y Group	View By Sea	rch Set Sc	an 🔹
▲ No.	Name				
1	Disconnec	get			
2	Dominic	n-KX2_Po	rt2		
12-	- Andrewski		020540016]	and the second	man

[Power On] (電源オン)

 [Power On] (電源オン) - 関連付けられているコンセントを介してタ ーゲット サーバの電源をオンにします。
 このオプションは、1 つ以上の電源がターゲットに関連付けられてい るとき、およびこのサービスを操作する許可がユーザに与えられてい るときにのみ表示されます。

[Power Off] (電源オフ)

 [Power Off] (電源オフ) - 関連付けられているコンセントを介してタ ーゲット サーバの電源をオフにします。
 このオプションは、1 つ以上の電源がターゲットに関連付けられてい るとき、ターゲットがオン (ポート ステータスが [up](アップ))のと き、およびこのサービスを操作する許可がユーザに与えられていると きにのみ表示されます。

[Power Cycle] (電源の再投入)

 [Power Cycle] (電源の再投入) - 関連付けられているコンセントを介 してターゲット サーバの電源をいったんオフにしてから再びオンに します。
 このオプションは、1 つ以上の電源がターゲットに関連付けられてい

るとき、およびこのサービスを操作する許可がユーザに与えられてい るときにのみ表示されます。



左パネル

KX III インタフェースの左パネルにある情報は次のとおりです。

一部の情報は、特定の条件に従って、つまり役割や利用する機能などに 基づいて表示されます。各情報が表示される条件もこの表に示します。

情報	説明	表示される条件
[Time & Session] (日 時およびセッショ ン)	現在のセッションを開始 した日時	常時
ユーザ	ユーザ名。	常時
[State] (状態)	アプリケーションの現在 の状態 (アイドルまたは アクティブ)。アイドル状 態の場合、セッションがア イドル状態になっている 時間が追跡および表示さ れます。	常時
[Your IP] (あなたの IP アドレス)	KX III にアクセスする際 に使用された IP アドレ ス	常時
[Last Login] (最終ロ グイン日時)	最後にログインした日時	常時
[Under CC-SG Management] (CC-SG の管理下)	KX III を管理している CC-SG デバイスの IP ア ドレス	KX III が CC-SG の 管理下にある場合
[Device Information] (デバイス情報)	使用している KX III に特 有の情報	常時
[Device Name] (デバ イス名)	デバイスに割り当てられ ている名前	常時
IP アドレス	KX III の IP アドレス	常時
[Firmware] (ファー ムウェア)	ファームウェアの現在の バージョン	常時
[Device Model] (デバ イス モデル)	KX III のモデル。	常時
[Serial number](シリ アル番号)	KX III のシリアル番号。	常時



Ch 3: KX III インタフェースおよびナビゲーション

情報	説明	表示される条件
ネットワーク	現在のネットワークに割 り当てられている名前	常時
[PowerIn1](電源入 力 1)	電源コンセント 1 の接続 状態 オンまたはオフ、あ るいは自動検出オフ	常時
[PowerIn2](電源入 力 2)	電源コンセント 2 の接続 状態 オンまたはオフ、あ るいは自動検出オフ	常時
[Configured As Base] (ベース デバイスと して設定) または [Configured As Tiered](カスケード 接続デバイスとし て設定)	カスケード接続を使用し ている場合、現在アクセス している KX III がベース デバイスとカスケード接 続デバイスのどちらであ るかが表示されます。	KX III がカスケード 接続構成の一要素に なっている場合
ポートの状態	KX III によって現在使用 されているポートのステ ータス	常時
[Connect Users] (接 続しているユーザ)	現在 KX III に接続してい る、ユーザ名と IP アドレ スによって識別されるユ ーザ	常時
オンライン ヘルプ	オンライン ヘルプへのリ ンク	常時
お気に入りデバイ ス	「 <i>お気に入りの管理</i> 『 <i>89</i> p. 』」を参照	有効になっている場 合
[FIPS Mode] (FIPS モード)	FIPS モード: 有効、SSL 証明書: FIPS モード準拠。	FIPS が有効になっ ている場合



KX III ローカル コンソール インタフェース

KX III ローカル コンソールと KX III リモート コンソールのグラフィカ ル ユーザ インタフェースには、多くの類似点があります。相違点につ いては、ヘルプに記載されています。

ローカル コンソールの使用法の詳細については、「*KX III ローカル コ* ンソール - *KX III エンド ユーザ ヘルプ* 『*92*_p. 』」を参照してください。



Ch 4 Virtual KVM Client (VKC) ヘルプ

この章の内容

26
27
28
32
33
34
39
43
47
54
56
35
38
76

概要

KX III リモート コンソールの [Port Access] (ポート アクセス) ページ からターゲット サーバにアクセスすると、必ず Virtual KVM Client (VKC) のウィンドウが開かれます。





接続されているターゲット サーバごとに 1 つの Virtual KVM Client ウィンドウが表示されます。

Virtual KVM Client ウィンドウは、お使いのコンピュータのデスクトップ 上で最小化、最大化、および移動できます。

重要: ブラウザ表示を更新すると Virtual KVM Client 接続が切断され てしまうので注意してください。

Virtual KVM Client (VKC) および Active KVM Client (AKC) は、リモート ターゲットへのアクセスに使用されるインタフェースです。

VKC および AKC は、特徴が似ています。ただし、以下の点は除きます。

- 最小システム要件
- サポートされているオペレーティング システムとブラウザ
- AKC で作成されたキーボード マクロは、VKC では使用不可
- ダイレクト ポート アクセス設定(「URL を経由したダイレクト ポ ート アクセスの有効化」を参照)
- AKC サーバ証明書検証設定(「AKC を使用するための前提条件 『80p. の"AKC を使用するため前提条件"参照 』」を参照)

ターゲット サーバへの接続

KX III リモート コンソールにログインしたら、Virtual KVM Client (VKC) または Active KVM Client (AKC) 経由でターゲット サーバにアクセスし ます。

- 利用可能なターゲット サーバまたはデュアル モニタ ターゲット サーバに接続するには、以下の手順に従います。
- [Port Access] (ポート アクセス) ページで、接続するターゲット サー バのポート名をクリックします。[Port Action] (ポート アクション) メニューが開きます。
- 2. [接続] をクリックします。

Home > Ports			
Port Access			1
Click on the	individual po	rt name to see	alle
0 / 4 Remote KVM channels currently in us			
			- 3-
View By Port	View By Group	View By Search	Set S
▲ No.	Name		
Connect get			
2 Dominion-KX2_Port2			
The second secon			

使用可能な他のメニュー オプションの詳細については、「[Port Action] (ポート アクション)メニュー 『20p. 』」を参照してください。


接続プロパティの設定

接続プロパティへのアクセス

1

▶ 接続プロパティにアクセスするには、以下の手順に従います。

[Connection] (接続)の [Properties] (プロパティ)をクリックするか、 [Connection...] (接続...) アイコンをクリックして、[Connection Properties] (接 続プロパティ) ダイアログ ボックスを開きます。

Connection USB Profile Keyboard Video Mouse Tools View Virtual Media Audio SmartCard Help

	Optimize for: Text Readability
p	Video Mode: Full Color 2 Best Least Quality Noise Filter: 2 Dest Least
-	Reset OK Cancel A

接続プロパティの概要

Virtual KVM Client (VKC) および Active KVM Client (AKC) では、接続プロパティの管理がサポートされています。

接続プロパティで、ターゲット サーバへのリモート接続経由のストリー ミング ビデオ パフォーマンスを管理できます。

このプロパティは、自分が使用している接続にのみ適用され、VKC また は AKC を介して同じターゲット サーバにアクセスしている他のユー ザの接続には適用されません。

接続プロパティに変更を加えた場合、その変更は、VKC および AKC で 保持されます。



デフォルトの接続プロパティ設定 - 最適化による最高のパフォーマン スの実現

KX III は、ほとんどのビデオ ストリーミング条件で最適なパフォーマン スが得られるように設定されています。

デフォルトの接続設定は、次のようになっています。

- [Optimize for] (最適化): [Text Readability] (テキストの読みやすさ) -ビデオ モードは、テキストの読みやすさが最大になります。
 この設定は、サーバ管理の実行などの一般的な IT アプリケーション やコンピュータ アプリケーションに最適です。
- [Video Mode] (ビデオ モード) デフォルトでは [Full Color 2] (フル カラー 2) に設定されます。
 ビデオ フレームは、高画質の 24 ビット カラーで送信されます。この設定は、高速 LAN を利用する場合に適しています。
- [Noise Filter](ノイズ フィルタ)- デフォルトでは 2 に設定されます。
 通常は、ノイズ フィルタ設定を変更する必要はありません。

いつでも [Connection Properties] (接続プロパティ) ダイアログ ボックス で [Reset] (リセット) をクリックしてデフォルトの設定に戻します。

ヒント: [Connection Information] (接続情報)ダイアログ ボックスを使用して、接続をリアルタイムに監視します。 / 接続情報のアクセスおよびコ ピー 『33 p. 』」を参照してください。

Connect	tion Info	
Item	Data	Description
1	DominionKX	Device Name
2	192.168.61.15	IP Address
3	443	Port
4	187 KB/s	Data In/Second
5	200 B/s	Data Out/Second
6	19	FPS
7	00:26:59	Connect Time
8	1440	Horizontal Resolution
9	900	Vertical Resolution
10	60 Hz	Refresh Rate
11	01.30	Protocol Version
	Copy to C	Clipboard Close



[Optimize for] (最適化): 選択

[Text Readability] (テキストの読みやすさ)

[Text Readability] (テキストの読みやすさ)を選択すると、すべてのビデオ モードは、高画質になり、テキストが読みやすくなります。

この設定は、サーバ管理を実行するときなど、コンピュータの GUI を操作する場合に最適です。

フル カラー ビデオ モードで作業する場合は、コントラストがわずかに 高められ、テキストがより鮮明になります。

低画質ビデオ モードでは、帯域幅が減少し、精度が低下します。

[Color Accuracy] (色精度)

[Color Accuracy] (色精度)が選択されている場合、すべてのビデオ モード は、均一な色応答のフル カラーで表示されます。

この設定は、動画などのビデオ ストリームやその他のブロードキャスト ストリームの表示に適用されます。

低画質ビデオ モードでは、テキストなどの細部の鮮明さが低下します。

[Video Mode] (ビデオ モード)

[Video Mode] (ビデオ モード) スライダで、ビデオ品質、フレーム レート、および帯域幅に作用する、各ビデオ フレームのエンコードを制御します。

Connection Properties				
	Optimize for: Text Readability 🔹			
		Video Mode: Full Color 2		
	Best		Least	
	Quality	Noise Filter: 2	Bandwidth	
	Reset	OK Cance	el Apply	



一般に、このスライダを左に動かすと、高画質となりますが、帯域幅は 減少し、場合によっては、フレーム レートが低下します。

このスライダを右に動かすと、より強力に圧縮され、フレームあたりの 帯域幅は減少しますが、ビデオ品質が低下します。

システム帯域幅が制限要因となっている場合には、ビデオ モード スラ イダを右に動かすと、フレーム レートが高くなる可能性があります。

最適化の設定として [Text Readability] (テキストの読みやすさ) が選択さ れている場合、右の 4 つのモードでは、色解像度が低下するか、色がな くなります。

これらのモードは、テキストや GUI 要素が優先され、帯域幅が重要となる管理作業に適しています。

いつでも [Connection Properties] (接続プロパティ) ダイアログ ボックス で [Reset] (リセット) をクリックしてデフォルトの設定に戻します。

[Noise Filter] (ノイズ フィルタ)

特に必要がない限り、ノイズ フィルタ設定は変更しないでください。 デフォルトの設定は、ほとんどの状況で十分に機能するようになって います。

[Noise Filter] (ノイズ フィルタ) では、フレーム間のノイズを KX III で どの程度吸収するかを制御します。

Conne	ction Pro	perties	×
Opt	timize for:	Text Readability 👻	
c	Best Quality	Video Mode: Full Color 2	Least Bandwidth
Res	set	OKCan	cel Apply



Ch 4: Virtual KVM Client (VKC) ヘルプ

[Noise Filter] (ノイズ フィルタ) スライダを左に動かすと、フィルタしき い値が低くなり、よりダイナミックなビデオ品質となります。ただし、 ノイズが増える可能性があるため、帯域幅が増大し、フレーム レートは 低下します。

このスライダを右に動かすと、しきい値が高くなるため、ノイズが少な くなり、使用帯域幅は減少します。ビデオ アーチファクトは増える可能 性があります。

ノイズ フィルタのスライダを右に動かすと、帯域幅が厳しく制限された 接続でコンピュータ GUI にアクセスする場合に役立つ可能性がありま す。

いつでも [Connection Properties] (接続プロパティ) ダイアログ ボックス で [Reset] (リセット) をクリックしてデフォルトの設定に戻します。

接続情報

リアルタイム接続情報を表示する [Connection Information] (接続情報)ダ イアログ ボックスを開き、必要に応じてダイアログ ボックスから情報 をコピーします。

この機能が役に立つのは、現在の接続に関する情報をリアルタイムに収 集したい場合などです。「*接続プロパティの設定* 『28p. 』」を参照して ください。

現在の接続に関する以下の情報が表示されます。

- [KX III Name] (KX III 名) KX III の名前です。
- [IP Address] (IP アドレス) KX III の IP アドレスです。
- [Port] (ポート) KX III へのアクセスに使用される KVM 通信 TCP/IP ポートです。
- [Data In/Second] (データ入力/秒) KX III から受信したデータレートです。
- [Data Out/Second] (データ出力/秒) KX III に送信したデータレートです。
- [Connect Time] (接続時間) 現在の接続時間です。
- [FPS] KX III と送受信したビデオ フレーム/秒です。
- [Horizontal Resolution] (水平解像度) ターゲット サーバの水平解像 度です。
- [Vertical Resolution] (垂直解像度) ターゲット サーバの垂直解像度 です。
- [Refresh Rate] (リフレッシュ レート) ターゲット サーバのリフレ ッシュ レートです。
- [Protocol Version] (プロトコル バージョン) Raritan 通信プロトコル バージョンです。



接続情報のアクセ	こえおよびコピー
----------	----------

Connection USB Profile Keyboard Video Mouse Tools View Virtual Media Audio SmartCard Help



手順



USB プロファイル

Virtual KVM Client (VKC) でターゲット サーバの USB プロファイルを 設定するには、メニューの [USB Profile] (USB プロファイル) をクリック して、メニュー項目を選択します。





KVM ターゲット サーバに最適な USB プロファイルを選択します。 たとえば、サーバで Windows[®] オペレーティング システムが実行されて いる場合は、Generic プロファイルが最適です。

あるいは、BIOS メニューの設定の変更または仮想メディア ドライブからの起動を行う場合、ターゲット サーバ モデルによっては、BIOS プロファイルの方が適している可能性があります。

USB プロファイルの詳細については、オンライン ヘルプの「USB プロ ファイル (USB Profiles)」を参照してください。

キーボード

[Send Ctrl+Alt+Del] (Ctrl+Alt+Del の送信) マクロ

Ctrl+Alt+Delete マクロは、頻繁に使用されるため事前にプログラムされています。

[Keyboard] (キーボード)の [Send Ctrl+Alt+Del] (Ctrl+Alt+Del の送信) を

選択するか、ツール バーの [Ctrl+Alt+Delete] ボタン **■** をクリックす ると、現在接続中のサーバまたは KVM スイッチにこのキー操作が送信 されます。

一方、Ctrl キー、Alt キー、Delete キーを同時に押すと、Windows オペ レーティング システムの構造により、コマンドはターゲット サーバへ 送信されずに操作中の PC に適用されます。

[Send LeftAlt+Tab] (Send LeftAlt+Tab の送信)

[Keyboard] (キーボード)の [Send LeftAlt+Tab] (Send LeftAlt+Tab の送信) を選択して、接続先のターゲット サーバまたは KVM スイッチの開かれ ているウィンドウを切り替えます。

CIM キーボード/マウス オプションの設定

DCIM-USBG2 の設定メニューにアクセスするには、以下の手順に 従います。

- 1. Windows® のメモ帳などのウィンドウにマウス ポインタを置きます。
- [Set CIM Keyboard/Mouse options] (CIM キーボード/マウス オプションを設定する)を選択します。この操作は、左 Ctrl+Num Lock キー をターゲットに送信することと同じです。CIM セットアップ メニュ ー オプションが表示されます。
- 3. 言語とマウスを設定します。
- 4. メニューを終了し、通常の CIM 機能に戻ります。



[Send Text to Target] (テキストをターゲットに送信)

- マクロでテキストをターゲットに送信する機能を使用するには、以下の手順に従います。
- [Keyboard] (キーボード)の [Send Text to Target] (テキストをターゲットに送信) をクリックします。[Send Text to Target] (テキストをターゲットに送信) ダイアログ ボックスが表示されます。
- 2. ターゲットに送信するテキストを入力します。

注:テキストをターゲットに送信する機能では、英語以外の文字はサポートされていません。

- ターゲットで英語 (アメリカ)/インターナショナル キーボード レ イアウトが使用されている場合は、[Target system is set to the US/International keyboard layout] (ターゲットシステムで英語 (アメリ カ)/インターナショナル キーボード レイアウトを使用) チェック ボックスをオンにします。
- 4. [OK] をクリックします。

キーボード マクロ

キーボード マクロを利用することで、ターゲット サーバに対するキー 入力が確実にターゲット サーバに送信され、ターゲット サーバのみで 解釈されます。キーボード マクロを利用しない場合、Virtual KVM Client が実行されているコンピュータ (クライアント PC) によって解釈される 可能性があります。

マクロはクライアント PC に保存され、その PC 専用になります。した がって、別の PC を使用したときは、作成したマクロを使用できません。

さらに、キーボード マクロはコンピュータ単位で管理されるので、ある ユーザが使用している PC に別のユーザが自分の名前でログインした場 合でも、1 人目のユーザが作成したマクロが 2 人目のユーザに対して表 示されます。

Virtual KVM Client (VKC) で作成されたキーボード マクロは、Active KVM Client (AKC) では使用できません。また、その逆も同様です。

マクロの新規作成

▶ マクロを作成するには、以下の手順に従います。

- [Keyboard] (キーボード)の [Keyboard Macros] (キーボード マクロ) をクリックします。[Keyboard Macros] (キーボード マクロ) ダイアロ グ ボックスが表示されます。
- 2. [Add] (追加) をクリックします。[Add Keyboard Macro] (キーボード マクロの追加) ダイアログ ボックスが表示されます。



- 3. [Keyboard Macro Name] (キーボード マクロ名) フィールドにマクロ の名前を入力します。この名前は、マクロが作成された後に [Keyboard] (キーボード) メニューに表示されます。
- [Hot-Key Combination] (ホットキーの組み合わせ) フィールドで、ド ロップダウン リストからキー操作の組み合わせを選択します。これ により、定義済みのキー入力でマクロを実行できます。(オプション)
- 5. [Keys to Press] (押すキー) ドロップダウン リストで、コマンドの実 行に使用されるキー操作のエミュレート用のキーを選択します。キー は、押す順番で選択します。1 つ選択するごとに、[Add Key] (キーを 追加)を選択します。キーを選択するごとに、[Macro Sequence] (マク ロ シーケンス) フィールドに表示されます。また、1 つ選択するご とに、その [Release Key] (キーのリリース) コマンドが自動的に追加 されます。

たとえば、左 Ctrl + Esc キーを選択してウィンドウを閉じるマクロ を作成します。これは、[Macro Sequence] (マクロ シーケンス) ボッ クスに以下のように表示されます。

[Press Left Alt] (左 Alt の押下)

[Press F4] (F4 の押下)

ESC

[Release F4] (F4 のリリース)

ESC

[Release Left Alt] (左 Alt のリリース)

- 6. [Macro Sequence] (マクロ シーケンス) フィールドで、マクロ シーケ ンスが正しく定義されていることを確認します。
 - a. キー操作の 1 つの手順を削除するには、手順を選択して [Remove](削除)をクリックします。
 - b. キー操作の手順の順番を変更するには、手順をクリックし、上向 きまたは下向きの矢印ボタンを使用して必要に応じて並べ替え ます。
- [OK] をクリックしてマクロを保存します。[Clear] (クリア)をクリッ クすると、すべてのフィールドがクリアされ、最初の状態に戻ります。
 [OK] をクリックすると [Keyboard Macros] (キーボード マクロ)ダ イアログ ボックスが現れ、新しいキーボード マクロがリスト表示されます。
- [Close](閉じる)をクリックして、[Keyboard Macro](キーボード マクロ)ダイアログ ボックスを閉じます。マクロがアプリケーションの [Keyboard](キーボード)メニューに表示されます。
- 9. マクロを実行するには、メニューで新しいマクロを選択するか、マクロに割り当てたキー操作を使用します。



マクロのインポート

▶ マクロをインポートするには、以下の手順に従います。

- [Keyboard] (キーボード)の [Import Keyboard Macros] (キーボード マ クロのインポート)をクリックして、[Import Macros] (マクロのイン ポート)ダイアログ ボックスを開きます。マクロ ファイルがあるフ ォルダに移動します。
- 2. マクロ ファイルをクリックし、[Open](開く) をクリックしてマクロ をインポートします。
 - a. ファイル内のマクロ数が多い場合は、エラー メッセージが表示 され、[OK] を選択するとインポートが中断されます。
 - b. インポートが失敗した場合は、エラー ダイアログ ボックスが表示され、失敗した理由についてのメッセージが表示されます。
 [OK] をクリックすると、インポートできなかったマクロをスキップしてインポートが続行されます。
- インポートするマクロを、それに対応するチェックボックスをオンに するか、[Select All](すべて選択)または [Deselect All](すべて選択解 除)オプションを使用して選択します。
- 4. [OK] をクリックしてインポートを開始します。
 - a. 重複するマクロが見つかった場合は、[Import Macros] (マクロのイ ンポート) ダイアログ ボックスが表示されます。以下のいずれ かの手順に従います。



- [Yes](はい)をクリックして、既存のマクロを、インポートしたマクロで置き換えます。
- [Yes to All] (すべてはい) をクリックして、現在選択されているマクロとその他に見つかった重複マクロすべてを置き換えます。
- [No] (いいえ) をクリックすると、元のマクロが維持され、次のマクロに進みます。
- [No to All] (すべていいえ)をクリックすると、元のマクロが 維持され、次のマクロに進みます。その他に見つかったすべ ての重複マクロも同様にスキップされます。
- [Cancel] (キャンセル)をクリックすると、インポートが終了 します。
- または、[Rename] (名前変更) をクリックして、マクロの名前 を変更してそれをインポートします。[Rename] (名前変更) が 選択された場合は、[Rename Macro] (マクロ名の変更) ダイア ログ ボックスが表示されます。フィールドに新しいマクロ 名を入力し、[OK] をクリックします。ダイアログ ボックス が閉じられ、処理が続行されます。入力した名前が別のマク ロと重複している場合は、アラートが表示されるので、別の マクロ名を入力する必要があります。
- b. インポート処理中にインポート済みマクロの許容数を超えた場合は、ダイアログボックスが表示されます。[OK] をクリックして、マクロのインポート試行を続行するか、[Cancel](キャンセル)をクリックしてインポート処理を中止します。

これでマクロがインポートされます。既に存在するホットキーを含むマ クロがインポートされた場合、インポートされたマクロのホットキーが 破棄されます。

マクロのエクスポート

1. [Tools] (ツール)の [Export Macros] (マクロのエクスポート)を選択 して、[Select Keyboard Macros to Export] (エクスポートするキーボー ド マクロの選択) ダイアログ ボックスをクリックします。

Export Keyboard Macros	X
Close Window	Select All Deselect All
	OK Cancel



- 2. エクスポートするマクロを、それに対応するチェックボックスをオン にするか、[Select All] (すべて選択)または [Deselect All] (すべて選択 解除) オプションを使用して選択します。
- [OK] (OK) をクリックします。[Export Keyboard Macros] (キーボード マクロのエクスポート) ダイアログ ボックスが表示されます。マク ロ ファイルを探して選択します。デフォルトでは、マクロはデスク トップにあります。
- マクロ ファイルを保存するフォルダを選択し、ファイル名を入力し、 [Save](保存)をクリックします。マクロが既に存在する場合は、警告 メッセージが表示されます。
- 5. [Yes] (はい)を選択して既存のマクロを上書きするか、[No] (いいえ) をクリックしてマクロを上書きせずに警告を閉じます。

ビデオのプロパティ

画面を更新する

[Refresh Screen] (画面の更新) コマンドを使用すると、ビデオ画面が更新 されます。ビデオの設定を自動的に更新する方法はいくつかあります。

- [Refresh Screen](画面の更新) コマンドを使用すると、ビデオ画面が 更新されます。
- [Auto-sense Video Settings] (ビデオ設定の自動検出) コマンドを使用 すると、ターゲット サーバのビデオ設定が自動的に検出されます。
- [Calibrate Color](色調整) コマンドを使用すると、ビデオの表示色が 調整されます。

これに加え、[Video Settings] (ビデオ設定) コマンドを使用すると、手動 で設定を調整できます。

▶ ビデオ設定を更新するには、次のいずれかの手順に従います。

• [Video] (ビデオ)の [Refresh Screen] (画面の更新)を選択するか、ツ

ールバーの [Refresh Screen] (画面の更新) ボタン 🕑 をクリック します。



[Auto-sense Video Settings] (ビデオ設定の自動検出)

[Auto-sense Video Settings] (ビデオ設定の自動検出) コマンドを使用する と、ビデオ設定 (解像度、垂直走査周波数) が再検出され、ビデオ画面が 再描画されます。

- ビデオ設定を自動的に検出するには、以下の手順に従います。
- [Video] (ビデオ)の [Auto-sense Video Settings] (ビデオ設定の自動検出)を選択するか、ツールバーの [Auto-sense Video Settings] (ビデオ)

設定の自動検出) ボタン 述 をクリックします。 調整が行われていることを示すメッセージが表示されます。

色の調整

[Calibrate Color](色調整) コマンドは、送信されたビデオ画像の色レベル (色相、輝度、彩度)を最適化するために使用します。色設定は、ターゲ ット サーバごとに適用されます。

注: [Calibrate Color] (色調整) コマンドは、現在の接続のみに適用されま す。

▶ 色を調整するには、以下の手順に従います。

• [Video] (ビデオ)の [Calibrate Color] (色調整) を選択するか、ツール

バーの [Calibrate Color] (色調整) ボタン 🥸 をクリックします。 ターゲット デバイス画面の色が調整されます。

ビデオ設定の調整

[Video Settings] (ビデオ設定) コマンドを使用すると、ビデオ設定を手動 で調整できます。

ビデオ設定を変更するには、以下の手順に従います。

- [Video] (ビデオ)、[Video Settings] (ビデオ設定)を選択して、[Video Settings] (ビデオ設定) ダイアログ ボックスを開きます。
- 2. 必要に応じて、以下の設定を調整します。設定を調整すると、その効 果が即座に表示に反映されます。
 - a. [PLL Settings] (PLL 設定)
 [Clock] (クロック) ビデオ画面上にビデオ ピクセルが表示される速度を制御します。クロック設定値を変更すると、ビデオ画像が水平方向に伸縮します。設定値は奇数を推奨します。通常は自動検出機能によって適切に設定されるため、ほとんどの環境ではこの設定を変更する必要はありません。



[Phase](位相) - 位相の値の範囲は 0 ~ 31 です。これより大き な値は反復されます。アクティブなターゲット サーバ用に最適 なビデオ画像が得られる位相の位置で停止してください。

- b. [Brightness](明るさ): この設定は、ターゲット サーバの画面表示 の輝度を調整するために使用します。
- c. [Brightness Red] (赤輝度) ターゲット サーバの画面に表示され る赤の信号の輝度を制御します。
- d. [Brightness Green] (緑輝度) 緑の信号の輝度を制御します。
- e. [Brightness Blue] (青輝度) 青の信号の輝度を制御します。
- f. [Contrast Red] (赤コントラスト) 赤の信号のコントラストを制 御します。
- g. [Contrast Green] (緑コントラスト) 緑の信号のコントラストを 制御します。
- h. [Contrast Blue] (青コントラスト) 青の信号のコントラストを制 御します。

ビデオ画像が大幅にぼやけている場合、設定でクロックと位相を 調節することで、アクティブなターゲット サーバの画像を改善 します。

警告: クロック設定と位相設定を変更する際には、注意が必要です。 ビデオ画像が消えたり歪んだりする可能性があるだけでなく、元の状態に戻せなくなることがあります。変更を加える前に、ラリタン テ クニカル サポートにお問い合わせください。

- i. [Horizontal Offset] (水平オフセット) ターゲット サーバの画面 がモニタに表示されるときの水平位置を制御します。
- j. [Vertical Offset] (垂直オフセット) ターゲット サーバの画面が モニタに表示されるときの垂直位置を制御します。
- 3. [Automatic Color Calibration](自動色調節)を選択して、この機能を有 効にします。
- 4. ビデオ検出モードを選択します。
 - [Best possible video mode](最適ビデオ モード)
 ターゲットやターゲットの解像度が変更されたときに、すべての 自動検出処理が実行されます。このオプションを選択すると、最 適な画像品質になるようにビデオが調整されます。
 - [Quick sense video mode] (クイック検出ビデオ モード)
 このオプションを使用すると、クイック ビデオ自動検出が使用 され、ターゲットのビデオがより早く表示されます。このオプシ ョンは、再起動直後のターゲット サーバの BIOS 設定を入力す るときに特に有効です。
- 設定を適用してダイアログ ボックスを閉じるには、[OK] をクリッ クします。ダイアログ ボックスを閉じずに設定を適用するには、 [Apply](適用)をクリックします。



注: 一部の Sun サーバでは、ある種の Sun 背景画面 (外周部が非常に暗 いものなど) が中央の位置に正確に表示されない場合があります。別の背 景を使用するか、画面の左上隅に明るい色のアイコンを配置してくださ い。

PLL Settings		_					
Clock: 1,312	1026 —			-			1812
Phase: 1	o -[⊢						31
Color Settings							
Brightness Red:	0	0	0				127
Brightness Green:	0	0	0				127
Brightness Blue:	4	0	-[]				127
Contrast Red:	89 🌲	0	,				127
Contrast Green:	87 🌲	0	,				127
Contrast Blue:	80 🌲	0	,			0	127
Horizontal Offset:	265 🌩	0					286
Vertical Offset:	31	0	,			U	32
Automatic Color Calibration							
Video Sensing							
Best possible video mode							
Quick sense video mode							
				OK	Cance		Apply

ターゲット コマンドによるスクリーンショット (ターゲット スクリー ンショット)

[Screenshot from Target server] (ターゲット サーバのスクリーンショット) コマンドを使用すると、ターゲット サーバのスクリーンショットを 取得できます。必要に応じて、このスクリーンショットを、選択した場 所にビットマップ、JPEG、または PNG ファイルとして保存します。

ターゲット サーバのスクリーンショットを取得するには、以下の手順に従います。

1. [Video] (ビデオ)の [Screenshot from Target server] (ターゲット サー バのスクリーンショット)を選択するか、ツールバーの [Target

Screenshot] (ターゲット スクリーンショット) ボタン 🔟 をクリ ックします。

 [Save] (保存) ダイアログ ボックスで、ファイルを保存する場所を選 択し、ファイルに名前を付け、[Files of type] (ファイルの種類) ドロ ップダウン リストからファイル形式を選択します。



3. [Save] (保存) をクリックしてスクリーンショットを保存します。

マウス オプション

デュアル マウス モードでオプションが適切に設定されている場合、2 つのマウス カーソルは同調します。

デュアル マウス モードで、ターゲット サーバを制御しているとき、リ モート コンソールには、2 つのマウス カーソルが表示されます。1 つ は KX III クライアント ワークステーションのマウス カーソルで、もう 1 つはターゲット サーバのマウス カーソルです。

この場合、シングル マウス モードとデュアル マウス モードのどちら かを使用できます。

デバイスでは、2 つのマウス カーソルが存在するときに以下のマウス モードが提供されます。

- Absolute (ずれない) (マウス同期)
- Intelligent (インテリジェント) (マウス モード)
- Standard (標準) (マウス モード)

マウス ポインタが KVM Client ターゲット サーバ ウィンドウ内にあ る場合、マウスの動作やクリックは、接続されているターゲット サーバ に直接送信されます。

クライアントのマウス ポインタは、マウスの加速設定により、動作がわ ずかにターゲット マウス ポインタより先行します。

高速 LAN 接続では、シングル マウス モードでターゲット サーバのポ インタのみを表示できます。

この 2 つのモード (シングル マウスとデュアル マウス) は自由に切り 替えることができます。



デュアル マウス モード

ずれないマウス モード

このモードでは、ターゲット マウスの加速または速度が異なる値に設定 されている場合でも、クライアントとターゲットのカーソルを同期する ために絶対座標が使用されます。

このモードは USB ポートを備えたサーバでサポートされ、仮想メディア CIM のデフォルトのモードです。

ずれないマウス モード では、仮想メディア CIM を使用する必要があり ます。

- D2CIM-VUSB
- D2CIM-DVUSB
- D2CIM-DVUSB-DVI
- D2CIM-DVUSB-HDMI
- D2CIM-DVUSB-DP

▶ ずれないマウス モードに切り替えるには、以下の手順に従います。

• [Mouse] (マウス) の [Absolute] (ずれない) を選択します。

キーボードおよびマウスには、DVUSB CIM の黒のコネクタが使用されて います。グレーのコネクタは、仮想メディアに使用します。

CIM の両方のプラグをデバイスに接続したままにします。両方のプラグ がターゲット サーバに接続されていない場合は、デバイスが正しく動作 しないことがあります。

インテリジェント マウス モード

デバイスでは、インテリジェント マウス モードにおいて、ターゲット のマウス設定を検出し、それに応じてマウス カーソルを同期できるので、 ターゲットでマウスの加速を設定できます。インテリジェント マウス モードは、VM ターゲット以外のデフォルトです。

インテリジェント マウス モードへの切り替え

インテリジェント マウス モードに切り替えるには、以下の手順に 従います。

• [Mouse] (マウス)の [Intelligent] (インテリジェント)を選択します。



インテリジェント マウス同期の条件

[Mouse] (マウス) メニューにある [Intelligent Mouse Synchronization] (イン テリジェント マウス同期) コマンドを選択すると、マウスが動いていな いときにマウス カーソルが自動的に同期されます。この機能を適切に動 作させるには、次の条件が満たされている必要があります。

- ターゲットにおいて、アクティブデスクトップが無効であること。
- ターゲットページの左上隅にウィンドウが表示されていないこと。
- ターゲットページの左上隅にアニメーション背景が表示されていないこと。
- ターゲットのマウスカーソルが通常のものであり、アニメーションカーソルでないこと。
- ターゲットマウスの速度が、非常に遅い値や非常に速い値に設定されていないこと。
- [ポインタの精度を高める]や[ポインタを自動的に既定のボタン上に移動する]などの高度なマウスプロパティが無効であること。
- [ビデオ設定] ウィンドウで [最適ビデオ モード] を選択しているこ と。
- ターゲットのビデオの外周部が明確に表示されていること(つまり、 ターゲットのビデオ画像の端にスクロールしたときに、ターゲット デスクトップとリモート KVM コンソール ウィンドウの間に黒い ボーダーが表示されている必要があります)。
- インテリジェント マウス同期機能を使用中に、デスクトップの左上 隅にファイル アイコンやフォルダ アイコンがあると、この機能が正 しく動作しない可能性があります。この機能での問題を避けるために、 デスクトップの左上隅にファイル アイコンやフォルダ アイコンを 置かないことを推奨します。

ターゲット ビデオが自動検出された後で、ツール バーの [Synchronize Mouse] (マウス同期) ボタンをクリックして、手動でマウス同期を開始す る必要があります。ターゲットの解像度が変更された場合や、マウス カ ーソルが互いに同期しなくなった場合にも、この操作を行います。

インテリジェント マウス同期が失敗した場合、標準マウス同期と同じ動 作になります。

マウス設定は、ターゲットのオペレーション システムよって異なります。 詳細については、使用する OS のマニュアルを参照してください。また、 インテリジェント マウス同期は UNIX ターゲットでは機能しません。



標準マウス モード

標準マウス モードは、相対マウス位置を使用した標準のマウス同期アル ゴリズムです。標準マウス モードを使用する場合、クライアントとサー バのカーソルが同期するように、マウスの加速を無効にし、マウスに関 連するその他のパラメータを適切に設定する必要があります。

- ▶ 標準マウス モードに切り替えるには、以下の手順に従います。
- [Mouse] (マウス) の [Standard] (標準) を選択します。

マウス同期のヒント

マウス同期に問題がある場合は、以下の手順に従います。

- 選択したビデオ解像度と垂直走査周波数がデバイスでサポートされていることを確認します。[KVM Client Connection Info] (KVM Client 接続情報) ダイアログ ボックスには、デバイスの表示で使用している実際の値が表示されます。
- [KVM Client auto-sense] (KVM Client の自動検出) ボタンをクリック して自動検出を強制します。
- 3. 以上の手順で Linux、UNIX、Solaris KVM ターゲット サーバのマウ ス同期が改善しない場合は、以下の手順に従います。
 - a. ターミナル ウィンドウを開きます。
 - b. 次のコマンドを入力します。xset mouse 1 1
 - c. ターミナル ウィンドウを閉じます。

マウスの同期

デュアル マウス モードで [Synchronize Mouse] (マウスの同期) コマン ドを使用すると、ターゲット サーバのマウス ポインタと KVM Client のマウス ポインタとの同期化が再実行されます。

▶ マウスを同期するには、次のいずれかの手順に従います。

- [Mouse] (マウス)の [Synchronize Mouse] (マウスの同期) を選択する
 - か、ツールバーの [Synchronize Mouse] (マウスの同期) ボタン をクリックします。

注:このオプションは、標準マウス モードとインテリジェント マウス モ ードでのみ使用可能です。



シングル マウス モード

シングル マウス モードでは、ターゲット サーバのマウス カーソルだ けを使用します。ローカル マウス ポインタは画面に表示されません。

注:クライアントが仮想マシン上で実行している場合、シングル マウス モードは Windows および Linux のターゲットでは機能しません。

- ▶ シングル マウス モードにするには、次のいずれかの手順に従いま す。
- [Mouse] (マウス)の [Single Mouse Cursor] (シングル マウス カーソ ル)を選択します。
- ツール バーの [Single/Double Mouse Cursor] (シングル/ダブル マウ

をクリックします。 ス カーソル) ボタン



- シングル マウス モードを終了するには、以下の手順に従います。
- 1. シングル マウス モードを終了するには、キーボードの Ctrl+Alt+O を押します。

ツール オプション

[General Settings] (全般)

- ツール オプションを設定するには、以下の手順に従います。
- 1. [Tools] (ツール) メニューの [Options] (オプション) を選択します。 [Options] (オプション) ウィンドウが表示されます。
- 2. テクニカル サポートから指示されたときだけ、[Enable Logging] (ログ 記録を有効にする)チェックボックスをオンにします。 このオプションをオンにすると、ホーム ディレクトリにログ ファイ ルが作成されます。
- 3. 必要に応じて、ドロップダウン リストからキーボードの種類を選択 します。



含まれるオプションは次のとおりです。

- [US/International] (アメリカ英語/国際)
- [French (France)] (フランス語 (フランス))
- [German (Germany)] (ドイツ語 (ドイツ))
- 日本語
- [United Kingdom] (イギリス英語)
- [Korean (Korea)] (韓国語 (韓国))
- [French (Belgium)] (フランス語 (ベルギー))
- [Norwegian (Norway)] (ノルウェー語 (ノルウェー))
- [Portuguese (Portugal)] (ポルトガル語 (ポルトガル))
- [Danish (Denmark)] (デンマーク語 (デンマーク))
- [Swedish (Sweden)] (スウェーデン語 (スウェーデン))
- [German (Switzerland)] (ドイツ語 (スイス))
- [Hungarian (Hungary)] (ハンガリー語 (ハンガリー))
- [Spanish (Spain)] (スペイン語 (スペイン))
- [Italian (Italy)] (イタリア語 (イタリア))
- スロベニア語
- [Translation: French US] (変換: フランス語 アメリカ英語)
- [Translation: French US International] (変換: フランス語 アメ リカ英語/国際)

AKC では、デフォルトのキーボードの種類はローカル クライアント であるため、このオプションは適用されません。

- 4. ホットキーを設定します。
 - [Exit Full Screen Mode Hotkey] (全画面モードの終了 ホットキ ー)。
 全画面モードに切り替えると、ターゲット サーバの表示が全画 面表示になり、ターゲット サーバと同じ解像度が取得されます。
 これは、このモードを終了するためのホットキーです。
 - [Exit Single Cursor Mode Hotkey] (シングル カーソル モードの 終了- ホットキー)。
 シングル カーソル モードに入ると、ターゲット サーバのマウ ス カーソルのみが表示されます。
 これは、シングル カーソル モードを終了して、クライアント マ ウス カーソルに戻るために使用するホットキーです。
 - [Disconnect from Target Hotkey] (ターゲットから切断 ホット キー)。
 このホットキーを有効にすると、ターゲットからすばやく切断で
 - このホットキーを有効にすると、ターケットからすはやく切断できます。



アプリケーションでは、同じホットキーの組み合わせを複数の機能に 割り当てることはできません。

たとえば、Q が既に [Disconnect from Target] (ターゲットから切断) 機能に割り当てられている場合、それを [Exit Full Screen Mode] (全画 面モードの終了) 機能に割り当てることはできません。

さらに、ホットキーがアップグレードによってアプリケーションに追加されたときにそのキーのデータ値が既に使用されていた場合は、次に利用できる値が、代わりにその機能に適用されます。

5. [OK] をクリックします。

Options	×
General Client Launch Settings Scan Settings	
Enable Logging	
Keyboard Type: English (US/Int'l)	•
Exit Full Screen Mode - HotKey: Ctrl +LeftAlt +M	•
Exit Single Cursor Mouse Mode - HotKey: Ctrl+LeftAlt+O	•
Disconnect From Target - Hotkey: Ctrl+LeftAlt+Q	•
OK Cancel	Apply

キーボードの制限

トルコ語キーボード

トルコ語のキーボードを使用している場合は、Active KVM Client (AKC) を介してターゲット サーバに接続する必要があります。他の Raritan ク ライアントではサポートされていません。

スロベニア語キーボード

JRE の制限により、< キーは、スロベニア語キーボードでは機能しません。

Linux での言語設定

Linux 上の Sun JRE では、システムの環境設定を使用して設定される外 国語のキーボードで正しいキー イベントを生成する際に問題があるの で、外国語キーボードは、次の表で説明する方法を使用して設定するこ とをお勧めします。



Ch 4: Virtual KVM Client (VKC) ヘルプ

言語	設定方法
アメリカ英語/ 国際	デフォルト設定
フランス語	Keyboard Indicator
ドイツ語	[System Settings] (システム設定) (Control Center)
日本語	[System Settings] (システム設定) (Control Center)
イギリス英語	[System Settings] (システム設定) (Control Center)
韓国語	[System Settings] (システム設定) (Control Center)
ベルギー語	Keyboard Indicator
ノルウェー語	Keyboard Indicator
デンマーク語	Keyboard Indicator
スウェーデン 語	Keyboard Indicator
ハンガリー語	[System Settings] (システム設定) (Control Center)
スペイン語	[System Settings] (システム設定) (Control Center)
イタリア語	[System Settings] (システム設定) (Control Center)
スロベニア語	[System Settings] (システム設定) (Control Center)
ポルトガル語	[System Settings] (システム設定) (Control Center)

注: デスクトップ環境として Gnome を使用している Linux システムで は、Keyboard Indicator を使用してください。

クライアント起動設定

クライアント起動設定をカスタマイズすると、KVM セッションにおける 画面設定を定義できます。

- クライアント起動設定をカスタマイズするには、以下の手順に従います。
- [Tools] (ツール) メニューの [Options] (オプション) を選択します。
 [Options] (オプション) ウィンドウが表示されます。
- 2. [Client Launch Settings] (クライアント起動設定) タブをクリックしま す。
 - ターゲット ウィンドウ設定をカスタマイズするには



- a. ターゲットの現在の解像度に合ったサイズのウィンドウを開く には、[Standard - sized to target Resolution](標準 - ターゲット の解像度に合わせる)を選択します。ターゲットの解像度がクラ イアントの解像度よりも高い場合、画面全体にターゲット ウィ ンドウが表示され、表示しきれない部分がある場合は、スクロー ル バーが追加表示されます。
- b. ターゲット ウィンドウを全画面モードで開くには、[Full Screen] (全画面)を選択します。
- ターゲット ビューアが起動するモニタをカスタマイズするには
- a. クライアント上で使用されているアプリケーション(例: Web ブ ラウザ、アプレット)を表示しているモニタでターゲット ビュ ーアを起動するには、[Monitor Client Was Launched From](クライ アントが起動されているモニタ)を選択します。
- b. アプリケーションによって現在検出されているモニタの一覧から選択するには、[Select From Detected Monitors](検出されたモニタの中から選択)を選択します。以前選択したモニタが検出されなくなった場合、"Currently Selected Monitor Not Detected"(現在選択されているモニタが検出されませんでした)というメッセージが表示されます。
- 追加の起動設定をカスタマイズするには、以下の手順に従います。
- a. サーバにアクセスされたときにデフォルト マウス モードとし てシングル マウス モードを有効にするには、[Enable Single Cursor Mode] (シングル カーソル モードを有効にする)を選択 します。
- b. ターゲット サーバにアクセスされたときに、表示サイズを自動 的に拡大、縮小するには、[Enable Scale Video](ビデオの拡大、縮 小を有効にする)選択します。
- c. 全画面モードの場合でもターゲットのツールバーを表示したま まにする場合は、[Pin Menu Toolbar] (メニュー ツールバーを常に 表示)を選択します。デフォルトでは、ターゲットが全画面モー ドの場合、メニューは、マウスを画面上部に移動した場合にのみ 表示されます。



3. [OK] をクリックします。

Options	J
General Client Launch Settings Scan Settings]
Window Mode	
 Standard - sized to target resolution 	
Full Screen	
Monitor	
Monitor Client Was Launched From	
Select From Detected Monitors	
Monitor A 🚽	
Detected Monitors:	
A	
Other	
Tenable Single Mouse Cursor	
Tenable Scale Video	
Pin Menu Toolbar	
OK Cancel Apply	

VKC および AKC でのポート スキャンの設定

VKC および AKC でのポート スキャンの設定は、KX III リモート コン ソールからのスキャンに適用されます。

ローカル コンソールのポート スキャン オプションを設定するには、

「*ローカル コンソール スキャンの設定* 『101p. 』」を参照してください。

選択したターゲットを検索してそれをスライド ショー ビューで表示す るポート スキャン機能を使用すると、最大 32 のターゲットを一度にモ ニタできます。

ターゲットに接続することも、必要に応じて特定のターゲットをフォー カスすることもできます。スキャン対象は、標準ターゲット、ブレード サ ーバ、カスケード接続 Dominion デバイス、KVM スイッチの各ポートで す。

Virtual KVM Client (VKC) または Active KVM Client (AKC) からスキャン 設定を指定します。

「ポートのスキャン - リモート コンソール 『83p. 』」を参照してくだ さい。

[Scan Settings] (スキャン設定) タブを使用して、スキャン間隔およびデフ オルト表示オプションをカスタマイズします。



ポート スキャンの設定

- ▶ スキャン設定をカスタマイズするには、以下の手順に従います。
- [ツール] メニューの [オプション] を選択します。[オプション] ウィンドウが表示されます。
- 2. [スキャン設定] タブを選択します。
- 3. [表示間隔 (10 ~ 255 秒):]: フィールドで、フォーカスを持つターゲットを [ポート スキャン] ウィンドウの中央に表示する秒数を指定します。
- Interval Between Ports (10 255 sec):] (ポート間の間隔 (10 ~ 255 秒):) フィールドで、ポート間でデバイスを一時停止する間隔を指定 します。
- 5. [表示] セクションで、[ポート スキャン] ウィンドウのサムネイルの サイズと分割方向のデフォルト表示オプションを変更します。
- 6. [OK] をクリックします。

Options
General Client Launch Settings Scan Settings
Scan Intervals
Display Interval (10-255 sec): 10
Interval Between Ports (10-255 sec): 10
Display
Thumbnail Size: 160x120 🗸
Split Orientation: Vertical
OK Cancel Appiy



表示オプション

[View Toolbar] (ツール バーの表示)

Virtual KVM Client では、ツール バーの表示/非表示を切り替えることが できます。

- ツール バーの表示/非表示 (オン/オフ) を切り替えるには、以下の 手順に従います。
- [View] (表示) の [View Toolbar] (ツール バーの表示) を選択します。

[View Status Bar] (ステータス バーの表示)

デフォルトでは、ステータス バーはターゲット ウィンドウの下部に表 示されます。

- ▶ ステータス バーを非表示にするには、以下の手順に従います。
- [View] (表示)の [Status Bar] (ステータス バー)をクリックして選択 解除します。
- ▶ ステータス バーを復元するには、以下の手順に従います。
- [View] (表示)の [Status Bar] (ステータス バー)をクリックして選択 します。

[Scaling] (拡大、縮小)

ターゲットのウィンドウを拡大、縮小することで、ターゲット サーバ ウ ィンドウ全体の内容を表示することができます。

Virtual KVM Client のウィンドウ サイズに合わせて、縦横比を維持した まま、ターゲット ビデオのサイズを拡大または縮小することができるた め、スクロール バーを使用することなくターゲット サーバのデスクト ップ全体を表示することができます。

🕨 拡大、縮小 (オン/オフ) を切り替えるには、以下の手順に従います

• [View] (表示) の [Scaling] (拡大、縮小) を選択します。



[Full Screen Mode] (全画面モード)

全画面モードに切り替えると、ターゲットの全画面が表示され、ターゲット サーバと同じ解像度になります。

このモードを終了するためのホットキーは、[Options] (オプション) ダイ アログ ボックスで指定します。「**ツール オプション 『47**p. **』**」を参照 してください。

全画面モードになっているときに、マウス ポインタを画面上端に移動すると、全画面モード メニュー バーが表示されます。

全画面モードの場合でもメニュー バーを表示したままにする場合は、 [Tool] (ツール) の [Options] (オプション) ダイアログ ボックスの [Pin Menu Toolbar] (メニュー ツールバーを常に表示] を有効にします。「 $\boldsymbol{\mathcal{Y}}$ ール オプション 『47p. 』」を参照してください。

- ▶ 全画面モードに切り替えるには、以下の手順に従います。
- [View](表示)の[Full Screen](全画面)を選択するか、[Full Screen](全 画面)ボタン をクリックします。

▶ 全画面モードを終了するには、以下の手順に従います。

• [Tool] (ツール) の [Options] (オプション) ダイアログで設定されて いるホットキーを押します。デフォルトは Ctrl+Alt+M です。

常に全画面モードの状態でターゲットにアクセスしたい場合、全画面モ ードをデフォルトにすることができます。

▶ 全画面モードをデフォルトに設定するには

- [Tools] (ツール) メニューの [Options] (オプション) をクリックし、 [Options] (オプション) ダイアログ ボックスを開きます。
- [Enable Launch in Full Screen Mode] (全画面モードで起動する)を選択 し、[OK] (OK) をクリックします。



仮想メディア

すべての KX III モデルにおいて仮想メディアがサポートされています。 KVM の機能を拡張する仮想メディアにより、クライアント PC やネッ トワーク ファイル サーバ上のメディアにリモートのターゲット サー バからアクセスできるようになります。

この機能を使用すると、クライアント PC やネットワーク ファイル サ ーバでマウントされたメディアが、ターゲット サーバでも仮想的にマウ ントされます。これにより、そのメディアはターゲット サーバ自体に物 理的に接続されているような形で読み書きできるようになります。

それぞれの KX III は仮想メディアに対応しているので、CD、DVD、USB、 音声再生および録音デバイス、内部およびリモート ドライブ、イメージ などのいろいろなデバイスを使用したリモート管理タスクが可能です。

仮想メディアのセッションは、128 または 256 ビットの AES または RC4 暗号化によって保護されます。

仮想メディアを使用するための条件

KXⅢ の前提条件

- 仮想メディアへのアクセスを要求するユーザに対して、該当するポートへのアクセスや、これらのポートの仮想メディア アクセス (VM アクセス ポート権限)を許可するように KX III を設定する必要があります。ポート権限はグループレベルで設定されます。
- デバイスとターゲット サーバ間に USB 接続が存在する必要があり ます。
- PC 共有を使用する場合は、[Security Settings](セキュリティ設定)ペ ージでセキュリティ設定を有効にする必要があります。(オプション)
- 接続先の KVM ターゲット サーバの適切な USB プロファイルを選 択する必要があります。

リモート PC

 仮想メディアの一部のオプションを使用するには、リモート PC に 対する管理者特権が必要です(ドライブ全体のドライブ リダイレク ト機能など)。

注:Microsoft Vista または Windows 7 を使用している場合は、[ユーザ アカウント制御] を無効にするか、Internet Explorer を起動するとき に [管理者として実行] を選択しますこのためには、[スタート] メニ ユーの [Internet Explorer] を右クリックし、[管理者として実行] を選 択します。



ターゲット サーバ

- KVM ターゲット サーバは USB 接続のドライブをサポートする必要があります。
- USB 2.0 ポートの方が高速なため、推奨されます。

仮想メディアに必要な CIM

次のいずれかの CIM を使用して仮想メディアを利用する必要があります。

- D2CIM-VUSB
- D2CIM-DVUSB
- D2CIM-DVUSB-DVI
- D2CIM-DVUSB-HDMI
- D2CIM-DVUSB-DP

キーボードおよびマウスには、DVUSB CIM の黒のコネクタが使用されて います。グレーのコネクタは、仮想メディアに使用します。

CIM の両方のプラグをデバイスに接続したままにします。両方のプラグ がターゲット サーバに接続されていない場合は、デバイスが正しく動作 しないことがあります。

ローカル ドライブのマウント

このオプションを使用すると、ドライブ全体がマウントされます。つま り、クライアントコンピュータのディスク ドライブ全体がターゲット サーバに仮想的にマウントされます。

このオプションは、ハード ディスク ドライブと外部ドライブにのみ使 用してください。ネットワーク ドライブ、CD-ROM ドライブ、または DVD-ROM ドライブは対象外です。

ローカル ドライブのマウントに関する留意事項

Windows XP[®] オペレーティング システムが稼動している KVM ターゲット サーバでは、NTFS 形式のパーティション (ローカル C ドライブ など) がリダイレクトされた後で新しいマス ストレージ接続を行うこと ができない場合があります。

その場合には、リモート コンソールを閉じて再接続した後で、別の仮想 メディア デバイスをリダイレクトしてください。同じターゲット サー バに別のユーザーが接続している場合、そのユーザーの接続も閉じる必 要があります。



仮想メディアによりサポートされているタスク

仮想メディアを使用することで、以下のような作業をリモートから実行 できるようになります。

- ファイルの転送
- 診断の実行
- アプリケーションのインストールと修正パッチ (patch) の適用
- オペレーティング システムの完全インストール
- デジタル音声の録音および再生

サポートされている仮想メディア タイプ

Windows[®]、Mac[®]、Linux[™]の各クライアントでは、以下の仮想メディア タ イプがサポートされています。

- 内蔵ハード ディスク ドライブおよび外付けハード ディスク ドラ イブ
- 内蔵または USB マウントされた CD ドライブや DVD ドライブ
- USB マス ストレージ デバイス
- PC ハード ディスク ドライブ
- ISO イメージ (ディスク イメージ)
- デジタル音声デバイス*

注:ラリタンは ISO9660 を標準でサポートしています。ただし、他の ISO 標準も使用できます。

読み取り/書き込み可能に設定できない状況

以下の場合、仮想メディアを読み取り/書き込み可能にすることはできま せん。

- Linux[®] および Mac[®] の各クライアント
- ドライブが書き込み保護されている場合
- ユーザに読み取り/書き込みの権限がない場合。
 - ポート権限の [Access] (アクセス) が [None] (なし) または [View] (表示) に設定されている場合。
 - ポート権限の [VM Access] (VM アクセス) が [Read-Only] (読み 取り専用) または [Deny] (拒否) に設定されている場合。



サポートされている仮想メディア オペレーティング システム

サポートされているクライアント オペレーティング システムは次のと おりです。

- Windows®7 オペレーティング システム
- Windows 8 オペレーティング システム
- Windows XP® オペレーティング システム
- openSUSE® 11.4 Celadon (x86_64)
- Fedora® 18
- RHEL® 6.4
- OSX Mountain Lion[®] 10.7 (以降)
- Solaris[®] 10

Active KVM Client (AKC) を使用して仮想メディア タイプをマウントで きますが、Windows オペレーティング システムのみが対象となります。

サポートされている仮想メディア ドライブ数

仮想メディア機能を使用する場合、現在ターゲットに適用されている USB プロファイルでサポートされている異なる種類のドライブを 2 台 までマウントできます。このドライブは、KVM セッションの間のみアク セスできます。

たとえば、特定の CD-ROM をマウントして、それを使用し、作業が終 了したら切断することができます。それでも、別の CD-ROM を仮想的 にマウントできるように、この CD-ROM 仮想メディアの "チャンネル" は開いたままになります。このような仮想メディアの "チャネル" は、 USB プロファイルがサポートしている限り、KVM セッションが閉じら れるまで開いたままになっています。

仮想メディアを使用するには、ターゲット サーバからアクセスできるようにするメディアを、クライアントまたはネットワーク ファイル サー バに接続します。

この手順を最初に行う必要はありませんが、このメディアにアクセスする前に行う必要があります。



仮想メディアの接続および切断

クライアント コンピュータの仮想メディア ドライブへのアクセス

- クライアント コンピュータの仮想メディア ドライブにアクセスするには、以下の手順に従います。
- Virtual KVM Client で、[Virtual Media] (仮想メディア)の [Connect Drive] (ドライブの接続)を選択するか、[Connect Drive...] (ドライブ

の接続...) ボタン - をクリックします。[Map Virtual Media Drive] (仮想メディア ドライブの割り当て) ダイアログ ボックスが表示さ れます。

Map Virtual Media Drive			
Select a local drive to mount onto the target server.			
Local Drive:			
C: (Hard Disk Partition)			
Read-Write			
OK Cancel			

2. [Local Drive] (ローカル ドライブ) ドロップダウン リストから、ドラ イブを選択します。

読み取りと書き込みの機能が必要な場合には、[Read-Write](読み取り /書き込み可能)チェックボックスをオンにします。

このオプションは、リムーバブル ドライブ以外では無効になってい ます。詳細は、「*読み取り/書き込み可能に設定できない状況*『58p. 』」 を参照してください。

このチェックボックスをオンにすると、接続した USB ディスクに読み取りと書き込みを実行できるようになります。

警告: 読み取り/書き込みアクセスを有効にすると危険な場合があり ます。同じドライブに対して同時に複数のクライアント PC からア クセスすると、データが壊れる恐れがあります。書き込みアクセスが 不要な場合は、このオプションをオフのままにしてください。

3. [OK] をクリックします。メディアがターゲット サーバに仮想的に マウントされます。このメディアには、他のドライブとまったく同じ ようにアクセスすることができます。



CD-ROM/DVD-ROM/ISO イメージのマウント

このオプションを使用して、CD-ROM、DVD-ROM、ISO イメージをマウ ントします。

注:Raritan は ISO9660 形式を標準でサポートしています。ただし、その 他の CD-ROM 拡張でも動作します。

CD-ROM、DVD-ROM、ISO イメージにアクセスするには、以下の 手順に従います。

 Virtual KVM Client で、[Virtual Media] (仮想メディア)の[Connect CD-ROM/ISO Image] (CD-ROM/ISO イメージに接続)を選択するか、

[Connect CD-ROM/ISO] (CD-ROM/ISO に接続) ボタン シー シー シー シー をク リックします。[Map Virtual Media CD/ISO Image] (仮想メディア CD/ISO イメージの割り当て) ダイアログ ボックスが表示されます。

- 2. 内部および外部の CD-ROM ドライブまたは DVD-ROM ドライブ の場合
 - a. [Local CD/DVD Drive] (ローカル CD/DVD ドライブ)を選択し ます。
 - b. [Local CD/DVD Drive] (ローカル CD/DVD ドライブ) ドロップ ダウン リストから、ドライブを選択します。使用可能なすべて の内部/外部の CD ドライブおよび DVD ドライブの名前が、ド ロップダウン リストに表示されます。
 - c. [接続] をクリックします。
- 3. ISO イメージの場合
 - a. [ISO Image] (ISO イメージ) オプションを選択します。CD、DVD、 またはハード ディスクのディスク イメージにアクセスする場 合に、このオプションを使用します。サポートされる形式は ISO 形式のみです。
 - b. [Browse] (参照) をクリックします。
 - c. 使用するディスク イメージが含まれるパスを指定して、[Open]
 (開く)をクリックします。パスが [Image Path] (イメージのパス)
 フィールドに入力されます。
 - d. [接続] をクリックします。
- 4. ファイル サーバ上のリモート ISO イメージの場合
 - a. [Remote Server ISO Image] (リモート サーバの ISO イメージ) オ プションを選択します。
 - b. ドロップダウン リストから、ホスト名とイメージを選択します。 ファイル サーバとイメージ パスは、[File Server Setup](ファイ ル サーバのセットアップ)ページを使用して設定できます。[File Server Setup](ファイル サーバのセットアップ)ページで設定し た項目がドロップダウン リストに表示されます。



- c. [File Server Username] (ファイル サーバ ユーザ名) ファイル サーバへのアクセスに必要なユーザ名です。名前には、 mydomain/username のようにドメイン名を含めることができま す。
- d. [File Server Password] (ファイル サーバ パスワード) ファイル サーバへのアクセスに必要なパスワードです (入力時、フィール ドはマスクされます)。
- e. [接続] をクリックします。

メディアがターゲット サーバに仮想的にマウントされます。このメ ディアには、他のドライブとまったく同じようにアクセスすることが できます。

注:Linux[®] ターゲット上のファイルを操作する場合、仮想メディアを使用 してコピーしたファイルを表示するには、コピー後に Linux の Sync コ マンドを使用します。Sync コマンドを実行するまではファイルを表示で きません。

注:Windows 7[®] オペレーティング システム[®] を使用している場合、デフ オルトでは、ローカル CD/DVD ドライブまたはリモート ISO イメージ をマウントしたとき、リムーバブル ディスクは Windows の [マイ コン ピュータ] フォルダに表示されません。ローカル CD/DVD ドライブまた はリモート ISO イメージをこのフォルダに表示するには、[ツール] メニ ューの [フォルダ オプション] をクリックし、[空のドライブは [コンピ ュータ] フォルダに表示しない] チェック ボックスをオフにします。

注: サードパーティ ソフトウェアの技術的な制限により、IPv6 アドレス を使用して仮想メディア経由でリモート ISO イメージにアクセスする ことはできません。

仮想メディア ドライブの切断

- ▶ 仮想メディア ドライブを切断するには、以下の手順に従います。
- ローカル ドライブの場合は、[Virtual Media](仮想メディア)の [Disconnect Drive](ドライブの切断)を選択します。
- CD-ROM、DVD-ROM、ISO イメージの場合は、[Virtual Media](仮想 メディア)の [Disconnect CD-ROM/ISO Image] (CD-ROM/ISO イメ ージの切断)を選択します。

注:切断コマンドを使用する方法だけでなく、KVM 接続を閉じても仮想 メディアが切断されます。

Windows XP 環境での仮想メディア

Virtual KVM Client または Active KVM Client を Windows® XP 環境で実 行している場合、CD-ROM 接続、ISO、および ISO イメージを除く仮想 メディア タイプにアクセスするには、ユーザに管理者権限が必要です。



Linux 環境での仮想メディア

アクティブ システム パーティション

Linux クライアントからアクティブ システム パーティションをマウン トすることはできません。

Linux Ext3/4 ドライブ パーティションは、仮想メディアを接続する前に umount /dev/<device label> でアンマウントしておく必要があります。

ドライブ パーティション

オペレーティング システム間のドライブ パーティションの制限は、以下のとおりです。

- Windows[®] および Mac の各ターゲットでは Linux 形式のパーティションの読み取りはできない
- Windows および Linux では Mac 形式のパーティションの読み取り はできない
- Linux でサポートされているのは Windows Fat パーティションのみ

root ユーザ権限の要件

Linux クライアントからターゲットに CD ROM をマウントし、その後 CD ROM のマウントを解除する場合は、仮想メディア接続が切断される ことがあります。

この問題を回避するには、root ユーザであることが必要です。

Mac 環境での仮想メディア

アクティブ システム パーティション

仮想メディアを使用して、Mac クライアントのアクティブ システム パ ーティションをマウントすることはできません。

ドライブ パーティション

オペレーティング システム間のドライブ パーティションの制限は、以下のとおりです。

- Windows® および Mac の各ターゲットでは Linux 形式のパーティションの読み取りはできない
- Windows では Mac 形式のパーティションの読み取りはできない
- Windows FAT および NTFS は Mac でサポートされている
- Mac ユーザがターゲットサーバに接続するためには、既にマウント されているデバイスをアンマウントする必要があります。デバイスを アンマウントするには、>diskutil umount /dev/disk1s1 を使用し、再 マウントするには、diskutil mount /dev/disk1s1 を使用します。


仮想メディア ファイル サーバのセットアップ (ファイル サーバ ISO イメージの場合のみ)

この機能は、仮想メディアを使用してファイル サーバ ISO イメージに アクセスする場合にのみ必要です。Raritan は ISO9660 形式を標準でサ ポートしています。ただし、その他の CD-ROM 拡張でも動作します。

注:ファイル サーバには、SMB/CIFS のサポートが必要です。

リモート コンソールの [File Server Setup] (ファイル サーバのセットア ップ) ページで、仮想メディアを使用してアクセスするファイル サーバ とイメージのパスを指定します。ここで指定されたファイル サーバ ISO イメージは、[Remote Server ISO Image] (リモート サーバの ISO イメー ジ) で [Hostname] (ホスト名) および [Image] (イメージ) ドロップダウン リスト ([Map Virtual Media CD/ISO Image] (仮想メディア CD/ISO イメー ジの割り当て) ダイアログ ボックス)の選択肢として表示されます。

「*CD-ROM/DVD-ROM/ISO イメージのマウント* 『*61*p. 』」を参照して ください。

仮想メディアとしてアクセスするファイル サーバ ISO イメージを 指定するには、以下の手順に従います。

- 1. リモート コンソールから仮想メディアを選択します。[File Server Setup] (ファイル サーバのセットアップ) ページが開きます。
- 2. 仮想メディアとしてアクセスするすべてのメディアについて、 [Selected] (選択) チェックボックスをオンにします。
- 3. アクセスするファイル サーバ ISO イメージに関する情報を入力し ます。
 - [IP Address/Host Name] (IP アドレス/ホスト名) ファイル サーバのホスト名または IP アドレスです。
 - [Image Path] (イメージのパス) ISO イメージの場所を表す完全 パス名です。たとえば、/sharename0/path0/image0.iso、 ¥sharename1¥path1¥image1.iso などです。

注:ホスト名は 232 文字以内で指定してください。

4. [Save](保存)をクリックします。これで、指定したすべてのメディア が [Map Virtual Media CD/ISO Image](仮想メディア CD/ISO イメー ジの割り当て)ダイアログ ボックスで選択できるようになりました。



注:Windows 2003[®] サーバに接続し、サーバから ISO イメージをロードし ようとすると、「Virtual Media mounting on port failed. Unable to connect to the file server or incorrect File Server username and password」(ポートで仮 想メディアのマウントに失敗しました。ファイル サーバに接続できない か、ファイル サーバのユーザ名とパスワードが正しくありません)とい うエラーが表示される場合があります。このエラーが発生した場合は、 [Microsoft ネットワーク サーバー: 通信にデジタル署名を行う] オプシ ョンを無効にします。

スマート カード

KX III を使用すると、スマート カード リーダーをターゲット サーバに マウントして、スマート カード認証および関連アプリケーションをサポ ートできます。

サポートされているスマート カード、スマート カード リーダー、およ びシステム要件については、「スマート カードの最小システム要件、CIM、 およびサポートされているスマート カード リーダーとサポートされて いないスマート カード リーダー 『65_D.』」を参照してください。

注:USB スマート カード トークン (eToken NG-OTP) は、リモート ク ライアントからのみサポートされています。

ローカル コンソールからのスマート カード リーダーのマウントもサ ポートされます。

Dominion デバイスのヘルプの「*ローカル コンソールのスマート カード アクセス* 『102p. 』」を参照してください。

スマート カードの最小システム要件、CIM、およびサポートされてい るスマート カード リーダーとサポートされていないスマート カード リーダー

スマート カード リーダーを使用する前に、以下を確認してください。

- スマート カードの最小システム要件 『131p. 』
- サポートされているコンピュータ インタフェース モジュール (CIM)の仕様『125p. 』
- サポートされているスマート カード リーダーとサポートされてい ないスマート カード リーダー



スマート カード リーダーへのアクセス時の認証

サーバにリモートでアクセスすると、接続されたスマート カード リー ダーを選択し、それをサーバにマウントできます。

スマート カード認証はターゲット サーバで使用されますが、デバイス へのログインには使用されません。したがって、スマート カードの PIN と資格情報を変更するのにデバイス アカウントを更新する必要はあり ません。

スマート カード使用時の PC 共有モードおよびプライバシー設定

デバイスで PC 共有モードを有効にすると、複数のユーザがターゲット サーバへのアクセスを共有できます。

ただし、スマート カード リーダーがターゲットに接続されている場合 は、PC 共有モードの設定にかかわらず、デバイスによってプライバシー が強化されます。

さらに、ターゲット サーバで共有セッションに加わっている場合は、タ ーゲット サーバへの排他的アクセスが可能になるまでスマート カード リーダーのマウントが無効になります。

スマート カード リーダーの検出

ターゲット サーバとの KVM セッションが確立されると、VKC および AKC で [Smart Card] (スマート カード) メニュー/ボタンを使用できま す。

[Smart Card] (スマート カード) ボタンを選択するか、メニューから [Smart Card] (スマート カード) を選択すると、リモート クライアントに 接続されているスマート カード リーダーがダイアログ ボックスに表 示されます。

このダイアログ ボックスでは、追加のスマート カード リーダーを接続 したり、ターゲット サーバに接続されているスマート カード リーダー のリストを更新したり、スマート カード リーダーの接続を解除したり できます。

スマート カードの取り外しと再挿入も行うことができます。この機能を 使用して、適切なログイン ダイアログ ボックスを表示するために、カ ードの取り外しまたは再挿入が必要であるターゲット サーバの OS に 通知を送信できます。通知は、他のアクティブな KVM セッションに影 響を与えることなく 1 台のターゲット サーバに送信できます。



スマート カード リーダーのマウント

カード リーダーおよびスマート カードをターゲット サーバにマウン トすると、サーバはそれらのリーダーやカードが直接接続されているか のように動作します。

スマート カードまたはスマート カード リーダーを取り外すと、ターゲ ット サーバの OS で設定されているカードの取り外しポリシーに従っ て、ユーザ セッションがロックされるか、またはユーザがログアウトさ れます。

KVM セッションが切断されるか、または新しいターゲットに切り替えた ために KVM セッションが終了した場合、スマート カード リーダーは ターゲット サーバから自動的にマウント解除されます。

VKC または AKC からスマート カード リーダーをマウントする には、以下の手順に従います。

 [Smart Card] (スマート カード) メニューをクリックし、[Smart Card Reader] (スマート カード リーダー) を選択します。または、ツール

バーの [Smart Card] (スマート カード) ボタン 🌾 をクリックします。

- 2. [Select Smart Card Reader] (スマート カード リーダーの選択) ダイア ログ ボックスでスマート カード リーダーを選択します。
- 3. [Mount] (マウント) をクリックします。
- 進行状況を示すダイアログ ボックスが開きます。次回ターゲット サーバに接続したときにスマート カード リーダーを自動的にマウントするには、[Mount selected card reader automatically on connection to targets] (選択したカード リーダーをターゲットへの接続時に自動的にマウントする) チェックボックスをオンにします。[OK] をクリックして、マウント処理を開始します。

スマート カード リーダーの更新

- [Select Smart Card Reader] (スマート カード リーダーの選択) ダ イアログ ボックスのスマート カード リーダーを更新には、以下の 手順に従います。
- 新しいスマート カード リーダーがクライアント PC に接続された 場合は、[Refresh List](リストの更新)をクリックします。



スマート カードの取り外しおよび再挿入の通知の送信

- スマートカードの取り外しおよび再挿入の通知をターゲットサーバに送信するには、以下の手順に従います。
- 現在マウントされているスマート カード リーダーを選択し、 [Remove/Reinsert](取り外し/再挿入)ボタンをクリックします。

スマート カード リーダーのアンマウント (取り外し)

- スマート カード リーダーのマウントを解除するには、以下の手順 に従います。
- マウントを解除するスマート カード リーダーを選択し、[Unmount] (マウント解除) ボタンをクリックします。

デジタル音声

KX III では、リモート クライアントのデジタル音声再生デバイスおよび キャプチャ デバイスとターゲット サーバ間のエンドツーエンドの双方 向デジタル音声接続をサポートしています。

音声デバイスには、USB 接続を介してアクセスされます。

最新のデバイス ファームウェアが必要です。

次のいずれかの CIM を使用する必要があります。

- D2CIM-DVUSB
- D2CIM-DVUSB-DVI
- D2CIM-DVUSB-HDMI
- D2CIM-DVUSB-DP

Windows®、Linux®、Mac®の各オペレーティング システムがサポートされ ています。Virtual KVM Client (VKC) および Active KVM Client (AKC) は、 オーディオ デバイスへの接続をサポートしています。

注:音声 CD は、仮想メディアでサポートされていないので、音声機能で は使用できません。

音声機能の使用を始める前に、以下のヘルプ セクションに記載されてい る音声関連情報を確認することを推奨します。

- サポートされている音声デバイス形式 『69p. 』
- デュアル ポート ビデオに関する推奨事項
- サポートされているマウス モード
- デュアル ビデオ サポートに必要な CIM
- 留意事項、音声 『157p. 』



サポートされている音声デバイス形式

KX III では、ターゲット上の再生デバイスと録音デバイスを 1 台ずつサ ポートします。サポートされている音声デバイス形式は次のとおりです。

- ステレオ、16 ビット、44.1K
- モノラル、16 ビット、44.1K
- ステレオ、16 ビット、22.05K
- モノラル、16 ビット、22.05K
- ステレオ、16 ビット、11.025K
- モノラル、16 ビット、11.025K

音声の再生とキャプチャに関する推奨事項と要件

音声レベル

ターゲットの音声レベルを中域に設定します。
 たとえば、Windows® クライアントでは、音声を 50 以下に設定します。

この設定は、クライアントの音声デバイス コントロールではなく、再生またはキャプチャ用の音声デバイスで行う必要があります。

PC 共有モードが有効になっている場合の音声接続に関する推奨事項

PC 共有モードでの動作中に音声機能を使用している場合は、さらに音声 デバイスがターゲットに接続されると、音声の再生やキャプチャが中断 されます。

たとえば、ユーザ A がターゲット 1 に再生デバイスを接続して音声再 生アプリケーションを実行し、ユーザ B が同じターゲットにキャプチャ デ バイスを接続するとします。この場合、ユーザ A の再生セッション は中断されるので、音声アプリケーションを再起動する必要があります。

この中断が発生する理由は、新しいデバイス設定で USB デバイスを再列 挙する必要があるためです。

ターゲットで新しいデバイスのドライバをインストールする場合は、少し時間がかかることがあります。

音声アプリケーションは、再生の完全な停止、次のトラックへの移動、 または再生の続行となる可能性があります。

正確な動作は、音声アプリケーションで切断/再接続イベントがどのよう に処理されるかによって異なります。



帯域幅要件

次の表は、選択した各形式で音声を転送する場合の音声再生およびキャ プチャの帯域幅要件の詳細です。

音声形式	ネットワーク帯域幅要件
44.1 KHz、16 ビット ステ レオ	176 kbps
44.1 KHz、16 ビット モノ ラル	88.2 kbps
2.05 KHz、16 ビット ステ レオ	88.2 kbps
22.05 KHz、16 ビット モノ ラル	44.1 kbps
11.025 KHz、16 ビット ス テレオ	44.1 kbps
11.025 KHz、16 ビット モ ノラル	音声 22.05 kbps



実際に、音声デバイスをターゲットに接続するときに使用される帯域幅 は、ターゲットで音声アプリケーションを開いたり使用したりする際に 消費されるキーボード データやビデオ データがあるため、広くなって います。

一般的には、再生およびキャプチャを実行する前に、1.5 MB 以上の接続 を維持していることを推奨します。

ただし、ターゲット画面の解像度を高くして高品質なビデオ コンテンツ をフル カラー接続すると、さらに多くの帯域幅を消費するため、音声の 品質が大幅に劣化します。

品質の低下を軽減できるように、帯域幅が狭い場合にビデオが音声品質 に与える影響を軽減するための推奨のクライアント設定は数多くありま す。

- 音声の再生を低品質の形式で接続します。帯域幅を消費するビデオに よる影響は、44k よりも 11k で接続した方が大幅に減少します。
- [Connection Properties](接続プロパティ)で、接続速度を、クライアントからサーバへの接続に最適な値に設定します。
- [Connection Properties](接続プロパティ)で、色深度をできる限り低い値に設定します。色深度を8ビットカラーにすると、消費される帯域幅が大幅に減少します。
- [Smoothing](スムージング)を [High](高) に設定します。これにより、 表示されるビデオ ノイズが減少し、ターゲット ビデオの画質が向上 します。
- [Video](ビデオ)設定で、[Noise Filter](ノイズ フィルタ)を最も高い 設定 7(最高値)にすると、ターゲットの画面変更に使用される帯域 幅が小さくなります。



音声設定の保存

音声デバイス設定は、KX III デバイス単位で適用されます。

KX III の音声デバイス設定が指定され、保存されたら、同じ設定がその デバイスに適用されます。

たとえば、ステレオ、16 ビット、44.1K の形式を使用するように Windows[®] 音声デバイスを設定できます。

さまざまなターゲットに接続してその Windows 音声デバイスを使用す ると、各ターゲット サーバにはステレオ、16 ビット、44.1K の形式が 適用されます。

再生デバイスおよび録音デバイスの両方について、デバイスに適用されるデバイスタイプ、デバイス形式、およびバッファ設定が保存されます。

音声デバイスの接続方法および設定方法については、「デジタル音声デ バイスの接続および切断 『73p. 』」を参照し、音声デバイスのバッファ 設定については、「キャプチャ/再生バッファ サイズの調整(音声設定)」 を参照してください。

複数のユーザがターゲット上の同じ音声デバイスに同時にアクセスできるように、PC 共有モードおよび VM 共有モードでの動作中に音声機能を使用している場合は、セッションを開始するユーザの音声デバイス設定が、セッションに参加するすべてのユーザに適用されます。

したがって、ユーザが音声セッションに参加する場合は、ターゲット マ シンの設定が使用されます。「*単一のリモート クライアントから複数の ターゲットへの接続*『72p.』」を参照してください。

単一のリモート クライアントから複数のターゲットへの接続

単一のリモート クライアントから同時に最大 4 つのターゲット サーバの音声デバイスに接続します。

音声デバイスの接続方法については、「*デジタル音声デバイスの接続お* よび切断 『73p. 』」を参照してください。

スピーカー アイコン 🔍 がクライアント ウィンドウの下部のステー タス バーに表示されます。音声が使用されていない場合、このアイコン

はグレーで表示されます。スピーカー アイコンとマイク アイコン (型) がステータス バーに表示されている場合は、セッションがキャプチャさ れ、ストリーム配信されます。

注:音声セッションが進行中の場合は、必ずセッションをアクティブなま まにするか、KX III のアイドル状態のタイムアウト時間を変更して音声 セッションがタイムアウトにならないようにしてください。



オペレーティング システムの音声再生サポート

次の表で、オペレーティング システムごとに音声再生/キャプチャが機 能する Raritan クライアントを確認できます。

オペレーティング シス テム	音声再生およびキャプチャをサポートし ているクライアント
Windows®	Active KVM Client (AKC)Virtual KVM Client (VKC)
Linux®	• Virtual KVM Client (VKC)
Mac®	• Virtual KVM Client (VKC)

デジタル音声デバイスの接続および切断

音声デバイス設定は、KX III デバイス単位で適用されます。

KX III の音声デバイス設定が指定され、保存されたら、同じ設定がその デバイスに適用されます。

詳細については、「音声設定の保存 『72p. 』」を参照してください。

注:PC 共有モードおよび VM 共有モードでの動作中に音声機能を使用 している場合、重要な情報については、「音声の再生とキャプチャに関 する推奨事項と要件 『69*p.*』」を参照してください。「単一のリモート クライアントから複数のターゲットへの接続 『72*p.*』」も参照してく ださい。

デジタル音声デバイスの接続

- ▶ 音声デバイスに接続するには、以下の手順に従います。
- 1. 音声デバイスをリモート クライアント PC に接続してから、 KX III とのブラウザ接続を起動します。
- 2. [Port Access] (ポート アクセス) ページでターゲットに接続します。
- 3. 接続できたら、ツールバーの [Audio] (音声) ボタン 🚺 をクリック します。

[Connect Audio Device] (音声デバイスに接続) ダイアログ ボックス が表示されます。リモート クライアント PC に接続されている利用 可能な音声デバイスの一覧が表示されます。

注:リモート クライアント PC に接続されている利用可能な音声デ バイスがない場合、[Audio](音声) アイコンはグレーで表示されま す。.



- 4. 再生デバイスを接続する場合は、[Connect Playback Device](再生デバ イスを接続)をオンにします。
- 5. 接続するデバイスをドロップダウン リストから選択します。
- 6. 再生デバイスの音声形式を [Format:] (形式:) ドロップダウン リストから選択します。

注:使用する形式は、利用可能なネットワーク帯域幅に基づいて選択 します。サンプリングレートが低い形式であるほど、消費する帯域 幅は少なくなり、ネットワークの輻輳を許容できます。

 録音デバイスを接続する場合は、[Connect Recording Device] (録音デ バイスを接続)をオンにします。

注:[Connect Recording Device] (録音デバイスを接続) ドロップダウン に表示されるデバイス名は、Java クライアント向けに 30 文字に切 り捨てられます。

- 8. 接続するデバイスをドロップダウン リストから選択します。
- 9. 録音デバイスの音声形式を [Format:] (形式:) ドロップダウン リストから選択します。
- 10. [OK] をクリックします。音声接続が確立されると、確認メッセージが表示されます。[OK] をクリックします。
 音声接続が確立されない場合は、エラー メッセージが表示されます。
 音声接続が確立されると、[Audio](音声)メニューが [Disconnect Audio](音声の切断) に変わります。さらに、音声デバイス用の設定は保存され、音声デバイスに適用されます。



コン ● がステータス バーに表示されている場合は、セッションが キャプチャされ、ストリーム配信されます。

Connect Audio Device
Note, to ensure proper operation attach audio devices to client PC prior to launching browser. If you haven't already done so, please close then reopen your browser after attaching the audio devices.
Playback
Connect Playback Device
Primary Sound Driver 👻
Format:
stereo, 16 bit, 44,100 Hz 🔹
Recording
Connect Recording Device
Primary Sound Capture Driver
Format:
stereo, 16 bit, 11,025 Hz 🔹
OK Cancel

音声デバイスの切断

- ▶ 音声デバイスを切断するには、以下の手順に従います。
- ツールバーの [Audio](音声) アイコン をクリックし、切断を確認するダイアログ ボックスが開かれたら [OK] をクリックします。
 確認メッセージが表示されます。[OK] をクリックします。



キャプチャ/再生バッファ サイズの調整 (音声設定)

音声デバイスが接続されたら、必要に応じてキャプチャ/再生バッファ サイズを調整できます。

この機能は、音声の品質を管理する場合に役に立ちます。音声の品質は、 帯域幅の制限やネットワーク使用量の急増による影響を受けることがあ ります。

バッファ サイズを増やすと、音声の品質は改善されますが、配信速度が 低下することがあります。

有効な最大バッファ サイズは 400 ミリ秒であり、それより大きくする と、音声品質が大幅に低下します。

バッファ サイズは、音声セッション中も含めて、必要なときにいつでも 調整できます。

音声設定は、VKC または AKC で設定されます。

音声設定の調整

▶ 音声設定を調整するには、以下の手順に従います。

- [Audio](音声) メニューから [Audio Settings](音声設定) を選択しま す。[Audio Settings](音声設定) ダイアログ ボックスが開きます。
- 必要に応じてキャプチャや再生のバッファ サイズを調整します。
 [OK] をクリックします。

Audio Settings	×
Capture Buffer Size:	 120 milliseconds
Playback Buffer Size:	 120 milliseconds
	OK Cancel

バージョン情報 - Virtual KVM Client

このメニュー コマンドを選択すると、Virtual KVM Client のバージョン 情報が表示されます。このバージョン情報は、ラリタン テクニカル サ ポートを利用するときに必要になります。

▶ バージョン情報を調べるには、以下の手順に従います。

[Help] (ヘルプ)の [About Raritan Virtual KVM Client] (バージョン情報)を選択します。



Ch 4: Virtual KVM Client (VKC) ヘルプ

 後でサポート時にアクセスできるように、[Copy to Clipboard] (クリッ プボードにコピー) ボタンを使用して、ダイアログ ボックスに含ま れている情報をクリップボード ファイルにコピーします (必要な場 合)。



Ch 5 Active KVM Client (AKC) ヘルプ

この章の内容

概要	
ターゲット サーバへの接続	
AKC でサポートされている Microsoft .Net Framework	
AKC でサポートされているオペレーティング システム	
AKC でサポートされているブラウザ	
AKC を使用するため前提条件	

概要

Active KVM Client (AKC) は、Microsoft Windows .NET® 技術に基づいています。

これにより、Raritan の Virtual KVM Client (VKC) の実行に必要な Java[®] Runtime Environment (JRE) を使用しなくても Windows 環境でクライア ントを実行できます。.

AKC は CC-SG とも連動します。

AKC は、以下を除いて VKC と同じ機能を備えています。

- AKC で作成されたキーボード マクロは、VKC では使用不可
- ダイレクト ポート アクセス設定(「URL を経由したダイレクト ポート アクセスの有効化」を参照)
- AKC サーバ証明書検証設定(「AKC を使用するための前提条件 『80p. の"AKC を使用するため前提条件"参照 』」を参照)
- AKC ではお気に入りが自動的にロードされ、VKC ではロードされない。「お気に入りの管理 『89p.』」を参照

各機能の使用法の詳細については、「*Virtual KVM Client (VKC) ヘルプ* 『*26*p. 』」を参照してください。

ターゲット サーバへの接続

KX III リモート コンソールにログインしたら、Virtual KVM Client (VKC) または Active KVM Client (AKC) 経由でターゲット サーバにアクセスし ます。

利用可能なターゲット サーバまたはデュアル モニタ ターゲット サーバに接続するには、以下の手順に従います。

 [Port Access] (ポート アクセス) ページで、接続するターゲット サー バのポート名をクリックします。[Port Action] (ポート アクション) メニューが開きます。



2. [接続] をクリックします。

Home > Ports			
Port Acces	55		1
Click on th 0 / 4 Remo	ne individual p te KVM chann	ort name to sec els currently ir	e alle 1 us
View By Po	rt View By Grou	View By Search	Set S
▲ No.	Name		1
	Connert get		
2	Dominion-KX2_	Port2	
1	-	And against a	

使用可能な他のメニュー オプションの詳細については、「*[Port Action]* (ポート アクション)メニュー 『20p. 』」を参照してください。

AKC でサポートされている Microsoft .Net Framework

Active KVM Client (AKC) には、Windows .NET[®] バージョン 3.5、4.0、または 4.5 が必要です。AKC は、インストールされている 3.5 および 4.0 の両方と連動します。

AKC でサポートされているオペレーティング システム

Internet Explorer[®] から起動すると、Active KVM Client (AKC) から KX III を介してターゲット サーバにアクセスできます。

AKC は、以下のプラットフォームに対応しています。

- Windows XP® オペレーティング システム
- Windows Vista® (64 ビット版も可)
- Windows 7® (64 ビット版も可)
- Windows 8® (64 ビット版も可)

注:WINDOWS PC FIPS を有効にし、かつ、AKC とスマート カードを使 用してターゲットにアクセスする場合、Windows 7 を使用する必要があ ります。

AKC を実行するには .NET が必要になるため、.NET がインストールさ れていない場合、またはサポートされていないバージョンの .NET がイ ンストールされている場合は、.NET バージョンの確認を指示するメッセ ージが表示されます。

注:Windows XP オペレーティング システムのユーザは、AKC を起動す る前に、基盤となる .NET 3.5 または 4.0 がインストールされているか 確認することをお勧めします。.NET バージョンが機能していることを確 認できない場合は、.NET バージョンの確認を求めるデフォルトのメッセ ージが表示される代わりにファイルをダ ウンロードするよう求められ る場合があります。



AKC でサポートされているブラウザ

- Internet Explorer[®] 8 (以降)
 - Internet Explorer 8 (以降) ではないブラウザから AKC を開こうとす ると、ブラウザの確認と Internet Explorer への切り替えを指示するエ ラー メッセージが表示されます。

AKC を使用するため前提条件

Cookie を許可

アクセスするデバイスの IP アドレスからの Cookie が現在ブロックされていないことを確認します。

"信頼済みサイト ゾーン" に KX Ⅲ IP アドレスを追加

Windows Vista[®]、Windows[®]7、および Windows 2008 Server のユーザは、 アクセス対象のデバイスの IP アドレスが、ブラウザの信頼済みサイト ゾーンに追加されていることを確認する必要があります。

"保護モード" を無効化

Windows Vista[®]、Windows[®]7、および Windows 2008 Server のユーザは、 KX III にアクセスするときに、保護モードが有効になっていないことを 確認する必要があります。

AKC ダウンロード サーバ証明書の検証を有効にする

デバイス (または CC-SG) の管理者が [Enable AKC Download Server Certificate Validation] (AKC ダウンロード サーバ証明書の検証を有効に する) オプションを有効にした場合は、以下の手順に従います。

- 管理者は、有効な証明書をデバイスにアップロードするか、自己署名 証明書をデバイスで生成する必要があります。証明書で有効なホスト が指定されている必要があります。
- 各ユーザは、CA 証明書(または自己署名証明書のコピー)をブラウ ザの信頼されたルート証明機関ストアに追加する必要があります。

CC-SG 管理クライアントから Active KVM Client を起動する場合は、 JRE[™] 1.7.x (以降) が必要です。



Ch 6

KX Ⅲ リモート コンソール - KX Ⅲ エンド ユーザ ヘルプ

この章の内容

概要	81
KX III へのログイン	82
ポートのスキャン - リモート コンソール	83
パスワードの変更	88
お気に入りの管理	89

概要

ネットワーク接続経由で KX III にログインする場合は、リモート コン ソールにアクセスします。最初のアクセス ページは、[Port Access] (ポー ト アクセス) ページです。

「*KX III へのログイン*『*14*_p. 』」および「*[Port Access] (ポート アクセ ス) ページ (リモート コンソール ディスプレイ)*『*17*_p. 』」を参照して ください。

🗃 Raritan.	Port Access Power Virtual Media User Management Device Set	tings Security Maintenance Diagnostics Help	
Dominion [®] ZX III			
Bonningh KA m	Home > Ports		Logou
Time & Session: December 05, 2013 14:21:27 User admin State 3 minitle Your Pr 102:168, 32:165	Port Access Click on the individual port name to see allowable ope 0 / 4 Remote KVM channels currently in use.	erations.	
Last Login: Dec 05, 2015 11:40:42	Manu Du Dant Manu Du Canun Manu Du Sasanh Sat Sasa		
Device Information:	A No. Name	Type Status	Availability
Device Name: DominionKX-sample IP Address: 192.168.61.20	1 HDMITarget	DVI/-HDMI up	idle
Firmware: 3.0.0.1.369	2 Dominion-KX2 Port2	DVI/-DVI up	idle
Network: LAN1	3 Low Cost DVM (PQ20540016)	Dual-VM up	idie
Powerin 1: on	4 Windows XP SP3	DCIM up	idie
Configured As Base	5 DP-Dominion-KX2_Port13	DVM-DP up	idle
	6 Domini	DCIM up	idle
Port States:	7 Dominion-KX2_Port7	Dusi-VM up	idie
359 Ports: up 54 Ports: down	8 pc-lx8-update	Not Available down	idle
413 Ports: idle	9 • KX884-80-234-Tier5	TierDevice up	idle
	10 kx832-60-241-tier3	TierDevice up	idle
Connected Users:	11 🔻 KX832-61-14-Tier1	TierDevice up	idie
admin (Local Console) 38 min idle	11-1 DCIMS?mulatorPort029	DCIM up	idle
admin (192.168.32.165)	11-2 DCIMSimulatorPort028	DCIM up	idle
3 min idle	11-3 DCIMSimulatorPort027	DCIM up	idle
Celles Hale	11-4 DCIMSimulatorPort039	DCIM up	idie
Favorite Devices:	> > -1/5-page		15 Rows per Page Set



Ch 6: KX III リモート コンソール - KX III エンド ユーザ ヘルプ

リモート コンソールを使用して、ターゲット サーバのアクセスおよび スキャン、お気に入りの管理、およびパスワードの変更を行います。 リモート コンソールのインタフェース要素の詳細については、「*KX III リモート コンソール インタフェース* 『*16*p. 』」を参照してください。

KX III へのログイン

Microsoft .NET[®] や Java Runtime Environment[™] がインストールされており、 ネットワーク接続機能を備えたワークステーションから KX III リモー ト コンソールにログインします。

KX III にログインして使用するには、ポップアップを許可する必要があります。

セキュリティ警告と検証メッセージ、およびそれらを抑制または除外す る手順については、「*セキュリティ警告および検証メッセージ*『9p. 』」 を参照してください。

▶ KX III にログインするには、以下の手順に従います。

- 1. サポートされている Web ブラウザを起動します。
- 2. 次のどちらかを入力します。
 - URL: http://IP-ADDRESS(Java ベースの Virtual KVM Client を使用する場合)

または

http://IP-ADDRESS/akc (Microsoft .NET ベースの Active KVM Client の場合)

IP-ADDRESS は、KX III に割り当てられた IP アドレスです。

また、HTTPS を使用するか、管理者によって割り当てられた、KX III の DNS 名 (適用可能な場合)を使用することもできます。 常に、HTTP の IP アドレスから HTTPS の IP アドレスにリダイレ クトされます。

- 3. ユーザ名とパスワードを入力して、[Login] (ログイン) をクリックし ます。
- 4. ユーザ同意書に承諾します(該当する場合)。
- 5. セキュリティ警告が表示される場合は、アクセスの承諾または許可、 あるいはその両方を行います。



ポートのスキャン・リモート コンソール

ポート スキャン機能を使用して、選択したターゲットを検索し、それを スライド ショーの一部として個々のサムネイルで表示します。

この機能により、スライド ショーの間に表示される各ターゲット サー バを個々に表示できるので、一度に最大 32 のターゲットを監視できま す。

ターゲットに接続するか、必要に応じて特定のターゲットをフォーカス します。

スキャン対象は、標準ターゲット、ブレード サーバ、カスケード接続 Dominion デバイス、KVM スイッチの各ポートです。

デュアル ビデオ ポート グループでは、プライマリ ポートはポート ス キャンの対象になりますが、リモート クライアントから接続する場合、 セカンダリ ポートは対象になりません。両方のポートをローカル ポー トからスキャンの対象にすることができます。

注:ポート スキャン機能は、リモート コンソールとローカル コンソール で使用できますが、機能はわずかに異なっています。



ポートのスキャンのスライド ショー・リモート コンソール

スキャンを開始すると、[Port Scan] (ポート スキャン) ウィンドウが開き ます。

ターゲットが見つかるたびに、スライド ショーのサムネイルとして表示 されます。

スライド ショーでは、デフォルト間隔の 10 秒ごとに、またはユーザが 指定した間隔に従ってターゲットのサムネイルがスクロールされます。

スキャンによってターゲットがスクロールされるときは、スライド ショ ーでフォーカスされているターゲットがページの中央に表示されます。

ターゲット名はサムネイルの下とウィンドウ下部のタスクバーに表示さ れます。

ターゲットがビジーである場合は、ターゲット サーバへのアクセス ペ ージの代わりに空白の画面が表示されます。

ptions		
Recycle Bin		
	Control Panel All Control Panel Items Display Screen Resolution ++ Search Control Panel Display Control Panel	
ADX Test	Change the appearance of your display	1 - Dominion-HX2
	Detect	
	Recolution 1440 = 900	2 - KX3 Local Port
CONTRACTOR VIEW (CONTRACTOR)	Orientation Landscape	
	Advanced settings	
	Make text and other items larger or smaller	
propanilas	What display settings should [choose]	💭 4 - T1-DK(2-416-
	OK Cancel Apply	
		5 - Dominion-KX2
(3) [1] ()		* 👍 📴 📴 9:53 AM



Ch 6: KX III リモート コンソール - KX III エンド ユーザ ヘルプ

Virtual KVM Client (VKC) または Active KVM Client (AKC) からリモート コンソールのスキャン設定を指定します。

「*VKC および AKC でのポート スキャンの設定* 『52p. 』」を参照し てください。

注:ローカル コンソールのスキャン ポート設定は、[Local Port Settings] (ローカル ポート設定) ページで指定されます。「ポートのスキャン - ロ ーカル コンソール 『97p.』」を参照してください。

ポート スキャン中のターゲット ステータス インジケータ - リモート コンソール

各ターゲットのステータスは、緑色、黄色、および赤色のライトで示さ れ、ターゲット サムネイルの下に表示されます。

ターゲットがフォーカスされている場合、ステータスを示すインジケー タは、タスク バーにも表示されます。

各ターゲットのライトは、フォーカスされるまではグレーで表示されま す。

ステータス ライトは、以下を示します。

- 緑 ターゲットはアップ/アイドルまたはアップ/接続済み
- 黄色 ターゲットはダウンしているが接続済み
- 赤 ターゲットはダウン/アイドル、ビジー、またはアクセス不可能

	Control Date() & All Control Date() Terrers & Directory & Street Resolution		-
,	Change the appearance of your display		ion-KX.
	Detect Identify	100 g.	-1
100ME 149-1020			
	Display: 1. Raritan CIM T Resolution: 1440 × 900 T	2 - KX3 Lo	cal Por
Charlens V. WICKI Ter Similari	Orientation: Landscape •		
	Make text and other items larger or smaller		町
propenter.	What display settings should I choose? OK Cancel Apply	() 4-T1-DI0	x2-416-



🛃 Port Scan - Virtual KVM Client

- 0 ×

ポート スキャン オプションの使用

ターゲットのスキャン中は、次のオプションを使用できます。

これらのすべてのオプションは、[Expand] (展開)/[Collapse] (折りたたみ) アイコンを除き、[Port Scan] (ポート スキャン) ビューアの左上の [Options] (オプション) メニューから選択します。

ウィンドウを閉じると、オプションはデフォルトに戻ります。

注:Virtual KVM Client (VKC) または Active KVM Client (AKC) から表示間 隔などのスキャン設定を指定します。「VKC および AKC でのポート ス キャンの設定 『52p. 』」を参照してください。

- ▶ サムネイルの表示または非表示
- ウィンドウの左上の [Expand] (展開)/[Collapse] (折りたたみ) アイコ
 を使用して、サムネイルを表示または非表示にします。デフォ

ルト表示では展開されています。

- サムネイル スライド ショーの一時停止
- [Options] (オプション)の [Pause] (一時停止)を選択すると、あるタ ーゲットから次のターゲットへのサムネイルのローテーションが一 時停止します。サムネイルのローテーションはデフォルト設定です。
- ▶ サムネイル スライド ショーの再開
- [Options] (オプション)の [Resume] (再開)を選択すると、サムネイ ルのローテーションが再開されます。
- [Port Scan] (ポート スキャン) ビューアのサムネイルのサイズ変更
- サムネイルを拡大するには、[Options](オプション)、[Size](サイズ)、 [360x240]の順に選択します。
- サムネイルを最小化するには、[Options] (オプション)、[Size] (サイズ)、 [160x120] の順に選択します。これはデフォルトのサムネイル サイ ズです。
- [Port Scan] (ポート スキャン) ビューアの表示方向の変更
- [Options] (オプション)、[Split Orientation] (分割方向)、[Horizontal] (横) の順に選択すると、サムネイルが [Port Scan] (ポート スキャン) ビュ ーアの下部に沿って表示されます。
- [Options] (オプション)、[Split Orientation] (分割方向)、[Vertical] (縦)の 順に選択すると、サムネイルが [Port Scan] (ポート スキャン) ビュー アの右側に沿って表示されます。これがデフォルト表示です。



Ch 6: KX III リモート コンソール - KX III エンド ユーザ ヘルプ

Scan Options Pause Resume Thumbnail Size + Split Orientation + Control Panel + All Control Panel Items + Display + Screen Resolution	
Pause La Resume Thumbnail Size > Split Orientation > Control Panel > All Control Panel Items > Display > Screen Resolution > 1 to Specific Control Panel	
Resume Thumbnail Size Split Orientation Control Panel All Control Panel Items Streen Resolution	
Thumbnail Size Split Orientation Control Panel + All Control Panel Items + Display + Screen Resolution	1808 / 110-
Split Orientation >	105
Control Panel + All Control Panel Hems + Display + Screen Resolution	÷ 🔍 💷 🖉
	-
Change the appearance of your display	Iominion-KX2_Port5
Unity Sector Sec	7
Detect	
international and internation	
Diplay: 1.Ratitan CPM -	and a set of set
	AS LOCAL PORT
Resolution: 1440 × 900 •	

ターゲットのスキャン

- ▶ ターゲットをスキャンするには、以下の手順に従います。
- 1. [Port Access] (ポート アクセス) ページの [Set Scan] (スキャン設定) タブをクリックします。
- 各ターゲットの横にあるチェックボックスをオンにしてスキャン対象に含めるターゲットを個別に選択するか、ターゲット列の上部にあるチェックボックスをオンにしてすべてのターゲットを選択します。
- アップ ステータスのターゲットだけをスキャンに含める場合は、[Up Only] (アップのみ) チェックボックスをオンのままにします。アップ かダウンかに関係なくすべてのターゲットを含める場合は、このチェ ックボックスをオフにします。
- [Scan] (スキャン) をクリックしてスキャンを開始します。
 スキャンされたターゲットは、ページのスライド ショー ビューに表示されます。

t Ac	cess					
K OF	the indiv	ridual port name to see allowable opera I channels currently in use	ations.			
		in an and a second s				
w By	Port View	By Group View By Search Set Scan			Scan	Searc
	≜ No.	Name	Туре	Status	👿 Up Only	Availability
V	2	Low Cost DVM [PQ20540016]	DusFVM	up		idle
V	3	DP-Dominion-KX2_Port13	DVM-DP	up		idle
7	4	WinXP-C2	Dual-VM	up		idle
v	5	Dominion-KX2_PortS	VM	up		idie
V	8	Dominion-KX2_Port8	Dual-VM	up		idie
						50 Rows per Page

 [Options] (オプション)の [Pause] (一時停止) をクリックすると、ス ライド ショーが一時停止してターゲット間での移動が停止します。 [Options] (オプション)の [Resume] (再開) をクリックするとスライ ド ショーが再開されます。



Ch 6: KX III リモート コンソール - KX III エンド ユーザ ヘルプ

- 6. ターゲットのサムネイルをクリックすると、それが次にスキャンされ ます。
- 7. サムネイルをダブルクリックすると、そのターゲットに接続されます。

パスワードの変更

- ▶ KXIII パスワードを変更するには、以下の手順に従います。
- [User Management] (ユーザ管理)の [Change Password] (パスワードの 変更)を選択します。[Change Password] (パスワードの変更) ページ が開きます。
- 2. [Old Password] (旧パスワード) フィールドに現在のパスワードを入 力します。
- 3. [New Password] (新しいパスワード) フィールドに新しいパスワード を入力します。[Confirm New Password] (新しいパスワードの確認) フ ィールドにパスワードを再入力します。パスワードには、最大 64 文 字の英数字と特殊文字を使用できます。
- 4. [OK] をクリックします。
- 5. パスワードが正常に変更された旨のメッセージが表示されます。 [OK] をクリックします。

注:強力なパスワードが使用されている場合は、パスワードに必要な形式 に関する情報がこのページに表示されます。パスワードと強力なパスワ ードについての詳細は、オンライン ヘルプの「Strong Passwords (強力な パスワード)」を参照してください。

Home > User Management > Change Password
Change Password
Old Password
New Password
Confirm New Password
OK Cancel



お気に入りの管理

お気に入り機能を利用すると、よく使用するデバイスにすばやくアクセ スできます。

[Port Access] (ポート アクセス) ページの左下隅 (サイドバー) にある [Favorite Devices] (お気に入りデバイス) セクションでは、以下の操作が 可能です。

- お気に入りデバイスのリストを作成および管理する。
- よく使用するデバイスにすばやくアクセスする。
- 名前、IP アドレス、または DNS ホスト名別にお気に入りのリスト を表示する。
- サブネット上の KX III デバイスを検出する (ログインの前および後)。
- 検出された KX III デバイスを、接続されている Dominion デバイス から取得する(ログインの後)。



お気に入りの有効化

• KX III インタフェースの左パネルの [Favorite Devices] (お気に入り デバイス) セクションで [Enable] (有効にする) をクリックします。

🕃 Raritan.	Dest Server Dev	
		ver virtual media oser management bev
Dominion® KX III	Home > Ports	ter CJ TENEDITIONCLUX, AND TENED
Time & Session: January 01, 2000 22:52:18 User: admin State: active Your IP: 192.168.32.179 Last Legih: Jan 01, 2000 19:51:09	Port Access Click on the 0 / 4 Remote	Individual port name to see allowab KVM channels currently in use.
Device Information:	View By Port	View By Group View By Search Set Scan
IP Address: 192.168.61.20	1	Windows7-150FT-cable
Firmware: 3.0.0.1.444	2	Low Cost DVM [PQ20540016]
Network: LAN1	3	DP-Dominion-KX2_Port13
Powerin1: on	4	WinXP-C2
Powerin2: 011	5	Dominion-KX2_Port5
Port States	6	Dominion_KX3_Port6
5 Ports: up	7	Dominion_KX3_Port7
27 Ports: down	8	Dominion-KX2_Port8
SZ POTRA IGIB	9	Dominion_KX3_Port9
Connected lisers:	10	Dominion_KX3_Port10
admin (192.168.32.179)	11	Dominion_KX3_Port11
active	12	Dominion_KX3_Port12
	13	Dominion_KX3_Port13
Online Help	14	Dominion_KX3_Port14
	15	Dominion_KX3_Port15
avorite Devices:	16	Dominion_KX3_Port16
Enable	17	Dominion KY3 Part17



お気に入りのアクセスおよび表示

- お気に入りの KX III デバイスにアクセスするには、以下の手順に従います。
- ([Favorite Devices] (お気に入りデバイス)の下に表示されている)デバイス名をクリックします。新しいブラウザが開き、デバイスが表示されます。
- ▶ お気に入りを名前順に表示するには、以下の手順に従います。
- [Display by Name] (名前順) をクリックします。
- お気に入りを IP アドレス順に表示するには、以下の手順に従います。
- [Display by IP] (IP 順) をクリックします。
- ▶ お気に入りをホスト名順に表示するには、以下の手順に従います。
- [Display by Host Name] (ホスト名順) をクリックします。

NewJersey_	es: RemoteOffice	
Sydney_Ren	loteOffice	
Manage	Display By Name	
Display By	Host Name Display By IP	
		4



Ch 7

KX Ⅲ ローカル コンソール - KX Ⅲ エンド ユーザ ヘルプ

この章の内容

概要	92
ターゲット サーバにアクセスする	92
ローカル コンソールの画面解像度	93
ユーザが同時接続可能	93
ホット キーと接続キー	94
ポートのスキャン - ローカル コンソール	97
ローカル コンソールのスマート カード アクセス	102
ローカル コンソールの USB プロファイル オプション	103
KX III ローカル コンソール ファクトリ リセット	104
デバイスのリセット ボタンによる KX III のリセット	105

概要

ローカル コンソール インタフェースでは、ローカルに KX III にアクセ スできます。

このセクションには、ローカル コンソールでエンド ユーザが実行する タスクに関するヘルプが記載されています。

ターゲット サーバにアクセスする

- 🕨 ターゲット サーバにアクセスするには
- アクセスしたいターゲット サーバのポート名をクリックします。ポ ート アクション メニューが開きます。
- 2. ポート アクション メニューの [Connect] (接続) をクリックします。 そのターゲット サーバの画面に切り替わります。



ローカル コンソールの画面解像度

KX III ローカル コンソールにモニタを接続すると、KX III でモニタの本 来の解像度が検出されます。通常、検出されるのは、モニタでサポート されている最大の解像度です。

モニタの本来の解像度がローカル コンソールでサポートされている場合、KX III では、その解像度が使用されます。

本来の解像度がローカル コンソールでサポートされておらず、それ以外 の解像度がモニタおよびローカル コンソールでサポートされていない 場合、KX III では、ローカル コンソールに最後に接続したモニタの解像 度が使用されます。

たとえば、KX III ローカル コンソールに 1600 x 1200、60Hz の解像度に 設定されたモニタを接続するとします。この解像度は、ローカル コンソ ールでサポートされているので、KX III で使用されます。

次にローカル コンソールに接続するモニタが、サポートされている解像 度に設定されていない場合、KX III では、1024 x 768、60Hz の解像度が 使用されます。

ローカル コンソールのサポートされている画面解像度については、「*KX III ローカル ポートのサポートされている DVI 解像度* 『*125*_P. 』」を 参照してください。

さらに、「*ビデオ モードと解像度に関する留意事項* 『151p. 』」も確認 してください。

ユーザが同時接続可能

KX III ローカル コンソールを使用する場合、接続されている各 KVM タ ーゲット サーバへの独立したアクセス パスが設定されます。

つまり、KX III ローカル コンソールを使用している最中でも、他ユーザ がネットワーク経由で KX III に同時接続できます。また、リモート ユ ーザが KX III に接続している最中でも、KX III ローカル コンソールを 使用してラックからサーバに同時接続できます。



ホット キーと接続キー

KX III ローカル コンソールの画面は、現在アクセスしているターゲット サーバの画面に完全に置き換えられます。ターゲット サーバから切断し、 ローカル コンソールの画面に戻るには、ホット キーを使用します。

接続キーは、ターゲット サーバに接続したり、ターゲット サーバを切 り替えたりする際に使用します。

ターゲット サーバの画面が表示されているときにホットキーを使用す ることにより、KX III ローカル コンソールの画面をすばやく開くことが できます。

「ローカル コンソールからの KX III ローカル ポートの設定」を参照し てください。

KX III ローカル コンソール インタフェースへの切り替え - デフォル トのホット キー

- ターゲット サーバの画面から KX III ローカル コンソールの画面に 戻るには
- Scroll Lock キーをすばやく 2 回押します。
 ターゲット サーバの画面から KX III ローカル コンソールの画面に 切り替わります。

このキー組み合わせを変更するには、[Local Port Settings] (ローカル ポート設定) ページを使用します。オンライン ヘルプの「ローカル コンソー ルからの KX III ローカル ポートの設定」を参照してください。

接続キーの例

標準型サーバの場合

接続キーを押したと キー組み合わせの例 きのアクション

KX III ローカル コ ンソールからポート に接続する	KX III ローカル コンソールからポート 5 に接 続するには • 左 Alt キーを押す \rightarrow 5 キーを押して離す \rightarrow 左 Alt キーを離す
ポートを切り替える	ポート 5 からポート 11 に切り替えるには • 左 Alt キーを押す →1 キーを押して離す →1 キーを押して離す → 左 Alt キーを離 す
ターゲット サーバ	ポート 11 から切断し、KX III ローカル コンソ



標準型サーバの場合

接続キーを押したと きのアクション	キー組み合わせの例
から切断し、KX III ローカル コンソー	ールの画面 (ターゲット サーバに接続する時に 開いていたページ) に戻るには
ルの画面に戻る	• Scroll Lock キーをすばやく 2 回押す

ブレード シャーシの場合

接続キーを押したと
きのアクションキー組み合わせの例KX III ローカル コ
ンソールからポート
に接続するポート 5 のスロット 2 に接続するには
・ 左 Alt キーを押す \rightarrow 5 キーを押して離す
 \rightarrow 2 キーを押して離す \rightarrow 左 Alt キーを離
す

	9
ポートを切り替える	ポート 5 のスロット 2 からポート 5 のスロ ット 11 に切り替えるには • 左 Alt キーを押す \rightarrow 5 キーを押して離す \rightarrow 1 キーを押して離す \rightarrow 1 キーを押して 離す \rightarrow 左 Alt キーを離す
ターゲット サーバ から切断し、KX III ローカル コンソー ルの画面に戻る	ポート 11 のスロット 11 から切断し、KX III ローカル コンソールの画面 (ターゲット サー バに接続する時に開いていたページ) に戻るに は • Scroll Lock キーをすばやく 2 回押す



Sun サーバへのアクセス時に使用できる特別なキー組み合わせ

ローカル ポートでは、Sun Microsystems[™] サーバの特別なキーに対して、 次のキー組み合わせが機能します。これらの特別なキー組み合わせは、 Sun ターゲット サーバに接続しているときに使用できます。

Sun サーバのキー	ローカル ポートにおけるキー組み 合わせ
Again	Ctrl+ Alt +F2
Props	Ctrl+ Alt +F3
Undo	Ctrl+ Alt +F4
Stop A	Break a
Front	Ctrl+ Alt +F5
Сору	Ctrl+ Alt +F6
Open	Ctrl+ Alt +F7
Find	Ctrl+ Alt +F9
Cut	Ctrl+ Alt +F10
Paste	Ctrl+ Alt +F8
Mute	Ctrl+ Alt +F12
Compose	Ctrl+ Alt + KPAD *
Vol +	Ctrl + Alt + KPAD +
Vol -	Ctrl + Alt + KPAD -
Stop	キー組み合わせなし
電力	キー組み合わせなし



ポートのスキャン - ローカル コンソール

ポート スキャン機能を使用して、選択したターゲットを検索し、それを スライド ショーの一部として個々のサムネイルで表示します。

この機能により、スライド ショーの間に表示される各ターゲット サー バを個々に表示できるので、一度に最大 32 のターゲットを監視できま す。

ターゲットに接続するか、必要に応じて特定のターゲットをフォーカス します。

スキャン対象は、標準ターゲット、ブレード サーバ、カスケード接続 Dominion デバイス、KVM スイッチの各ポートです。

デュアル ビデオ ポート グループでは、プライマリ ポートはポート ス キャンの対象になりますが、リモート クライアントから接続する場合、 セカンダリ ポートは対象になりません。両方のポートをローカル ポー トからスキャンの対象にすることができます。

任意のターゲット サーバのサムネイルをクリックし、スキャン モード を終了してターゲットに接続するか、ローカル ポートの ConnectKey シ ーケンスを使用します。

スキャン モードを終了するには、サムネイル表示で [Stop Scan] (スキャンの停止) ボタンをクリックするか、DisconnectKey シーケンス ホット キーを使用します。

注:ポート スキャン機能は、リモート コンソールとローカル コンソール で使用できますが、機能はわずかに異なっています。「ポートのスキャ ン - リモート コンソール 『83p. 』」を参照してください。



ポートのスキャンのスライド ショー・ローカル コンソール

スキャンを開始すると、[Port Scan] (ポート スキャン) ウィンドウが開き ます。

ターゲットが見つかるたびに、スライド ショーのサムネイルとして表示 されます。

スライド ショーでは、デフォルト間隔の 10 秒ごとに、またはユーザが 指定した間隔に従ってターゲットのサムネイルがスクロールされます。

スキャンによってターゲットがスクロールされるときは、スライド ショ ーでフォーカスされているターゲットがページの中央に表示されます。

ターゲット名はサムネイルの下とウィンドウ下部のタスクバーに表示されます。

ターゲットがビジーである場合は、ターゲット サーバへのアクセス ペ ージの代わりに空白の画面が表示されます。

[Local Port Settings] (ローカル ポート設定) ページでスライド ショーの サムネイルのローテーション時間およびサムネイル フォーカス間隔を 設定します。

「*ローカル コンソール スキャンの設定* 『101p. 』」を参照してください。

注:Virtual KVM Client (VKC) または Active KVM Client (AKC) からリモー ト コンソールのスキャン設定を指定します。「VKC および AKC での ポート スキャンの設定 「52p. 」」を参照してください。

14_Slot6 #4-1: Blade_Chas	ssis_Port4_Slot1	#4-2: Blade_Chassis_Po	t4_Slot2	~
				16
scanned		connecting		
	scanned	scanned	scanned connecting	scanned connecting





Ch 7: KX III ローカル コンソール - KX III エンド ユーザ ヘルプ


ポート スキャン中のターゲット ステータス インジケータ - ローカル コンソール

ローカル コンソールのサムネイル表示では、各ターゲットがスライド ショー ビューでフォーカスされるまで、そのステータスがページのサム ネイルの下に示されます。

各ターゲットのスキャン ステータスは、次のように表示されます。

- not scanned (未スキャン)
- connecting (接続中)
- scanned (スキャン済み)
- skipped (スキップ)

Connection USB Profile Keyboard Video Mouse Tools View Virtual Media Audio SmartCard Help

	3 🕼 🖸 🔤 🌏 🕼 🗖 🥥 🕷			
	📧 Raritan.			
	KIRKALARIA A			
	Scanning			Stop
	#3-6: Blade_Chassis_Port4_Slot6	#4-1: Blade_Chassis_Port4_Slot1	#4-2: Blade_Chassis_Port4_Slot2	
				ß
		AX.		
	g v a rea			
	scanned	scanned	connecting	
	< >			



ローカル コンソール スキャンの設定

ローカル コンソールのポート スキャン オプションを設定するには、以下の手順に従います。

注:Virtual KVM Client (VKC) または Active KVM Client (AKC) からリモー ト コンソールのスキャン設定を指定します。「VKC および AKC での ポート スキャンの設定 『52p.』」を参照してください。

- ローカル コンソールのスキャン ポートを設定するには、以下の手順に従います。
- 1. ローカル コンソールで、[Device Settings] (デバイス設定)を選択しま す。
- 2. [Local Port Settings] (ローカル ポート設定) セクションで、[Local Port Scan Mode] (ローカル ポート スキャン モード)を選択します。
- 3. 必要に応じて表示間隔を変更します。
 - [Display Interval] (表示間隔) スキャン表示間隔を変更します。
 - [Interval Between Ports] (ポート間の間隔) スキャン中にまざま なポートを切り替える間隔を変更します。

ターゲットのスキャン・ローカル コンソール

ターゲットをスキャンするには、以下の手順に従います。

- 1. [Port Access] (ポート アクセス) ページの [Set Scan] (スキャン設定) タブをクリックします。
- 各ターゲットの横にあるチェックボックスをオンにしてスキャン対象に含めるターゲットを個別に選択するか、ターゲット列の上部にあるチェックボックスをオンにしてすべてのターゲットを選択します。
- アップ ステータスのターゲットだけをスキャンに含める場合は、[Up Only] (アップのみ) チェックボックスをオンのままにします。アップ かダウンかに関係なくすべてのターゲットを含める場合は、このチェ ックボックスをオフにします。
- [Scan] (スキャン) をクリックしてスキャンを開始します。
 スキャンされたターゲットは、ページのスライド ショー ビューに表示されます。



ローカル コンソールのスマート カード アクセス

ローカル コンソールでスマート カードを使用してサーバにアクセスするには、KX III に搭載されているいずれかの USB ポートを使用して USB スマート カード リーダーを KX III に接続します。

スマート カード リーダーは、KX III に接続したり KX III から取り外し たりすると、KX III によって自動検出されます。

サポートされているスマート カードおよびシステム要件の一覧につい ては、「サポートされているスマート カード リーダーとサポートされ ていないスマート カード リーダー」および「*スマート カードの最小シ ステム要件*『*131*p. 』」を参照してください。

カード リーダーおよびスマート カードをターゲット サーバにマウン トすると、サーバはそれらのリーダーやカードが直接接続されているか のように動作します。

スマート カードまたはスマート カード リーダーを取り外すと、ターゲ ット サーバの OS で設定されているカードの取り外しポリシーに従っ て、ユーザ セッションがロックされるか、またはユーザがログアウトさ れます。

KVM セッションが切断されるか、または新しいターゲットに切り替えた ために KVM セッションが終了した場合、スマート カード リーダーは ターゲット サーバから自動的にマウント解除されます。

- KX III ローカル コンソールからスマート カード リーダーをターゲットにマウントするには、以下の手順に従います。
- 1. デバイスに搭載されているいずれかの USB ポートを使用して、USB スマート カード リーダーを KX III に接続します。接続すると、ス マート カード リーダーは KX III によって検出されます。
- 2. ローカル コンソールで [Tools] (ツール) をクリックします。
- 3. [Card Reader Detected] (検出されたカード リーダー) リストからス マート カード リーダーを選択します。スマート カード リーダーを マウントしない場合は、リストから [None] (なし) を選択します。
- [OK] (OK) をクリックします。スマート カード リーダーを追加する と、操作が正常に完了したことを示すメッセージがページに表示され ます。ページの左パネルの [Card Reader] (カード リーダー) に、状 態として [Selected] (選択) または [Not Selected] (未選択) が表示さ れます。



- [Card Readers Detected] (検出されたカード リーダー) リストを更 新するには、以下の手順に従います。
- 新しいスマート カードがマウントされた場合は、[Refresh](更新)を クリックします。[Card Readers Detected](検出されたカード リーダ ー)リストが更新され、新しく追加されたスマート カード リーダー が表示されます。

Select Card Reader

Card Readers Detected

None	*
USB SmartCard Reader (Gemplus)	
	-

K Refresh Cancel

ローカル コンソールの USB プロファイル オプション

[Tools] (ツール) ページの [USB Profile Options] (USB プロファイル オプ ション) セクションで、USB プロファイルを選択できます。

プロファイルを適用可能なポートが [Port Name] (ポート名) フィールド に表示されます。ポートを選択すると、そのポートに適用可能なプロフ ァイルが [Select Profile To Use] (使用するプロファイルを選択) フィール ドに表示されます。ポートに対して選択したプロファイルは、[Profile In Use] (使用中のプロファイル) フィールドに表示されます。

▶ USB プロファイルをローカル コンソール ポートに適用するには

- 1. [Port Name] (ポート名) フィールドで、USB プロファイルを適用する ポートを選択します。
- 2. [Select Profile To Use] (使用するプロファイルを選択) フィールドで、 そのポートに適用するプロファイルを選択します。



Ch 7: KX III ローカル コンソール - KX III エンド ユーザ ヘルプ

3. [OK] (OK) をクリックします。その USB プロファイルがローカル ポートに適用され、また、[Profile In Use] (使用中のプロファイル) フ ィールドに表示されます。

No Port Selected	-	Generic	
Ubuntu-Server		Linux	
	*	Mac OS-X (10.4.9 and later) HP Proliant DL360/DL380 G4 (Windows 2003 Server Profile In Use	*
	ſ	Linux	

KX III ローカル コンソール ファクトリ リセット

注:出荷時設定にリセットする前に、監査ログを保存しておくことを推奨 します。

出荷時設定にリセットされると、監査ログが削除されます。また、リセット イベントは監査ログに記録されません。監査ログの保存手順については、「**監査ログ**」を参照してください。

▶ 出荷時設定にリセットするには

- [Maintenance] (保守) メニューの [Factory Reset] (出荷時設定にリセット) をクリックします。[Factory Reset] (出荷時設定にリセット) ページが開きます。
- 2. リセット モードを選択します。選択できるオプションは次のとおり です。
 - [Full Factory Reset] (完全リセット): すべての設定値を削除し、工 場出荷時のデフォルト値にリセットします。KX III が CC-SG の 管理下にある場合は、CC-SG との関連付けが解除されます。こ のリセット モードではすべての設定値がリセットされるので、 リセットしてもよいかどうかを確認するためのダイアログ ボッ クスが開きます。



Ch 7: KX III ローカル コンソール - KX III エンド ユーザ ヘルプ

- [Network Parameter Reset] (ネットワーク パラメータ値をリセット): デバイスのネットワーク パラメータ値を出荷時設定にリセットします。パラメータ値を表示するには、[Device Settings] (デバイス設定)の [Network Settings] (ネットワーク設定) をクリックします。
- 3. [Reset] (リセット) をクリックして続行します。すべてのネットワー ク設定値がリセットされるので、リセットしてもよいかどうかを確認 するためのダイアログ ボックスが開きます。
- 4. [OK] をクリックして続行します。リセットが完了すると、KX III が 自動再起動します。

デバイスのリセット ボタンによる KX III のリセット

デバイスの背面パネルにリセット ボタンがあります。誤ってリセットされることがないように、ボタンはパネルに埋め込まれています(このボタンを使用するには、先端が尖った道具が必要です)。

リセット ボタンを押したときに実行される処理については、[Encryption & Share](暗号化および共有) ページで定義します。「暗号化および共有」 を参照してください。参照してください。

注:出荷時設定にリセットする前に、監査ログを保存しておくことを推奨 します。

出荷時設定にリセットされると、監査ログが削除されます。また、リセット イベントは監査ログに記録されません。監査ログの保存手順については、「**監査ログ**」を参照してください。

▶ デバイスをリセットするには、以下の手順に従います。

- 1. KX III の電源を切ります。
- 2. 先端の尖った道具を使用してリセット ボタンを押し続けます。
- 3. リセット ボタンを押したまま、KX III の電源を入れ直します。
- 4. リセット ボタンを 10 秒間押したままにします。





Ch 7: KX III ローカル コンソール - KX III エンド ユーザ ヘルプ



Ap A

KX III と **Cat5 Reach DVI** の接続 - 拡張ローカル ポート機能の提供

この章の内容

概要				07
Cat5 Re	eac	h DVI の概要		.07
KX III	と	Cat5 Reach DVI	の接続1	.08

概要

拡張ローカル ポートは、KX III を収容しているラックを越えて、たとえ ば別の KVM スイッチまでローカル ポートの接続距離を延長します。
接続距離を延長するには、リモート コンソールまたは他のデバイスに接 続されている Raritan Cat5 Reach DVI トランスミッタやレシーバと連動 するように KX III を設定します。
Cat5 Reach DVI に接続すると、KX III は、最大 152 m (500 フィート) 離 すことができます。
Ethernet スイッチをデイジーチェーン接続して KX III を Cat5 Reach DVI に接続すると、KX III の接続距離を 914 m (3000 フィート) まで延 長できます。

Cat5 Reach DVI の概要

Cat5 Reach DVI の詳細については、*Raritan サポート ページ http://www.raritan.com/support* で利用可能な Cat5 Reach DVI オンライン ヘルプを参照してください。

Cat5 Reach DVI に関する追加情報や購入に関する情報については、 *Raritan にお問い合わせください* 『*http://www.raritan.com/contact-us/*参照』。



KX III と Cat5 Reach DVI の接続

注:図中の画像は、KX III を特定するものではありませんが、接続は正確 です。

このセクションでは、KVM スイッチを使用する 3 つのシナリオを説明 します。

- KVM スイッチとそのローカル コンソールの間に Cat5 Reach DVI を接続します。
- 2 つの KVM スイッチの間に Cat5 Reach DVI を接続します。
- コンピュータ/サーバと KVM スイッチの間に Cat5 Reach DVI を接続します。

接続する前にすべてのデバイスの電源をオフにします。

ローカル コンソールおよびリモート コンソールのセットアップの詳細 については、Cat5 Reach DVI ヘルプの「Connecting a Keyboard/Mouse/Video Source (キーボード/マウス/ビデオ ソースの接 続)」を参照してください。

- KX III と Cat5 Reach DVI を接続するには、以下の手順に従います。
- セットアップがまだの場合は、ローカル コンソールおよびリモート コンソールを、それぞれ Cat5 Reach DVI トランスミッタおよびレシ ーバと共にセットアップします。
 詳細については、Cat5 Reach DVI ヘルプの「Basic Installation (基本イ ンストール)」を参照してください。
- 2. Cat5e/6 ケーブルを使用してトランスミッタおよびレシーバを接続 します。
- 3. トランスミッタおよびレシーバをそれぞれ適切な電源に接続します。
- 4. KVM スイッチのローカル コンソール ポートをトランスミッタに 接続します。
 - a. Raritan が提供する DVI ケーブルの片側をトランスミッタの DVI-I IN ポートに接続し、反対側を KVM スイッチのビデオ ポ ートに接続します。
 - b. Raritan が提供する USB ケーブルの USB-B コネクタをトラン スミッタの USB-B ポートに接続し、反対側を KVM スイッチの ローカル USB-A ポートに接続します。



Ap A: KX III と Cat5 Reach DVI の接続 - 拡張ローカル ポート機能の提供



5. KVM スイッチの電源をオンにします。

ヒント: ローカルまたはリモート コンソールには、キーボード、マウス、 およびモニタのセットではなく、KVM ドロワーを装備できます。下の図 を参照してください。



- 2 つのカスケード接続 KVM スイッチ間の距離を延ばすには、以下の手順に従います。
- 1. レシーバを KVM スイッチに接続して、リモート コンソールをセッ トアップします。
 - a. USB CIM をレシーバに接続します。
 - b. この USB CIM を Cat5 ケーブルで KVM スイッチの任意のチャネル ポートに接続します。
- 2. Cat5e/6 ケーブルを使用してトランスミッタおよびレシーバを接続 します。
- 3. トランスミッタおよびレシーバをそれぞれ適切な電源に接続します。
- 4. KVM スイッチをトランスミッタに接続します。



Ap A: KX III と Cat5 Reach DVI の接続 - 拡張ローカル ポート機能の提供

KVM		KVM	
		ੑੑਸ਼ੑੑੑੑੑ <u>ੑ</u> ੑੑਸ਼ੑੑੑੑੑ <u>ੑ</u> ੑੑੑੑੑ	
	○ O D Eter Pus Las	en and and and and and and and and and an	

5. 両方の KVM スイッチの電源をオンにします。

コンピュータと KVM スイッチの間の距離を延ばすには、以下の手順に従います。

- オプションのローカルコンソールとトランスミッタをセットアップ します。
- 2. レシーバを KVM スイッチに接続して、リモート コンソールをセッ トアップします。
- 3. Cat5e/6 ケーブルを使用してトランスミッタおよびレシーバを接続 します。
- 4. トランスミッタおよびレシーバをそれぞれ適切な電源に接続します。
- 5. コンピュータをトランスミッタに接続します。
- 6. コンピュータの電源をオンにします。





Ap B KX III から Paragon II へのアクセス

この章の内容

概要	111
サポートされている Paragon II CIMS および設定	112
KX III への Paragon II の接続	117

概要

CC-SG から Paragon II にアクセスできるように、Paragon II システムを CC-SG で管理されている KX III デバイスに接続します。

この図は、KX III の統合構成を示しています。

注:画像は、例にすぎず、お使いのデバイスと異なる場合があります。





Ap B: KX III から Paragon II へのアクセス

KX III または CC-SG から Paragon II システムにアクセスすると (KX III が CC-SG の管理下にある場合)、Paragon II OSUI ログイン画面が表示されます。

この統合では、現在の Paragon II ファームウェアで実装されている OSUI 機能または現在の KX III ファームウェアで実装されている KX III 機能 (仮想メディア機能を除く)を実行できます。

KX III を介して Paragon II OSUI にアクセスする場合は、手動でマウスを 同期しないでください。OSUI 画面ではマウスは不要であり、マウスを同 期すると、キーボードの応答が数秒遅れます。

詳細については、「**サポートされている Paragon II CIMS および設定** 『112p. 』」を参照してください。

サポートされている Paragon II CIMS および設定

KX III では P2CIM-APS2DUAL CIM および P2CIM-AUSBDUAL CIM が サポートされています。これらの CIM を使用した場合、RJ45 で 2 台の 異なる KVM スイッチに接続できます。

これらの CIM がサポートされているので、KVM スイッチのいずれかに 障害が発生した場合に備えて、ターゲットにアクセスするための 2 つ目 の経路を確保できます。

Paragon CIM	サポートされるもの	サポートされないもの
P2CIM-APS2DUAL	 IBM® PS/2 型のキー ボード ポートとマウスポートを備えたサ ーバ 自動スキュー補正 (CIM が Paragon II に接続されているが、 KX III に接続されて いない場合) インテリジェント マ ウス モード 標準マウス モード 	 仮想メディア スマート カード ずれないマウス モード ブレード シャーシとの併用 KVM のカスケード接続構成



Ap B: KX III から Paragon II へのアクセス

Paragon CIM	サポートされるもの	サポートされないもの
P2CIM-AUSBDUAL	 USB 型または Sun[™] USB 型のキーボード ポートとマウス ポー トを備えたサーバ 自動スキュー補正 (CIM が Paragon II に接続されているが、 KX III に接続されて いない場合) インテリジェント マ ウス モード 標準マウス モード 	 仮想メディア スマート カード ずれないマウス モード ブレード シャーシとの併用 KVM のカスケード接続構成



KXIII - KXIII 構成の Paragon CIM に関するガイドライン

KX III - KX III 構成で Paragon CIM を使用する場合は、次に示すシステム構成ガイドラインに従ってください。

同時アクセス

両方の KX III KVM スイッチで、ターゲットへの同時アクセスに対して 同じポリシーを設定する必要があります。つまり、どちらも [PC-Share] (PC 共有)にするか、どちらも [Private] (プライベート)に設定します。 ターゲットへのプライベート アクセスが必要な場合は、どちらの KVM スイッチもそれに応じて構成する必要があります。

[Security] (セキュリティ)、[Security Settings] (セキュリティ設定)、
 [Encryption & Share] (暗号化および共有)を選択し、[PC Share Mode]
 (PC 共有モード)を [Private] (プライベート) に設定します。

これにより、すべてのユーザ グループおよびすべてのターゲットにおい て、ターゲットへの同時アクセスはできなくなります。

KX III では、ターゲットへの同時アクセスをより高い粒度で、ユーザ グ ループ単位で制御できます。これは、ユーザ グループの PC 共有権限を 設定することで行われます。ただし、これが適用されるのは KX III の範 囲内のみです。P2CIM-APS2DUAL または P2CIM-AUSBDUAL を KX III と組み合わせて使用する際にプライバシーを保証する必要がある場合、 ユーザ グループに対する PC 共有権限を使用しないでください。

CIM 名の更新

P2CIM-APS2 および P2CIM-AUSB の名前は CIM のメモリに保持され ています。メモリ上には、Paragon CIM の名前 (最大 12 文字)を保持す るための領域と、KX III の名前 (最大 32 文字)を保持するための領域の、 2 つの領域があります。

Paragon CIM を KX III に初めて接続したとき、CIM の名前がメモリから 取得され、KX III によって使用される CIM のメモリ領域に書き込まれま す。続いて、KX III から、KX III によって使用されるメモリ領域に対し て、CIM 名の照会または更新が行われます。KX III から、Paragon II に よって使用されるメモリ領域に対して更新が行われることはありません。

一方の KX III によって CIM 名が更新されると、もう一方の KX III がそ のターゲットへの接続を試みるときに、更新後の CIM 名が検出および取 得されます。そのときまで、この CIM 名がもう一方の KX III 上で更新 されることはありません。

ポートのステータスと可用性

ポートのステータスは、KX III の [Port Access] (ポート アクセス) ペー ジに [Up] (稼動) または [Down] (非稼動) として表示されます。このステ ータスは最新の情報に更新され、CIM の電源が入っていて KX III のポー トに接続されているかどうかが示されます。



ポートの可用性は、KX III の [Port Access] (ポート アクセス) ページに [Idle] (アイドル)、[Busy] (ビジー)、または [Connected] (接続) として表示 されます。この可用性情報は、同じ KX III から起動されたターゲットの 稼動状況を反映するように更新されます。

もう一方の KX III からそのターゲットに接続している場合は、この KX III から接続が試みられたときに可用性が検査されます。KX III に対して 設定されている PC 共有ポリシーに基づいて、アクセスが拒否または許 可されます。そのときまで、この可用性情報がもう一方の KX III 上で更 新されることはありません。

ターゲットがビジーであるためにアクセスが拒否された場合、通知が表示されます。

CC-SG との連係動作

CC-SG から起動される処理は、管理対象 KX III から通知されるステー タス、可用性情報、および CIM 名に基づいて決まります。ターゲットが 2 台の管理対象 KX III に接続されており、これらの KX III が CC-SG に追加されている場合、ノードが 2 つ作成されます。各ノードには固有 の oob-kvm インタフェースが関連付けられます。各 KX III の oob-kvm インタフェースで、単一のノードを設定することもできます。

KX III がプライベート モードに設定されている場合、2 つ目の接続が試 みられると、"接続できず、アクセスが拒否された"という内容のメッセ ージがユーザに表示されます。

CC-SG の [Port Profile] (ポート プロファイル) ペインでポート名を変更 すると、変更後の名前が管理対象 KX III にプッシュ送信されます。もう 一方の KX III の対応するポート名は、そのもう一方の oob-kvm インタ フェース経由でターゲットへの接続が試みられるまで、CC-SG 内で更新 されません。

KX III - Paragon II 構成に関するガイドライン

P2CIM-APS2DUAL または P2CIM-AUSBDUAL を使用して KX III と Paragon II を接続できます。

同時アクセス

Peregon II の動 エードの説明

KX III と Paragon II の両方で、ターゲットへの同時アクセスに関して同 じポリシーを設定してください。

##_ L

作モード	モードの範疇	9 4 - F
プライベート	特定のチャネル ポート に接続されているサーバ などのデバイスに、同時 に 1 人のユーザだけが 排他アクセスできます。	サポートされています。 Paragon II と KX III の両方 を [Private] (プライベート) に設定する必要があります。 プライベート設定は、ユーザ グループごとではなく KX



Ap B: KX III から Paragon II へのアクセス

Paragon II の動 作モード	モードの説明	サポート
		 III に対して適用されます。 Paragon II では、赤は "ビジ ー"、緑は "使用可能" を意 味します。
PC 共有	特定のチャネル ポート に接続されているサーバ などのデバイスを、複数 のユーザが選択して制御 することができます。た だし、キーボードとマウ スを制御できるユーザは 同時に 1 人だけです。	サポートされています。 ただし、Paragon II で設定さ れる PC 共有アイドル タイ ムアウトはサポートされて いません。両方のユーザが、 キーボードとマウスを同時 に制御できます。 Paragon II では、緑は"使用 可能"を意味します。このこ とは、別のユーザが既にター ゲットにアクセスしている 場合にも当てはまります。
パブリック表示	ー方のユーザが、特定の チャネルポートに接続 されているサーバなどの デバイスにアクセスして いる間、もう一方のユー ザは、そのチャネルポー トをからることがでオードと マウスにデオせきまっ。 ただし、制御セスしたユー ザが切断するか、また取 り外すと、この状態が解 消されます。	サポートされていません。 Paragon II と KX III を CIM で接続している場合、このモ ードは使用できません。 Paragon II では、黄色はパブ リック表示モードを意味し ます。



CIM 名の更新

- Paragon II から更新された CIM 名は、Paragon の命名規則に対応する CIM メモリ領域に保持され、この領域から取得されます。
- KX III から更新された CIM 名は、KX III の命名規則に対応する CIM メモリ領域に保持され、この領域から取得されます。
- CIM 名が更新されても、Paragon II と KX III の間で互いに反映され ることはありません。

Paragon II と KX III の間でサポートされている接続距離

KX III を Paragon II システムのフロント エンドとして使用する場合は、 優れたビデオ品質が得られるようにケーブル長(距離)を制限する必要 があります。

Paragon II ユーザ ステーションからターゲット サーバまでのサポート されているケーブル長は、152 m (500 フィート) です。さらに距離を延 ばすと、満足できるかどうかわからないビデオ パフォーマンスになるこ とがあります。

KX III から Paragon II ユーザ ステーションまでのサポートされている ケーブル長は、最大 45 m (150 フィート) です。

KX III への Paragon II の接続

- Paragon II システムを KX III に接続するには、以下の手順に従い ます。
- KX III に接続する Paragon II ユーザ ステーションにバージョン 4.6 (以降)のファームウェアが実装されているかどうかを確認します。 実装されていない場合は、ファームウェアをアップグレードします。 Paragon II ユーザ ステーションは、次のいずれかです。
 - P2-UST
 - P2-EUST
 - P2-EUST/C

アップグレード方法については、Paragon II ヘルプ を参照してくだ さい。

- 互換性のある DCIM-USB を Paragon II ユーザ ステーションの USB ポートおよびビデオ ポートに接続します。
 システムが 2 層または 3 層になっている場合は、Paragon II ユーザ ステーションがベース KX III デバイス (1 層目)に接続されている ことを確認します。
- 最長 45 m (150 フィート)の Cat5 UTP ケーブルで Paragon II ユー ザ ステーションを KX III に接続します。
 - ケーブルの片側を DCIM の RJ-45 ポートに接続し、反対側を KX III のチャネル ポートのいずれかに接続します。



Ap B: KX III から Paragon II へのアクセス

4. KX III または CC-SG で同じ Paragon II システムへのアクセス パ スを増やす場合は、手順 1 ~ 3 を繰り返して、さらにユーザ ステ ーションを KX III に接続します。



この章の内容

ハードウェア	119
ソフトウェア	142

ハードウェア

KX III の寸法および物理的仕様

Dominion KX Ⅲ モデル	説明	電源と発熱 量	寸法 (W x D x H)	重量	動作温度	湿度
DKX3-108	 8 サーバ ポート 1 リモー 	二重化電源 110 V/240 V、50 ~ 60 Hz 1.8 A、60 W、 52 KCAL	17.3 x 13.15 x 1.73 イン チ	8.60 lbs	$0^{\circ} \sim 45^{\circ} \mathrm{C}$	$0 \sim 85 \%$ RH
	ト ユー ザ • 1 ローカ ル ポー ト (ラッ クで使 用)		439 x 334 x 44 mm	3.9kg	32° ∼ 113° F	
DKX3-116	 16 サー 二 バ ポー 1 ト 、 	二重化電源 110 V/240 V、50 ~ 60 Hz 1.8 A、60 W、 52 KCAL	17.3 x 13.15 x 1.73 イン チ	8.60 lbs	$0^\circ \sim 45^\circ \mathrm{C}$	0 ~ 85 % RH
	 1 リモー ト ユー ザ 1 ローカ ル ポー ト (ラッ クで使 用) 		439 x 334 x 44 mm	3.9kg	32° ∼ 113° F	
DKX3-132	 32 サー 二重化電源 バポー 110 V/240 ト V、50 ~ 60 1 リモー Hz トユー 1.8 A、60 W、 ザ 52 KCAL 	17.3 x 13.15 x 1.73 イン チ	8.60 lbs	$0^\circ \sim 45^\circ \mathrm{C}$	0 ~ 85 % RH	
		439 x 334 x 44 mm	3.9kg	32° ∼ 113° F		



Ap C: 仕様

Dominion KX Ⅲ モデル	説明	電源と発熱 量	寸法 (W x D x H)	重量	動作温度	湿度
	ル ポー ト (ラッ クで使 用)					
DKX3-216	■ 16 サー バ ポー ト	二重化電源 110 V/240 V、50 ~ 60	17.3 x 13.15 x 1.73 イン チ	9.08 lbs	$0^\circ \sim 45^\circ \mathrm{C}$	$0 \sim 85 \%$ RH
	 2 リモー ト ユー ザ 1 ローカ ル ポー ト (ラッ クで使 用) 	Hz 1.8 A、60 W、 52 KCAL	439 x 334 x 44 mm	4.12kg	32° ∼ 113° F	
DKX3-232	 32 サー 二重 バポー 110 ト V、 	二重化電源 110 V/240 V、50 ~ 60	17.3 x 13.15 x 1.73 イン チ	9.08 lbs	$0^{ m o} \sim 45^{ m o} { m C}$	$0 \sim 85 \%$ RH
	 2 リモー ト ユー ザ 1 ローカ ル ポー ト (ラッ クで使 用) 	Hz 1.8 A、60 W、 52 KCAL	439 x 334 x 44 mm	4.12kg	32° ∼ 113° F	
DKX3-416	 16 サー バ ポー ト 	二重化電源 110 V/240 V、50 ~ 60	17.3 x 13.15 x 1.73 イン チ	9.08 lbs	$0^\circ \sim 45^\circ \mathrm{C}$	$0 \sim 85 \%$ RH
	 4 リモー トユー ザ 1 ローカ ルポー ト(ラッ クで使 用) 	Hz 1.8 A、60 W、 52 KCAL	439 x 334 x 44 mm	4.12kg	32° ∼ 113° F	
DKX3-432	 32 サー バ ポー 	二重化電源 110 V/240	17.3 x 13.15 x 1.73 イン	9.08 lbs	$0^\circ \sim 45^\circ \mathrm{C}$	$0 \sim 85 \%$ RH



Dominion KX III モデル	説明	電源と発熱 量	寸法 (W x D x H)	重量	動作温度	湿度
	ト 4 リモー トユー ザ 1 ローカ ルポー ト (ラッ クで使 用)	V、50 ~ 60 Hz 1.8 A、60 W、 52 KCAL	チ 439 x 334 x 44 mm	4.12kg	32° ∼ 113° F	
DKX3-464	 64 サー バ ポー 	二重化電源 110 V/240	17.3 x 13.3 x 3.5 インチ	12.39 lbs	$0^\circ \sim 45^\circ \mathrm{C}$	$0 \sim 85 \%$ RH
	ト 4 リモー ト ユー ザ 1 ローカ ル ポー ト (ラッ クで使 用)	V、50 ~ 60 Hz 1.8 A、60 W、 52 KCAL	439 x 338 x 89 mm	5.62kg	32° ∼ 113° F	
DKX3-808	 8 サーバ ポート 8 リモー 	サーバ 二重化電源 パート 110 V/240 リモー V、50 ~ 60 、ユー Hz ド 1.8 A、60 W、 ローカ 52 KCAL 、ポー 、(ラッ アで使 引)	17.3 x 13.15 x 1.73 イン チ	9.96 lbs	$0^\circ \sim 45^\circ \mathrm{C}$	$0 \sim 85 \%$ RH
	ト ユー ザ • 1 ローカ ル ポー ト (ラッ クで使 用)		439 x 334 x 44 mm	4.52kg	32° ∼ 113° F	
DKX3-832	 32 サー 二 バポー 1 ト N 8 リモー F トユー 1 ザ 5 1 ローカ ルパー ト (ラッ クで使 	二重化電源 110 V/240 V、50 ~ 60 Hz 1.8 A、60 W、 52 KCAL	17.3 x 13.15 x 1.73 イン チ	9.96 lbs	$0^\circ \sim 45^\circ \mathrm{C}$	$0 \sim 85 \%$ RH
			439 x 334 x 44 mm	4.52kg	32° ∼ 113° F	



Ap C: 仕様

Dominion KX Ⅲ モデル	説明	電源と発熱 量	寸法 (W x D x H)	重量	動作温度	湿度
	用)					
DKX3-864	 64 サー バ ポー 	二重化電源 110 V/240	17.3 x 13.3 x 3.5 インチ	12.39 lbs	$0^{\circ} \sim 45^{\circ} \mathrm{C}$	$0 \sim 85 \%$ RH
	ト 8 リモー トユー ザ • 1 ローカ ルポラッ クで使 用)	V, 50 ~ 60 Hz 1.8 A, 60 W, 52 KCAL	439 x 338 x 89 mm	5.62kg	32° ∼ 113° F	



KX Ⅲ でサポートされているターゲット サーバ画面解像度

- 640x350、70Hz
- 640x350、85Hz
- 640x400、56Hz
- 640x400、84Hz
- 640x400、85Hz
- 640x480、60Hz
- 640x480、66.6Hz
- 640x480、72Hz
- 640x480、75Hz
- 640x480、85Hz
- 720x400、70Hz
- 720x400、84Hz
- 720x400、85Hz
- 800x600、56Hz
- 800x600、60Hz
- 800x600、70Hz
- 800x600、72Hz
- 800x600、75Hz
- 800x600、85Hz
- 800x600、90Hz
- 800x600、100Hz
- 832x624、75.1Hz
- 1024x768@60Hz
- 1024x768@70Hz
- 1024x768、72Hz
- 1024x768@85Hz
- 1024x768@75Hz
- 1024x768、90Hz
- 1024x768、100Hz
- 1152x864、60Hz
- 1152x864、70Hz
- 1152x864、75Hz
- 1152x864、85Hz
- 1152x870、75.1Hz
- 1280x720、60Hz
- 1280x960、60Hz
- 1280x960、85Hz
- 1280x1024@60Hz



- 1280x1024, 75Hz
- 1280x1024、85Hz
- 1360x768、60Hz
- 1366x768、60Hz
- 1368x768、60Hz
- 1400x1050、60Hz
- 1440x900、60Hz
- 1600x1200、60Hz
- 1680x1050、60Hz
- 1920x1080、60Hz

ターゲット サーバのサポートされている画面解像度、接続距離、およ びリフレッシュ レート

サポートされる最大接続距離は、さまざまな要素によって決まります。 たとえば、Cat5 ケーブルのタイプと品質、サーバのタイプと製造元、ビ デオ ドライバとモニタ、環境条件、ユーザの要求レベルなどに左右され ます。

次の表に、各種の画面解像度とリフレッシュ レートにおける最大接続距 離を示します。

ターゲット サーバ画面解像度	最大接続距離
1024x768、60Hz(以下)	45 m (150 フィート)
1280x1024@60Hz	30 m (100 フィート)
1280x720、60Hz	22 m (75 フィート)
1600x1200、60Hz	15 m (50 フィート)
1920x1080、60Hz	15 m (50 フィート)

KX III でサポートされている画面解像度については、「*KX III でサポートされているターグット サーバ画面解像度* 『123p. 』」を参照してください。

注:サーバの製造メーカーやタイプ、OS のバージョン、ビデオ ドライバ などは多種多様であるうえ、ビデオ品質にはユーザの主観が反映される ため、Raritan ではあらゆる環境でのすべての距離におけるパフォーマン スを保証することはできません。



KX III ローカル ポートのサポートされている DVI 解像度

- 1920x1080、60Hz
- 1280x720、60Hz
- 1024x768、60Hz (デフォルト)
- 1024x768、75Hz
- 1280x1024、60Hz
- 1280x1024、75Hz
- 1600x1200、60Hz
- 800x480、60Hz
- 1280x768、60Hz
- 1366x768、60Hz
- 1360x768、60Hz
- 1680x1050、60Hz
- 1440x900、60Hz

サポートされているコンピュータ インタフェース モジュール (CIM) の仕様

デジタル CIM は、Display Data Channels (DDC) および Enhanced Extended Display Identification Data (E-EDID) に対応しています。

CIM モデル	説明	寸法 (W x D x H)	重量
D2CIM-DVUS B	デュアル USB CIM (BIOS 仮想メディア、 スマートカード/CAC、音声、およびずれ ないマウス用)	43 x 90 x 19 mm (1.7 x 3.5 x 0.8 インチ)	0.11 kg (0.25 lb)
D2CIM-VUSB	USB CIM (仮想メディアおよびずれないマ ウス用)	33 x 76 x 15mm (1.3 x 3.0 x 0.6 インチ)	0.09kg (0.09kg)



Ap C:	仕様
	1-1-2 1-21 2

CIM モデル	説明	寸法 (W x D x H)	重量
D2CIM-DVUS B-DVI	デジタルとアナログの変換を行い、仮想メ ディア、スマートカード/CAC、音声、絶 対および相対マウス同期をサポートする デジタル CIM	43 x 90 x 19 mm (1.7 x 3.5 x 0.8 インチ)	0.11 kg (0.25 lb)
D2CIM-DVUS B-DP	デジタルとアナログの変換を行い、仮想メ ディア、スマートカード/CAC、音声、絶 対および相対マウス同期をサポートする デジタル CIM	43 x 90 x 19 mm (1.7 x 3.5 x 0.8 インチ)	0.11 kg (0.25 lb)
D2CIM-DVUS B-HDMI	デジタルとアナログの変換を行い、仮想メ ディア、スマートカード/CAC、音声、絶 対および相対マウス同期をサポートする デジタル CIM	43 x 90 x 19 mm (1.7 x 3.5 x 0.8 インチ)	0.11 kg (0.25 lb)
DCIM-PS2	CIM (PS2 用)	33 x 76 x 15mm (1.3 x 3.0 x 0.6 インチ)	0.09kg (0.09kg)
DCIM-USBG2	CIM(USB および Sun USB 用)	33 x 76 x 15mm (1.3 x 3.0	0.09kg



CIM モデル	説明	寸法 (W x D x H)	重量
		x 0.6 インチ)	(0.09kg)

キーボードおよびマウスには、DVUSB CIM の黒のコネクタが使用されて います。グレーのコネクタは、仮想メディアに使用します。

CIM の両方のプラグをデバイスに接続したままにします。両方のプラグ がターゲット サーバに接続されていない場合は、デバイスが正しく動作 しないことがあります。

サポートされているデジタル ビデオ CIM (Mac 用)

デジタル ビデオ CIM を使用して、次の Mac® ポートに接続します。

Mac ポート	CIM
DVI	D2CIM-DVUSB-DVI
HDMI	D2CIM-DVUSB-HDMI
DisplayPort または Thunderbolt	D2CIM-DVUSB-DP

Mac の HDMI または DisplayPort ビデオがミニ コネクタになっている 場合は、デジタル CIM のフル サイズの HDMI および DisplayPort プラ グに接続するために、パッシブ アダプタ ケーブルが必要になることが あります。

あるいは、Mac VGA アダプタを D2CIM-VUSB または D2CIM-DVUSB と併用します。これは信頼性が低く、ビデオ品質が劣化するおそれがあ ることに注意してください。

Mac 対応の KX III 2.5.0 (以降) でサポートされている既定モードについ ては、「*デジタル CIM の既定モードおよび標準モード*『*128*p.』」を 参照してください。



デジタル CIM タイミング モード

以下は、KX III がデジタル CIM を介してビデオ ソースとやり取りする ときに使用されるデフォルトのタイミング モードです。

使用されるタイミング モードは、ビデオ ソースの本来の解像度によっ て異なります。

- 1920x1080、60Hz
- 1600x1200、60Hz
- 1280x1024、60Hz(デジタル CIM に適用されるデフォルトの解像度)
- 1440x900、60Hz
- 1024x768@60Hz

詳細については、オンライン ヘルプの「CIM ポートの設定」を参照して ください。

デジタル CIM の既定モードおよび標準モード

以下の既定の解像度とタイミング モード、および標準の解像度とタイミング モードは、KX III 3.0.0 (以降) でサポートされています。

デジタル CIM 既定モード

- 720 x 400、70Hz (IBM、VGA)
- 640 x 480、60Hz (IBM、VGA)
- 640 x 480、67Hz (Apple Mac[®] II)
- 640 x 480、72Hz (VESA)
- 640 x 480、75Hz (VESA)
- 800 x 600、56Hz (VESA)
- 800 x 600、60Hz (VESA)
- 800 x 600、72Hz (VESA)
- 800 x 600、75Hz (VESA)
- 832 x 624、75Hz (Apple Mac II)
- 1024 x 768、60Hz (VESA)
- 1024 x 768、70Hz (VESA)
- 1024 x 768、75Hz (VESA)
- 1280 x 1024、75Hz (VESA)
- 1152 x 870, 75Hz (Apple Mac II)



デジタル CIM 標準モード

- 1152 x 864、75Hz (VESA)
- 1280 x 960、60Hz (VESA)
- 1280 x 1024、60Hz (VESA)
- 1360 x 768、60Hz (VESA)
- 1400 x 1050、60Hz (VESA)
- 1440 x 900、60Hz (VESA)
- 1600 x 1200、60Hz (VESA)
- 1680 x 1050、60Hz (VESA)
- 1920 x 1080、60Hz (VESA)

DVI 互換モード

DVI 互換モードは、Intel のビデオ カードを搭載した Dell Optiplex ター ゲットまたは HDMI ビデオ ポートを搭載した Mac® Mini に HDMI CIM を使用して接続する場合に必要になる可能性があります。

このモードを選択すると、ターゲットからの優れた画質が保証されます。 オンライン ヘルプの「CIM ポートの設定」を参照してください。

サポートされているリモート接続

リモート接続	詳細情報
ネットワーク	10BASE-T、100BASE-T、および 1000BASE-T (Gigabit) Ethernet
プロトコル	TCP/IP、UDP、SNTP、HTTP、HTTPS、RADIUS、 LDAP/LDAPS

ネットワーク速度の設定

KX III におけるネットワーク速度の設定

ネットワー		自動	1000/全二重	100/全二重	100/半二重	10/全二重	10/半二重
ク スイッチ におけるポ	自動	使用可能な 最高速度	1000/全二重		100/半二重		10/半二重
一下の設定							
				100/半二重		10/半二重	
	1000/全二重	1000/全二重	1000/全二重	通信不可	通信不可	通信不可	通信不可



Ⅲ におけるネットワーク速度の設定						
100/全二重	KX III: 100/ 半二重 スイッチ: 100/全二重	KX III: 100/ 半二重 スイッチ: 100/全二重	100/全二重	KX III: 100/ 半二重 スイッチ: 100/全二重	通信不可	通信不可
100/半二重	100/半二重	100/半二重	KX 111: 100/ 全二重 スイッチ: 100/半二重	100/半二重	通信不可	通信不可
10/全二重	KX III: 10/半 二重 スイッチ: 10/全二重	通信不可	通信不可	通信不可	10/全二重	KX III: 10/半 二重 スイッチ: 10/全二重
10/半二重	10/半二重	通信不可	通信不可	通信不可	KX III: 10/全 二重 スイッチ: 10/半二重	10/半二重

КΧ

凡例:

通信できません。



通信は行えますが、推奨できません。



Ethernet 仕様でサポートされていません。通信は行えます が、衝突が発生します。



Ethernet 仕様では通信できないことになっています。KX III は期待どおりに動作しません。



注:ネットワーク通信の信頼性を高めるため、KX III とネットワーク スイ ッチの双方で、通信速度と通信方式を同じ設定にしてください。たとえ ば、KX III とネットワーク スイッチで "自動検出" に設定するか (推奨)、 または、双方の通信速度と通信方式を同じ設定にします (例: 100 Mbps/ 全二重)。

Dell 筐体を接続する場合のケーブル長と画面解像度

KX III に Dell[®] 製ブレード筐体を接続する場合、画質を維持するために 次のケーブル長と画面解像度を使用することを推奨します。

画面解像度	ケーブル長
1024x768@60Hz	15.24 m (50 フィート)
1280x1024@60Hz	15.24 m (50 フィート)
1600x1200、60Hz	9.14 m (30 フィート)

スマート カードの最小システム要件

ローカル ポートの要件

KX III へのローカル ポート接続の相互運用性の基本要件は、以下のとおりです。

 ローカルに接続されたすべてのデバイス(スマート カード リーダ ーまたはトークン)は、USB CCID に準拠している必要があります。

ターゲット サーバの要件

スマート カード リーダーを使用する場合、ターゲット サーバにおける 相互運用性の基本要件は以下のとおりです。

- IFD (スマート カード リーダー) Handler は、標準の USB CCID デバ イス ドライバ (汎用の Microsoft® USG CCID ドライバに相当) であ る必要があります。
- デジタル CIM または D2CIM-DVUSB (デュアル VM CIM) が必要で あり、そのファームウェア バージョンは 3A6E 以降である必要があ ります。
- ブレード シャーシのサーバ接続 (ブレードごとに CIM を使用) が サポートされます。
- ブレード シャーシのサーバ接続(シャーシごとに CIM を使用)は、 自動検出が有効になっている IBM® BladeCenter® モデル H および F でのみサポートされます。

Windows XP ターゲット



Windows XP[®] ターゲットでは、KX III でスマート カードを使用するため に Windows XP SP3 が実行されている必要があります。ターゲット サー バ上の Windows XP 共有で .NET 3.5 を実行している場合、SP1 を適用 する必要があります。

Linux ターゲット

Linux[®] ターゲットを使用している場合、Raritan デバイスでスマート カ ード リーダーを使用するには、以下の要件を満たす必要があります。

• CCID の要件

Linux ターゲットで Raritan D2CIM-DVUSB VM/CCID がスマート カード リーダーとして認識されない場合は、CCID ドライバのバー ジョンを 1.3.8 以上に更新し、ドライバ設定ファイル (Info.plist) を 更新する必要があります。

オペレーティング シ ステム	CCID の要件
RHEL 5	ccid-1.3.8-1.el5
SuSE 11	pcsc-ccid-1.3.8-3.12
Fedora [®] Core 10	ccid-1.3.8-1.fc10.i386

リモート クライアントの要件

リモート クライアントにおける相互運用性の基本要件は、以下のとおり です。

- IFD (スマート カード リーダー) Handler は、PC/SC 準拠のデバイス ドライバである必要があります。
- ICC (スマート カード) Resource Manager が使用可能で、PC/SC 準拠 である必要があります。
- スマート カード API を含む JRE® が Raritan クライアント アプリ ケーションで使用可能である必要があります。



Linux リモート クライアントの要件

Linux[®] クライアントを使用している場合、Raritan デバイスでスマート カード リーダーを使用するには、以下の要件を満たす必要があります。

注:ターゲットへの 1 つ以上の KVM セッションがアクティブになって いる場合、スマート カードを挿入すると、クライアントへのユーザ ロ グインに時間がかかることがあります。これらのターゲットへのログイ ン プロセスも進行中です。

• PC/SC の要件

オペレーティング システム	必要な PC/SC
RHEL 5	pcsc-lite-1.4.4-0.1.el5
SuSE 11	pcsc-lite-1.4.102-1.24
Fedora [®] Core 10	pcsc-lite-1.4.102.3.fc10.i386

- Java® ライブラリ リンクの作成 RHEL 4、RHEL 5、および FC 10 のアップグレード後、libpcsclite.so へ のソフト リンクを作成する必要があります。たとえば、パッケージ のインストールによってライブラリが /usr/lib または /user/local/lib に配置される場合、「ln -s /usr/lib/libpcsclite.so.1 /usr/lib/libpcsclite.so」と入力します。
- PC/SC デーモン
 pcsc デーモン (フレームワークのリソース マネージャ)を再起動すると、ブラウザが再起動します。

サポートされているスマート カード リーダー

タイプ	ベンダ	[Model] (モデル)	検証
USB	SCM Microsystems	SCR331	ローカルおよびリモ ートで検証済み
USB	ActivIdentity®	ActivIdentity USB Reader v2.0	ローカルおよびリモ ートで検証済み
USB	ActivIdentity	ActivIdentity USB Reader v3.0	ローカルおよびリモ ートで検証済み
USB	Gemalto [®]	GemPC USB-SW	ローカルおよびリモ ートで検証済み
USB キーボード/カ ード リーダーの組 み合わせ	Dell®	USB Smart Card Reader Keyboard	ローカルおよびリモ ートで検証済み



タイプ	ベンダ	[Model] (モデル)	検証
USB	SCM Microsystems	SCR331	ローカルおよびリモ ートで検証済み
USB キーボード/カ ード リーダーの組 み合わせ	Cherry GmbH	G83–6744 SmartBoard	ローカルおよびリモ ートで検証済み
SIM サイズのカード に対応した USB リ ーダー	Omnikey	6121	ローカルおよびリモ ートで検証済み
統合型 (Dell Latitude D620)	O2Micro	OZ776	リモートのみ
PCMCIA	ActivIdentity	ActivIdentity PCMCIA Reader	リモートのみ
PCMCIA	SCM Microsystems	SCR243	リモートのみ

注:SCM Microsystems の SCR331 スマート カード リーダーでは、SCM Microsystems のファームウェア v5.25 を使用する必要があります。

サポートされていないスマート カード リーダー

この表は、Raritan がテストし、Raritan デバイスでは動作しないことが 判明しているリーダーの一覧です。したがって、これらのリーダーはサ ポートされていません。

サポートされているスマート カード リーダーの表にもサポートされて いないスマート カード リーダーの表にもないスマート カード リーダ ーについては、デバイスでの動作を保証できません。

タイプ	ベンダ	[Model](モデル)	注意
USB キーボード/カー ド リーダーの組み合 わせ	HP®	ED707A	インタラプト エンド ポイントなし => Microsoft® ドライバと の互換性なし
USB キーボード/カー ド リーダーの組み合 わせ	SCM Microsystems	SCR338	独自のカード リーダ ー実装 (CCID 非準拠)
USB トークン	Aladdin®	eToken PRO™	独自の実装



音声の再生とキャプチャに関する推奨事項と要件

音声レベル

ターゲットの音声レベルを中域に設定します。
 たとえば、Windows® クライアントでは、音声を 50 以下に設定します。

この設定は、クライアントの音声デバイス コントロールではなく、再生またはキャプチャ用の音声デバイスで行う必要があります。

PC 共有モードが有効になっている場合の音声接続に関する推奨事項

PC 共有モードでの動作中に音声機能を使用している場合は、さらに音声 デバイスがターゲットに接続されると、音声の再生やキャプチャが中断 されます。

たとえば、ユーザ A がターゲット 1 に再生デバイスを接続して音声再 生アプリケーションを実行し、ユーザ B が同じターゲットにキャプチャ デ バイスを接続するとします。この場合、ユーザ A の再生セッション は中断されるので、音声アプリケーションを再起動する必要があります。

この中断が発生する理由は、新しいデバイス設定で USB デバイスを再列 挙する必要があるためです。

ターゲットで新しいデバイスのドライバをインストールする場合は、少し時間がかかることがあります。

音声アプリケーションは、再生の完全な停止、次のトラックへの移動、 または再生の続行となる可能性があります。

正確な動作は、音声アプリケーションで切断/再接続イベントがどのよう に処理されるかによって異なります。

帯城幅要件

次の表は、選択した各形式で音声を転送する場合の音声再生およびキャ プチャの帯域幅要件の詳細です。

音声形式	ネットワーク帯域幅要件
44.1 KHz、16 ビット ステ レオ	176 kbps
44.1 KHz、16 ビット モノ ラル	88.2 kbps
2.05 KHz、16 ビット ステ レオ	88.2 kbps
22.05 KHz、16 ビット モノ ラル	44.1 kbps


Ap C: 仕様

音声形式	ネットワーク帯域幅要件
11.025 KHz、16 ビット ス テレオ	44.1 kbps
11.025 KHz、16 ビット モ ノラル	音声 22.05 kbps

実際に、音声デバイスをターゲットに接続するときに使用される帯域幅 は、ターゲットで音声アプリケーションを開いたり使用したりする際に 消費されるキーボード データやビデオ データがあるため、広くなって います。

一般的には、再生およびキャプチャを実行する前に、1.5 MB 以上の接続 を維持していることを推奨します。

ただし、ターゲット画面の解像度を高くして高品質なビデオ コンテンツ をフル カラー接続すると、さらに多くの帯域幅を消費するため、音声の 品質が大幅に劣化します。

品質の低下を軽減できるように、帯域幅が狭い場合にビデオが音声品質 に与える影響を軽減するための推奨のクライアント設定は数多くありま す。

- 音声の再生を低品質の形式で接続します。帯域幅を消費するビデオによる影響は、44k よりも 11k で接続した方が大幅に減少します。
- [Connection Properties](接続プロパティ)で、接続速度を、クライアントからサーバへの接続に最適な値に設定します。
- [Connection Properties](接続プロパティ)で、色深度をできる限り低い値に設定します。色深度を8ビットカラーにすると、消費される帯域幅が大幅に減少します。
- [Smoothing](スムージング)を [High](高) に設定します。これにより、 表示されるビデオ ノイズが減少し、ターゲット ビデオの画質が向上 します。
- [Video](ビデオ) 設定で、[Noise Filter](ノイズ フィルタ)を最も高い 設定 7(最高値)にすると、ターゲットの画面変更に使用される帯域 幅が小さくなります。

Mac 環境での音声

以下は、Mac®環境での既知の問題です。

- Mac クライアントで、Virtual KVM Client (VKC) からデバイスにアク セスすると、[Connect Audio] (音声に接続) パネルに再生デバイスが 1 つだけリストされます。リストされたデバイスはデフォルトであり、 [Connect Audio] (音声に接続) パネルに「Java Sound Audio Engine」と して表示されます。
- Mac ターゲットで Skype® を介して音声を使用すると、音声が破損する可能性があります。



サポートされている音声/仮想メディアおよびスマート カード接続の数

クライアントからターゲットに確立する音声/仮想メディア、およびスマ ート カードの同時接続数を以下に示します。

- 1 スマート カード
- 1 仮想メディア
- 1 スマート カードおよび 1 仮想メディア
- 2 仮想メディア

各言語に対して **KX III** でサポートされているキーボード

次の表に、各言語に対して KX III でサポートされているキーボードを示 します。

注:中国語、日本語、および韓国語は、表示しかできません。現時点では、 これらの言語を入力することはできません。アメリカ英語以外のキーボ ードの詳細については、「**留意事項**『145p. 』」を参照してください。

注:Linux 環境で作業する場合は、system-config-keyboard を使用して言語 を変更することをお勧めします。

言語	地域	キーボード レイアウ ト
US 英語	米国および大半の英語圏の諸国: カナダ、オーストラリア、ニュー ジーランドなど	US キーボード レイ アウト
US インター ナショナル	米国および大半の英語圏の諸国: オランダなど	US キーボード レイ アウト
UK 英語	英語 (イギリス)	UK レイアウト キー ボード
繁体字中国語	香港、中国 (台湾)	繁体字中国語
簡体字中国語	中国	簡体字中国語
韓国語	韓国	Dubeolsik ハングル
日本語	日本	JIS キーボード
[French] (フラ ンス語)	フランス	フランス語 (AZERTY) レイアウ ト キーボード
[German] (ド イツ語)	ドイツおよびオーストリア	ドイツ語キーボード (QWERTZ レイアウ ト)



Λ.	-		177
AI) (- 17	150
· •			-145

言語	地域	キーボード レイアウ ト
[French] (フラ ンス語)	ベルギー	ベルギー語 (ベルギ ー)
ノルウェー語 (ノルウェー)	ノルウェー	ノルウェー語 (ノル ウェー)
デンマーク語 (デンマーク)	デンマーク	デンマーク語 (デン マーク)
スウェーデン 語 (スウェー デン)	スウェーデン	スウェーデン語 (ス ウェーデン)
ハンガリー語	ハンガリー	ハンガリー語
スロベニア語	スロベニア	スロベニア語
イタリア語	イタリア	イタリア語
スペイン語	スペインおよび大半のスペイン 語圏の諸国	スペイン語
ポルトガル語	ポルトガル	ポルトガル語

Mac Mini BIOS のキー入力コマンド

以下の BIOS コマンドは、Mac Snow Leopard® が稼動している Intel ベー スの Mac® Mini ターゲット サーバおよび Mac Lion® サーバ上でテスト されたものです。これらのサーバは、D2CIM-DVUSB および D2CIM-VUSB CIM で KX III に接続されました。サポートされているキ ーおよび留意事項については、下記を参照してください。

キー入力	説明	仮想メディア CIM	デュアル仮想メ ディア CIM	Mac Lion サーバ HDMI CIM
起動時に C キーを 押す	起動可能な CD または DVD (Mac OS X インス トール ディスクなど) から起動する	\checkmark	\checkmark	
起動時に D キーを 押す	Apple Hardware Test (AHT) で起動します。	✓ Mac のマウス用の 正常に機能する BIOS プロファイ	✔ Mac のマウス用 の正常に機能す る BIOS プロフ	✓ Mac のマウス用 の正常に機能す る BIOS プロフ



Ap C: 仕様

キー入力	説明	仮想メディア CIM	デュアル仮想メ ディア CIM	Mac Lion サーバ
				HDMI CIM
		ルを必要とする場 合がある	ァイルを必要と する場合がある	ァイルを必要と する場合がある
2 回目の起動音が 聞こえるまで Option-Command-P -R キーを押す	NVRAM をリセットします。		\checkmark	\checkmark
起動時に Option キーを押す	スタートアップ マネー ジャで起動。起動元の Mac OS X ボリューム を選択できる	\checkmark	\checkmark	\checkmark
イジェクト キー または F12 キーを 押すか、マウス ボ タンを押し続ける	リムーバブル メディア (光学ディスクなど) を 取り出す	\checkmark	\checkmark	
起動時に N キーを 押す	互換性のあるネットワ ーク サーバから起動す る (NetBoot)	\checkmark	\checkmark	\checkmark
起動時に T キーを 押す	ターゲット ディスク モードで起動する			\checkmark
起動時に Shift キ ーを押す	セーフ モードで起動 し、ログイン項目を一時 的に無効にします。	✓	✓	Lion をセーフ モ ードで起動する 際の既知の問題 点。Lion では、赤 字の "セーフ ブ ート" が表示さ れない
起動時に Command-V キーを 押す	Verbose mode.admin で 起動する	\checkmark	\checkmark	\checkmark
起動時に Command-S キーを 押す	シングル ユーザ モー ドで起動します。	\checkmark	\checkmark	\checkmark
起動時に Option-N キーを押す	デフォルトのブート イ メージを使用して NetBoot サーバから起 動します。	\checkmark	\checkmark	✓



Ap C: 仕様

キー入力	説明	仮想メディア CIM	デュアル仮想メ ディア CIM	Mac Lion サーバ HDMI CIM
起動時に Command-R キーを 押す	Lion Recovery から起動 します。	なし	なし	\checkmark

Windows キーボードによる Mac ターゲットへのアクセス

Windows[®] キーボードを使用して、KX III に接続されている Mac[®] にアク セスできます。Windows キーで、特殊な Mac キーをエミュレートします。 これは、Windows キーボードを Mac に直接接続するのと同じことです。

使用される TCP ポートおよび UDP ポート

ポート	説明
HTTP、ボート 80	このポートは、必要に応じて設定できます。「 <i>HTTP ポートおよび</i> <i>HTTPS ポートの設定</i> 『 <i>141</i> p. 』」を参照してください。
	セキュリティを確保するため、デフォルトでは、KX III によって HTTP (ポート 80) で受信された要求は、すべて HTTPS に自動変換されます。
	要求はポート 80 で受け付けられるので、ユーザはブラウザのアドレス ボックスに明示的に「https://」と入力する必要はありません。また、 セキュリティも確保されます。
HTTP、ボート 443	このポートは、必要に応じて設定できます。「 <i>HTTP ポートおよび</i> <i>HTTPS ポートの設定</i> 『 <i>141</i> p. 』」を参照してください。
	デフォルトでは、このポートはさまざまな目的で使用されます。たとえ ば、クライアントから HTML で Web サーバにアクセスする場合、ク ライアント ソフトウェア (Virtual KVM Client (VKC)) をクライアント にダウンロードする場合、KVM データと仮想メディア データをクライ アントに転送する場合などです。
KX III (Raritan KVM-over-IP) プロ トコル、ポート 5000	このポートは、他の Dominion デバイスの検出、および Raritan デバイ スと各種システム (CC-SG 管理で利用可能なデバイス向けの CC-SG など) との間の通信に使用されます。
(変更可)	このポートはデフォルトで 5000 に設定されていますが、別の TCP ポ ートに変更することもできます。この設定を変更する手順については、 「ネットワーク設定」を参照してください。
SNTP (時刻サーバ)、 UDP ポート 123 (変	KX III の内部クロックを中央の時刻サーバと同期させることができます。
更可)	この機能を利用するには UDP ポート 123(SNTP 用の標準ポート)を



ポート	説明
	使用する必要がありますが、別のポートに変更することもできます。(オ プション)
LDAP/LDAPS、ポー ト 389 または 636 (変更可)	LDAP/LDAPS プロトコルを使用してユーザをリモート認証するように KX III LDAP/LDAPS プロトコルを使用してユーザをリモート認証する ように KX III が設定されている場合、デフォルトでポート 389 または 636 が使用されます。ただし、別のポートに変更することもできます。 (オプション)
RADIUS、ポート 1812 (変更可)	RADIUS プロトコルを使用してユーザをリモート認証するように KX III が設定されている場合、デフォルトでポート 1812 が使用されます。 ただし、別のポートに変更することもできます。(オプション)
設定可能なポート 1813 を使用する RADIUS アカウンテ ィング	RADIUS プロトコルを使用してユーザをリモート認証するように KX III が設定されており、かつ、イベントのログ記録に RADIUS アカウン ティングが使用されている場合、ログ通知の転送にデフォルトでポート 1813 が使用されます。ただし、別のポートに変更することもできます。
SYSLOG、UDP ポー ト 514(変更可)	メッセージを Syslog サーバに送信するように KX III が設定されてい る場合、通信にデフォルトでこのポートが使用されます。ただし、別の ポートに変更することもできます。
SNMP、デフォルトの UDP ポート	送受信の読み取り/書き込み SNMP アクセスにはポート 161 が使用さ れます。SNMP トラップの送信トラフィックにはポート 162 が使用さ れます。(オプション)
TCP ポート 22	ポート 22 は、KX III のコマンド ライン インタフェース (CLI) を利用 する際に使用されます (お客様が Raritan のテクニカル サポート部門 と協力して作業する場合)。
SSH	SSH (Secure Shell) ポートは設定できます。デフォルトはポート 22 で す。

HTTP ポートおよび HTTPS ポートの設定

KX III によって使用される HTTP ポートまたは HTTPS ポートを設定 できるようになりました。 たとえば、デフォルトの HTTP ポートであ るポート 80 を別の用途で使用している場合、HTTP 用ポートを変更す ると、ポート 80 が HTTP 用として使用されなくなります。

- ▶ HTTP ポートまたは HTTPS ポートの設定を変更するには
- [Device Settings(デバイス設定)] > [Device Services(デバイス サービス)] をクリックします。[Device Services(デバイス サービス)] ページが開きます。



- 2. [HTTP Port](HTTP ポート)フィールドまたは [HTTPS Port](HTTPS ポート)フィールド(あるいはその両方)に新しいポート番号を入力します。
- 3. OK をクリックします。

ソフトウェア

オペレーティング システム	ブラウザ
Windows 7® Home Premium SP1 64 ビット	 Internet Explorer® 10 および 11 Firefox® 25 Chrome® 31 Safari® 5.1.7
Windows 7 Ultimate SP1 64 ビット	Internet Explorer 8, 9, 11FireFox 25Chrome 31
Windows 7 Ultimate 32 ビット	Internet Explorer 8FireFox 25Chrome 31
Windows 8® 64 ビット	Internet Explorer 10FireFox 25Chrome 31
Windows Server 2012® Standard 64 ビット	Internet Explorer 10FireFox 25Chrome 31
Windows XP [®] Home Edition SP 3	Internet Explorer 10FireFox 25Chrome 31
openSUSE® 11.4 Celadon (x86_64)	• Firefox 16.0.2
Fedora® 18 (Spherical Cow)	• FireFox 24
RHEL 6.4	FireFox 21
OS X Mountain Lion® 10.8.5 *	Firefox 25 (推奨)Safari 6.1
Solaris® 10 64 ビット	• Firefox 3.6.23
Mac [®] 10.7.5	Safari 6.0.5FireFox 25

サポートされているオペレーティング システムとブラウザ



オペレーティング システム

ブラウザ

*注: OS X 10.8.2 から OS X 10.8.3 にアップグレードすると、Safari[®] で Java[™] がブロックされる場合があります。

Mac の JRE の要件およびブラウザに関する注意事項

Mac の Java Runtime Environment の要件

Virtual KVM Client (VKC) を使用して KX III 経由でターゲット サーバに アクセスする場合は、PC および Mac[®] に Java Runtime Environment 7 (JRE)[®] をインストールします。

ターゲット サーバ/PC/Mac にリモート アクセスするときに、高パフォ ーマンスで KVM-over-IP ビデオ処理を行うためには、この方法が確実で す。

Mac 用の JRE の最新バージョンは、Apple サポート Web サイトからダ ウンロードできます。

Mac のブラウザに関する注意事項

特定のブラウザでは、Java がデフォルトで無効になっている場合があり ます。KX III を使用するためには、Java を有効にしてすべてのセキュリ ティ警告を承諾します。

特定のバージョンの Safari[®] では、セキュリティ上の理由から Java がブ ロックされます。KX III を使用するには、Java が必要なので、代わりに Firefox[®] を使用することをお勧めします。

さらに、場合によっては、多くのメッセージを参照する必要があります。 こうしたメッセージが表示される場合は、[ブロックしない]を選択しま す。

Java および Microsoft .NET の要件

Java® 1.7 (以降) または Microsoft .NET® 3.5 (以降) では、KX III を使用す る必要があります。

KX III では、現在の Java バージョンが確認され、適合していない場合は、 更新するよう求められます。

詳細については、「Java Runtime Environment (JRE) に関する留意事項 『145p. 』」を参照してください。



多言語対応キーボードの JRE の要件

多言語対応のキーボードを KX III および Virtual KVM Client (VKC) で使 用できるようにするには、多言語バージョンの JRE[™] をインストールす る必要があります。

監査ログおよび Syslog でキャプチャされるイベント

KX III の監査ログと syslog でキャプチャされるイベントの一覧と説明 は以下のとおりです。

- Access Login (アクセス ログイン) ユーザが KX III にログインしました。
- Access Logout (アクセス ログアウト) ユーザが KX III からログア ウトしました。
- Active USB Profile (アクティブ USB プロファイル) USB プロファ イルがアクティブになりました。
- CIM Connected (CIM 接続) CIM が接続されました。
- CIM Disconnected (CIM 切断) CIM が切断されました。
- Connection Lost (切断) ターゲットへの接続が切断されました。
- Disconnected User (ユーザの切断) ユーザがポートから切断されました。
- End CC Control (CC 制御終了) CC-SG 管理対象から除外されました。
- Login Failed (ログイン失敗) ユーザのログインが失敗しました。
- Password Changed (パスワード変更) パスワードが変更されました。
- Port Connect (ポート接続) ポートが接続されました。
- Port Disconnect (ポート切断) ポートが切断されました。
- Port Status Change (ポート ステータス変更) ポート ステータスが 変更されました。
- Scan Started (スキャン開始) ターゲットのスキャンが開始されました。
- Scan Stopped (スキャン停止) ターゲットのスキャンが停止されました。
- Session Timeout (セッション タイムアウト) セッション タイムア ウトが発生しました。
- VM Image Connected (VM イメージ接続) VM イメージが接続され ました。
- VM Image Disconnected (VM イメージ切断) VM イメージが切断されました。



Ap D留意事項

この章の内容

概要	. 145
Java Runtime Environment (JRE) に関する留意事項	. 145
CIM に関する留意事項	. 146
仮想メディアに関する留意事項	. 148
ビデオ モードと解像度に関する留意事項	. 151
キーボードに関する留意事項	. 152
マウスに関する留意事項	. 156
音声	. 157
スマート カードに関する留意事項	. 158
ブラウザに関する留意事項	. 158

概要

この章では、KX III の使用に関する重要事項について説明します。今後 更新される情報については、弊社 Web サイトで提供されます。更新情報 を表示するには、KX III リモート コンソールの [Help] (ヘルプ) リンク をクリックしてください。

注:このセクションの一部のトピックでは、記載されている情報がさまざ まなデバイスに影響を与えるため、他の複数の Raritan デバイスにも言 及しています。

Java Runtime Environment (JRE) に関する留意事項

Java のキャッシュ機能の無効化および Java キャッシュのクリア

Microsoft Windows[®] の Java のキャッシュ機能を無効にし、Java[™] キャッシュをクリアすることを強くお勧めします。

- Java のキャッシュ機能を無効にしてキャッシュをクリアするには、以下の手順に従います。
- 1. Windows の [スタート] メニューの [コントロール パネル] をクリ ックします。
- Java アイコンをダブルクリックして、起動します。[Java コントロー ル パネル] ダイアログ ボックスが表示されます。
- 3. Java キャッシングを無効にするには、以下の手順に従います。
 - a. [一般] タブで [設定] ボタンをクリックします。[一時ファイルの 設定] ダイアログ ボックスが表示されます。



- b. [アプレットの表示] ボタンをクリックします。Java Applet キャ ッシュ ビューアが開きます。
- c. [キャッシュを有効にする] チェックボックスがオンになってい る場合は、オフにします。
- d. [OK] をクリックします。
- 4. Java キャッシュをクリアするには、以下の手順に従います。
 - a. [一時ファイルの設定] ダイアログ ボックスで、[ファイルの削除] ボタンをクリックします。[一時ファイルの削除] ダイアログ ボックスが表示されます。
 - b. 削除する一時ファイルを選択します。
 - c. [OK] をクリックします。

Java が Mac に正しくロードされていない場合

Mac[®] を使用しており、KX III ポート アクセスの表のデバイスに接続す るときに、次のメッセージが表示される場合は、Java[™] が正しくロードさ れていません。

"Error while getting the list of open targets, please try again in a few seconds. (開かれているターゲットのリストの取得中にエラーが発生しました。少ししてから、もう 1 度試してください。)"

このエラーが発生する場合は、インストールされている Java を次の Web サイトから確認します。

http://www.java.com/en/download/testjava.jsp http://www.java.com/en/download/testjava.jsp

Java アプレットが非アクティブの場合は、このページから有効にするこ とができます。Java が正しくインストールされていない場合は、メッセ ージでわかるので、Java を再インストールできます。

CIM に関する留意事項

Linux ターゲット サーバに対して Windows の 3 ボタン マウスを使用する場合

Linux[®] ターゲット サーバに接続している Windows[®] クライアントで 3 ボタン マウスを使用する場合、左マウス ボタンがその 3 ボタン マウ スの中央ボタンに対応付けられることがあります。



Windows 2000 での複合 USB デバイスの動作

Windows 2000[®] では、Raritan の D2CIM-VUSB のような複合 USB デバ イスはサポートされていないので、非複合 USB デバイスと同じように扱 われます。

したがって、D2CIM-VUSB によってマッピングされているドライブに対 する [Safely Remove Hardware] (ハードウェアの安全な取り外し) アイコ ンがシステム トレイに表示されません。また、D2CIM-VUSB を取り外 す際、警告メッセージが表示されることがあります。ただし、Raritan が 確認したところでは、このメッセージが表示されても何の問題も発生し ません。

米国にある Raritan の設計部門は、この [Safely Remove Hardware] (ハー ドウェアの安全な取り外し) アイコンを表示すると共にこの警告メッセ ージの表示を回避するための構成を考え出しました。この構成では、 D2CIM-DVUSB 仮想メディア アダプタと "Troubleshooting 3" USB プロ ファイルを使用する必要があります。この USB プロファイルは、 D2CIM-DVUSB を、仮想メディア接続を 1 本しかサポートしない非複合 USB デバイスとして設定するものです。Raritan は、米国と日本でこの構 成を十分にテストしました。





仮想メディアに関する留意事項

Linux クライアントからドライブに接続できない場合

Linux[®] Fedora[™] 18 と Java[™] 1.7.0 (update 45 以降) が稼働しているクライ アントから接続するときに、ターゲット サーバの仮想メディア ドライ ブに接続できない場合は、クライアントで Fedora 18 の SELinux を無効 にして問題を解決してください。

Mac クライアントからファイルの読み書きができない場合

Safari® 6.1 と Java[™] 1.7 が稼働している Mac[®] 10.8.5 クライアントから KX III に接続しており、ターゲット サーバのファイルの読み書きができ ない場合や、仮想メディアにアクセスできない場合は、以下の手順に従 って修正してください。

- 1. Safari で、[環境設定] を選択します。
- 2. [セキュリティ] タブで、[Web サイト設定を管理] を選択します。
- 3. "KX3 の Web サイト" をクリックします。
- 4. ドロップダウンから [安全でないモードで実行] を選択します。
- 5. Safari を再起動します。



Windows 環境での VKC および AKC を介した仮想メディア

Windows XP[®]の Administrator 権限および標準ユーザ権限は、Windows Vista[®] および Windows 7[®] とは異なります。

Vista または Windows 7 でユーザ アクセス制御 (UAC) を有効にすると、 ユーザがアプリケーションの実行に必要とする最低レベルの権限が与え られます。たとえば、Internet Explorer® でユーザに管理者レベルのタス クの実行を明示的に許可するための [管理者として実行] オプションが 用意されています。このオプションを使用しない場合、ユーザは管理者 としてログインしていても管理者レベルのタスクを実行できません。

どちらの機能も、ユーザが Virtual KVM Client (VKC) および Active KVM Client (AKC) を使用してアクセスできる仮想メディアのタイプに影響します。これらの機能の詳細および使用方法については、Microsoft®のヘルプを参照してください。

ユーザが Windows 環境で VKC および AKC を使用してアクセスでき る仮想メディアのタイプを以下に示します。機能をクライアント別に分 類し、各 Windows ユーザ役割がアクセスできる仮想メディア機能を示し ます。

Windows XP

VKC および AKC を Windows XP 環境で実行している場合、CD-ROM 接続、ISO、および ISO イメージを除く仮想メディア タイプにアクセス するには、ユーザに管理者権限が必要です。

Windows Vista および Windows 7

VKC および AKC を Windows Vista または Windows 7 環境で実行し、 UAC が有効になっている場合は、ユーザの Windows 役割に応じて以下 の仮想メディア タイプにアクセスできます。

クライア ント	管理者	標準ユーザ
AKC お よび VKC	アクセス先: • 固定ドライブと固定ドラ イブ パーティション • リムーバブル ドライブ • CD/DVD ドライブ • ISO イメージ • リモート ISO イメージ	アクセス先: • リムーバブル ドライブ • CD/DVD ドライブ • ISO イメージ • リモート ISO イメージ



ファイル追加後に仮想メディアが最新の情報に更新されない

仮想メディア ドライブがマウントされた後、そのドライブにファイルを 追加した場合、ターゲット サーバ側でそのファイルがすぐに表示されな いことがあります。表示するには、仮想メディア接続をいったん解除し、 再確立します。

仮想メディアの Linux ドライブが 2 回リストされる

KX III では、ユーザが Linux[™] クライアントに root ユーザとしログイン している場合、ドライブが [Local Drive] (ローカル ドライブ) ドロップダ ウン リストに 2 回リストされます。

たとえば、eg /dev/sdc と eg /dev/sdc1 が表示されます。1 つ目のドラ イブはブート セクタ、2 つ目のドライブはディスクの最初のパーティシ ョンです。

Windows 2000 の仮想メディアへのアクセス

D2CIM-VUSB を使用して Windows 2000[®] サーバ上の仮想メディアに仮 想メディア ローカル ドライブにアクセスすることはできません。

Mac および Linux の仮想メディア USB ドライブの切断

Linux[®] または Mac[®] 環境の場合:

- Linux ユーザに対して、/dev/sdb および /dev/sdb1 が存在している 場合、クライアントでは /dev/sdb1 のみが使用され、それがリムー バブル ディスクとして公開されます。
- /dev/sdb をユーザが利用することはできません。
- Linux ユーザに対して、/dev/sdb は存在するけれども /dev/sdb1 が ない場合は、/dev/sdb がリムーバブル デバイスとして使用されます。
- Mac ユーザに対しては、/dev/disk1 および /dev/disk1s1 が使用され ます。

仮想メディア機能利用時におけるターゲット サーバの BIOS の起動時間

ターゲット サーバにおいてメディアが仮想マウントされている場合、そのターゲット サーバの BIOS の起動に要する時間が長くなることがあります。

▶ 起動に要する時間を短縮するには

- 1. VKC を終了し、仮想メディア ドライブを完全に解放します。
- 2. ターゲット サーバを再起動します。



高速の仮想メディア接続を使用した場合の仮想メディアの接続エラー

[High Speed USB] (高速 USB) 接続でターゲットに問題が発生する場合、 またはターゲットで接続やケーブルの追加に起因する信号劣化により USB プロトコル エラーが発生する場合は、[Use Full Speed for Virtual Media CIM] (仮想メディア CIM でフル スピードを使用) の選択が必要 になることがあります。 (たとえば、ドングルを介したブレード サーバ への接続)。

ビデオ モードと解像度に関する留意事項

Mac でのビデオ画像の表示が暗い場合

Mac[®]の HDMI ビデオ ポートを使用していて、ビデオが暗すぎる場合は、 CIM の DVI 互換モードを有効にすると、問題の解決に役立ちます。 「CIM ポートの設定」を参照してください。

ローカル ポートで黒色の縞が表示される場合

特定のサーバおよび画面解像度では、ローカル ポートで画面の端に黒色の小さい縞が表示される場合があります。

このような場合は、以下の手順に従います。

- 1. 別の解像度を設定してみます。または、
- デジタル CIM を使用している場合は、[Port Configuration](ポート設定) ページで [Display Native Resolution](本来の表示解像度)を別の 解像度に変更します。あるいは、
- 3. HDMI CIM を使用している場合は、DVI 互換モードにします。

さらに支援を必要とする場合は、Raritan のテクニカル サポートにお問 い合わせください。

Sun Composite Sync ビデオ

Sun[™] Composite Sync ビデオは、サポートされていません。



SUSE と VESA のビデオ モード

SUSE の X.org 設定ツールである SaX2 を実行すると、X.org 設定ファ イル内の Monitor セクションの Modeline エントリにビデオ モードが 書き込まれます。これらのビデオ モードは、VESA モニタを選択してい る場合であっても、VESA のビデオ モード タイミングと正確に対応し ていません。一方 KX III では、正確に同期させるため、VESA のビデオ モード タイミングが使用されています。このビデオ モード タイミング の不一致により、黒の境界線が表示される、画面の一部が表示されない、 ノイズが発生する、などの問題が発生することがあります。

SUSE のビデオ表示を設定するには

1. 生成された設定ファイル /etc/X11/xorg.conf 内に Monitor セクショ ンがあり、その中に UseModes というオプションがあります。たと えば、

UseModes "Modes[0]" と書き込まれています。

- この行の先頭に # を付加してコメント行にするか、または、この行 全体を削除します。
- 3. X サーバを再起動します。

これにより、X サーバの内部ビデオ モード タイミングが使用されるようになるので、VESA のビデオ モード タイミングと正確に対応します。この結果、KX III 経由で画面が正しく表示されます。

キーボードに関する留意事項

フランス語キーボード

キャレット記号 (Linux クライアントのみ)

Linux[®] クライアントとフランス語キーボードを併用する場合、Virtual KVM Client (VKC) では Alt Gr + 9 というキー組み合わせがキャレット記 号 () として処理されません。

▶ キャレット記号を入力するには

フランス語キーボードの [^] キー (P キーの右にある)を押し、すぐに Space キーを押します。

次のコマンドを実行するマクロを作成する方法もあります。

- 1. 右 Alt キーを押す。
- 2. 9 キーを押す。
- 3. 9 キーを離す。
- 4. 右 Alt キーを離す。



注:これらの手順は、母音の上に付ける曲折アクセントには当てはまりま せん。フランス語キーボードで ^ キーと他の文字を組み合わせて使用し た場合、曲折アクセントになります。

アクセント記号 (Windows XP クライアントのみ)

Windows XP[®] クライアントでフランス語キーボードを使用する場合、 Virtual KVM Client (VKC) で Alt Gr + 7 というキー組み合わせを使用す ると、アクセント記号付き文字が 2 つ表示されます。

注:この現象は、Linux® クライアントでは発生しません。

数字キーパッド

Virtual KVM Client (VKC) でフランス語キーボードを使用する場合、数字 キーパッドにある記号は次のとおりに表示されます。

数字キーパッ ド上の記号キ ー	表示
/	• 7
•	• • •

ティルデ記号

Virtual KVM Client (VKC) でフランス語キーボードを使用する場合、Alt Gr + 2 というキー組み合わせがティルデ記号(`)として処理されません。

▶ ティルデ記号を入力するには

次のコマンドを実行するマクロを作成します。

- 右 Alt キーを押す。
- 2 キーを押す。
- 2 キーを離す。
- 右 Alt キーを離す。



キーボード言語の設定 (Fedora クライアント)

Linux[®]版のJRE[™]には、[System Preferences](システム基本設定)で設定 した外国語キーボードに対して正しいキー イベントが生成されない、と いう問題があります。したがって、次の表に示す方法を使用して外国語 キーボードを設定することを推奨します。

言語	設定方法
アメリカ英語/ 国際	デフォルト設定
イギリス英語	[System Settings] (システム設定) (Control Center)
フランス語	Keyboard Indicator
ドイツ語	Keyboard Indicator
ハンガリー語	[System Settings] (システム設定) (Control Center)
スペイン語	[System Settings] (システム設定) (Control Center)
ドイツ語 (スイ ス)	[System Settings] (システム設定) (Control Center)
ノルウェー語	Keyboard Indicator
スウェーデン語	Keyboard Indicator
デンマーク語	Keyboard Indicator
日本語	[System Settings] (システム設定) (Control Center)
韓国語	[System Settings] (システム設定) (Control Center)
スロベニア語	[System Settings] (システム設定) (Control Center)
イタリア語	[System Settings] (システム設定) (Control Center)
ポルトガル語	[System Settings] (システム設定) (Control



注:デスクトップ環境として Gnome を使用している Linux システムで は、Keyboard Indicator を使用してください。

Linux クライアントでハンガリー語キーボードを使用している場合、ダブ ル アキュート付き U およびダブル アキュート付き O は、JRE 1.6 (以 降) でのみ入力できます。

Fedora[®] クライアントでは、キーボード言語を設定する方法がいくつかあ ります。Virtual KVM Client (VKC) でキーを正しく対応付けるには、次に 示す方法を使用する必要があります。

- [System Settings] (システム設定)を使用してキーボード言語を設 定するには
- ツールバーで [System] (システム) > [Preferences] (基本設定) > [Keyboard] (キーボード)を選択します。
- 2. [Layouts] (レイアウト) タブをクリックします。
- 3. 言語を追加または選択します。
- 4. [Close](閉じる)をクリックします。
- ▶ Keyboard Indicator を使用してキーボード言語を設定するには
- 1. タスク バーを右クリックし、[Add to Panel] (パネルに追加) をクリッ クします。
- [Add to Panel] (パネルに追加) ダイアログ ボックスで、Keyboard Indicator を右クリックし、メニューの [Open Keyboard Preferences] (キーボード基本設定) をクリックします。
- 3. [Keyboard Preferences] (キーボード基本設定) ダイアログ ボックスで、 [Layouts] (レイアウト) タブをクリックします。
- 4. 必要に応じて言語を追加または削除します。

Linux ターゲット サーバでマクロが保存されない場合

Linux[®] Fedora[™] 18 と Java[™] 1.7.0 (update 45 以降) が稼働しているターゲット サーバでマクロを作成して保存しても、次のエラー メッセージが 表示される場合は、ターゲット サーバで Fedora 18 の SELinux を無効 にして問題を解決してください。

"An error occurred attempting to write the new keyboard macros. (キーボード マクロを新規作成しようとして、エラーが発生 しました。) Macro was not added (マクロは追加されませんでした) "



リモート アクセスに対応していない Mac キーボードのキー

クライアントとして Mac[®] を使用している場合、Mac[®] キーボードの次の キーは、Java[™] Runtime Environment (JRE[™]) によって取り込まれません。

- F9
- F10
- F11
- F14
- F15
- Volume Up
- Volume Down
- Mute
- Eject

その結果、Virtual KVM Client (VKC) では、Mac クライアントのキーボー ドのこうしたキーは処理できません。

マウスに関する留意事項

マウス ポインタの同期 (Fedora)

Fedora®7 を実行しているターゲット サーバにデュアル マウス モード で接続しているときに、ターゲット サーバとローカルのマウス ポイン タが同期しなくなった場合、マウス モードをインテリジェント モード に、またはインテリジェント モードから標準モードに変更すると同期が 回復することがあります。

シングル マウス モードを使用すると、制御しやすくなります。

- ▶ マウス ポインタを再度同期させるには、以下の手順に従います。
- Virtual KVM Client (VKC)の [Synchronize Mouse] (マウスを同期) オ プションを使用します。

シングル マウス モード: CC-SG の管理下にあるターゲットに接続す る場合

Firefox[®] と DCIM-PS2 または DCIM-USBG2 を使用して、CC-SG の管 理下にある KX III ターゲットに接続しているとき、Virtual KVM Client (VKC) でシングル マウス モードに切り替えると、VKC ウィンドウから フォーカスが外れ、マウスが応答しなくなります。

この場合、マウスの左ボタンをクリックするかまたは Alt キーを押しな がら Tab キーを押し、フォーカスを VKC ウィンドウに戻します。



音声の再生とキャプチャに関する問題

音声接続を妨げる可能性がある機能

音声デバイスに接続中、以下の機能を使用している場合は、音声接続が 妨げられる可能性があります。音声デバイスに接続する場合は、これら の機能を使用しないことを推奨します。

- ビデオの自動検出
- ローカル ポートを頻繁に使用する機能
- ユーザの追加

キャプチャ デバイスおよび再生デバイスをターゲットで同時に使用し た場合の問題

一部のターゲットでは、USB ハブ コントローラーとその USB ポートの 管理方法により、キャプチャ デバイスと再生デバイスの同時接続が機能 しない場合があります。必要な帯域幅が小さい音声形式を選択すること を検討してください。

それでも問題が解決しない場合は、ターゲットで D2CIM-DVUSB CIM の キーボードおよびマウス コネクタを別のポートに接続してください。そ れでも問題が解決しない場合は、デバイスを USB ハブに接続し、ハブを ターゲットに接続してください。

Linux 環境での音声

以下は、Linux®環境で音声機能を使用する場合の既知の問題です。

- Linux[®] ユーザは、再生にデフォルト音声デバイスを使用してください。デフォルト以外のサウンドカードを選択した場合は、音が出力されない可能性があります。
- SuSE 11 クライアントでは、YAST を介して Javas_1_6_0-sun-alsa (ALSA 対応の java-1_6_0-sun) をインストールしておく必要があり ます。
- マイクが組み込まれた Logitech® ヘッドセットの場合は、[Mono Capture] (モノラル キャプチャ) オプションのみを使用できます。
- デバイスを表示するためには、SUSE 11 および ALSA ドライバを実行している場合、KX III からログアウトして、ログインし直します。
 また、音声デバイスの接続と切断を数回繰り返した場合、本来は1回だけリストされるべきデバイスが、複数回リストされる可能性があります。
- Fedora Core[®] 13 ターゲットで音声機能を使用している場合、モノラル 16 ビット、44k に設定すると、再生が著しく妨げられる可能性があります。



Windows 環境での音声

Windows[®] 64 ビットクライアントで、Virtual KVM Client (VKC) からデバ イスにアクセスすると、[Connect Audio] (音声に接続) パネルに再生デバ イスが 1 つだけリストされます。

音声デバイスはデフォルト デバイスであり、[Connect Audio] (音声に接 続) パネルに「Java Sound Audio Engine」として表示されます。

スマート カードに関する留意事項

Fedora サーバへの Virtual KVM Client (VKC) スマート カードの接続

Virtual KVM Client (VKC) でスマート カードを使用して Linux® Fedora® サーバに接続する場合は、pcsc-lite ライブラリを 1.4.102-3 以降にアッ プグレードします。

ブラウザに関する留意事項

Fedora 使用時の Firefox のフリーズに関する問題の解決

Fedora[®] サーバを使用している場合に Firefox[®] にアクセスすると、Firefox を開くときに Firefox がフリーズすることがあります。

この問題を解決するには、libnpjp2.so という Java[™] プラグインをサーバ にインストールします。



この章の内容

一般的な FAQ	159
リモート アクセス	162
ユニバーサル仮想メディア	166
帯域幅と KVM-over-IP のパフォーマンス	168
IPv6 ネットワーキング	172
サーバ	174
ブレード サーバ	175
インストール	177
ローカル ポート - KX III	179
拡張ローカル ポート	181
二重化電源	181
インテリジェント電源タップ (PDU) の管理	182
Ethernet と IP ネットワーキング	183
ローカル ポートの統合およびカスケード接続	185
コンピュータ インタフェース モジュール (CIM)	188
セキュリティ	189
スマート カード認証と CAC 認証	191
管理機能	192
ドキュメントおよびサポート	194
その他	195

一般的な FAQ



Ap E: FAQ

質問	回答
Dominion KX III とは何ですか?	Dominion KX III は第 3 世代のデジタル KVM (キーボード、ビデオ、マウス) スイッチです。 1、2、4、または 8 人の IT 管理者は BIOS レ ベルの機能を使用して、ネットワーク上の 8、 16、32、または 64 台のサーバにアクセスし、 そのサーバを制御できます。Dominion KX III で はハードウェアと OS が完全に独立している ため、サーバがダウンしているときでも、ユー ザはトラブルシューティングや再設定を行え ます。
	ラックからアクセスする場合も Dominion KX III では従来のアナログ KVM スイッチと同様 の機能性と利便性が提供され、スペースやコス トを削減できます。その一方、Dominion KX III には業界最高のパフォーマンスを誇る KVM-over-IP 技術も組み込まれているため、複 数の管理者がネットワーク接続されたワーク ステーション、iPhone®、iPad® からサーバ KVM コンソールにアクセスできます。



質問	回答
KX III は、KX II とどう違うのです か?	KX III は、KX II の次世代バージョンです。処 理能力とストレージが増強された最新のハー ドウェア設計を特徴とする KX III では、IT 管 理向けの KVM-over-IP アクセス、およびブロ ードキャスト アプリケーション向けの高パフ オーマンスの IP アクセスが実現されます。KX III には、X II のほぼすべての機能と、以下の先 進技術が組み込まれています。
	KX III の新しいビデオ処理エンジンでは、従来 のコンピュータ アプリケーションから、30 フ レーム/秒、1920 x 1080 ビデオ、24 ビット カ ラー、デジタル音声、デュアル モニタ、およ び DVI、HDMI、DisplayPort、VGA ビデオを必 要とするダイナミックなブロードキャスト ア プリケーションに至るまで、幅広いアプリケー ションがサポートされています。
	業界初の DVI ベースのローカル ポートを備 えた KX III の共通ユーザ インタフェースによ り、ローカル管理およびサーバ アクセスに関 してこれまでにない生産性やパフォーマンス が得られます。
	すべての KX III モデルにカスケード接続ポー トが装備されているため、複数の Dominion KX III を接続し、それぞれに接続されたサーバへの アクセスが可能になります。統合ポート リス ト経由で最大 1024 台のサーバにアクセスで きます。
	KX III は、KX II でサポートされていたすべて の Dominion CIM および Paragon II CIM をサ ポートします。



質問	回答
Dominion KX III がリモート制御ソ フトウェアと異なるのは、どのよう な点ですか?	Dominion KX III をリモートで使用すると、イン タフェースは一見 pcAnywhere™、Windows® Terminal Services/Remote Desktop、VNC などの リモート制御ソフトウェアと同じに見えます。 しかし Dominion KX III はソフトウェアではな く、ハードウェア ソリューションであるため、 より強力な機能を提供します。
	 ハードウェアや OS に依存しない: Dominion KX III を使用して、一般的なさまざまな OS が 稼動しているサーバ、たとえば、Windows、 Linux®、Solaris™ などが稼動する Intel®、Sun®、 PowerPC を搭載したサーバを管理できます。 状態に依存せず、エージェントも不要 - Dominion KX III では、管理サーバで OS を起動 している必要がありません。さらに、管理サーバに特別なソフトウェアをインストールする 必要もありません。
	アウトオブバンド - 管理サーバ自身のネット ワーク接続が利用できない場合でも、Dominion KX III を経由して管理できます。
	BIOS レベルのアクセス - サーバが起動時に 停止した場合や、セーフ モードでの起動が必 要な場合、またはシステム BIOS パラメータの 変更が必要な場合でも、Dominion KX III は問題 なく動作し、これらの設定を行えます。
Dominion KX III をラックにマウン トすることができますか?	使用できます。Dominion KX III には、標準 19 インチ ラック マウント ブラケットが同梱さ れています。また、逆向きに収容して、サーバ ポートがある面を前にすることもできます。
Dominion KX III のサイズはどのく らいですか?	Dominion KX III の高さはわずか 1U であり (2U である KX3-864 および KX3-464 を除 く)、標準の 19 インチ ラックに収容できます。 奥行きはわずか 29 cm です。Dominion KX3-832 および KX3-864 の奥行きは 36 cm です。

リモート アクセス



Ap E: FAQ

質問	回答
Dominion KX III ごとに何人のユー ザがサーバにリモート アクセスで きますか?	Dominion KX III モデルでは、ユーザ チャネル ごとに最大 8 人のユーザが 1 台のターゲッ ト サーバに同時にリモート アクセスし、その ターゲット サーバを制御することができま す。DKX3-116 のような 1 チャネルのデバイ スの場合、最大 8 人のリモート ユーザが 1 台のターゲット サーバにアクセスして制御す ることができます。DKX3-216 のような 2 チ ャネルのデバイスの場合は、チャネル 1 で最 大 8 人のユーザがあるターゲット サーバに アクセスして制御し、また、チャネル 2 で別 の最大 8 人のユーザが別のターゲット サー バにアクセスして制御することができます。4 チャネルのデバイスの場合は、チャネルごとに 最大 8 人のユーザ (合計で 8 x 4 = 32 人のユ ーザ) が、最大 4 台のターゲット サーバにア クセスし、それらのターゲット サーバにア クセスし、それらのターゲット サーバにア クセスし、それらのターゲット サーバにア クセスし、それらのターゲット サーバにア クセスし、それらのターゲット サーバにア クセスし、それらのターゲット サーバにア クセスし、最大 8 人のユーザが 1 台の ターゲット サーバにアクセスし、8 チャネル で最大 32 人のユーザがターゲット サーバに アクセスできます。
iPhone または iPad からリモート でサーバにアクセスできますか。	使用できます。KX III に接続されているサーバ に iPhone または iPad からアクセスできるよ うになりました。
2 人のユーザが同じターゲット サ ーバの画面を同時に表示できます か。	使用できます。最大 8 名のユーザが 1 台のサ ーバに同時にアクセスし、制御できます。
2 人のユーザが同じターゲット サ ーバにアクセスするとき、一方のユ ーザがリモートでアクセスし、もう 一方のユーザがローカル ポートか らアクセスすることはできますか。	使用できます。ローカル ポートはリモート " ポート"からは完全に独立しています。PC 共 有機能を使用することで、ローカル ポートか ら同じサーバにアクセスできます。



A		
ADI		AU
	_	

質問	回答
クライアントから Dominion KX III にアクセスする場合、どのようなハ ードウェア、ソフトウェア、ネット ワーク設定が必要ですか?	Dominion KX III は Web アクセスが可能なた め、アクセスするための特別なソフトウェアを お客様がクライアントにインストールする必 要はありません
	注:リリース KX III 3.0.0 では、モデムがサポー トされていませんが、今後のリリースでサポー トされる予定です。
	Dominion KX III には、以下の主要な Web ブラ ウザを使用してアクセスできます。Internet Explorer® および Firefox® を使用してアクセス できます。Dominion KX III には、Windows®、 Linux®、および Mac® デスクトップで、Raritan の Windows クライアントおよび Java [™] ベースの Virtual KVM Client [™] からアクセスできます。
	Dominion KX III 管理者は、便利なブラウザベー スのインタフェースを使用して、リモート管理 (パスワードとセキュリティの設定、サーバ名の 変更、IP アドレスの変更など) を行うこともで きます。



質問	回答		
Dominion KX III へのアクセスに使 用されるアプレットのファイル サ イズはどのくらいですか?また、こ の VKC アプレットを取得するの にどのくらいの時間がかかります か。	Dominion KX III へのアクセスに使用される Virtual KVM Client (VKC) アプレットのサイズは 約 500 キロバイトです。以下の表に、Dominion KX III のアプレットの取得に必要な時間をネッ トワークの速度ごとに示します。		
	100 Mbps	100 Mbps ネットワ ークの理論上の速 度	0.05 秒
	60 Mbps	100 Mbps ネットワ ークの実効速度	0.08 秒
	10 Mbps	10 Mbps ネットワ ークの理論上の速 度	0.4 秒
	6 Mbps	10 Mbps ネットワ ークの実効速度	0.8 秒
	512 Kbps	標準的なケーブル モデムのダウンロ ード速度	8 秒
Windows KVM クライアントは用意 されていますか。	使用できます。Raritan Active KVM Client (AKC) というネイティブの .NET Windows クライア ントが用意されています。「 <i>Active KVM Client</i> <i>(AKC) ヘルプ</i> 『78p.』」を参照してください。		
Windows 以外の KVM クライアン トは用意されていますか。	使用できます。Virtual KVM Client (VKC) では、 Windows 以外のユーザがデータ センタのター ゲット サーバに接続できます。「 <i>Virtual KVM</i> <i>Client (VKC) ヘルプ 『26</i> p. 』」を参照してく ださい。		
KVM クライアントは多言語対応 ですか。	使用できます。Dominion KX III のリモート HTML ユーザ インタフェースおよび KVM ク ライアントでは、日本語、簡体中国語、繁体中 国語に対応します。スタンドアロンでも CC-SG 経由でも多言語をサポートします。		



質問	回答
KVM クライアントにおいてデュ アル液晶モニタはサポートされて いますか。	使用できます。机上で複数台の液晶モニタを使 用して生産性を向上させたいお客様のために、 Dominion KX III では複数台のモニタに対して KVM セッションを確立できるようになってい ます。全画面モードと標準モードのどちらも使 用できます。
ビデオ カードを 2 枚搭載したサ ーバをサポートしますか。	はい。リモート ユーザが利用可能な拡張デス クトップ設定で、ビデオ カードが 2 枚サポー トされています。

質問	回答
Dominion KX III のどのモデルで仮 想メディアがサポートされていま すか?	すべての Dominion KX III モデルで仮想メディ アがサポートされています。スタンドアロンで も、Raritan の集中管理アプライアンスである CommandCenter® Secure Gateway を通じても使 用できます。
Dominion KX III では、どのタイプ の仮想メディアがサポートされて いますか?	Dominion KX III では、以下のタイプのメディア がサポートされています。内蔵または USB 接続 された CD/DVD ドライブ、USB 接続された大 容量ストレージ デバイス、PC の内蔵ハード デ ィスク、および ISO イメージです。



質問	回答
仮想メディアに必要なものは何ですか。	Dominion KX III 用の仮想メディア CIM が必要 です。VGA ベースの 2 つの CIM として、 D2CIM-VUSB および D2CIM-DVUSB がありま す。
	D2CIM-VUSB には USB コネクタが 1 つあり、 仮想メディアを OS レベルで利用したいお客様 に適しています。
	D2CIM-DVUSB には USB コネクタが 2 つあ り、仮想メディアを BIOS レベルで利用したい お客様に適しています。D2CIM-DVUSB は、ス マート カード認証、カスケード接続、デジタル 音声にも必要です。
	どちらの CIM でも、USB 2.0 インタフェースに 対応しているターゲット サーバへの仮想メデ ィア セッションがサポートされています。32 個セットおよび 64 個セットのお得な CIM パ ッケージが用意されています。これらの CIM で も、ずれないマウス (Absolute Mouse Synchronization [™]) やリモート ファームウェア更 新がサポートされています。
	弊社の CIM は、従来からアナログ VGA ビデオ をサポートしています。3 つの新しいデュアル 仮想メディア CIM では、DVI、HDMI、DisplayPort などのデジタル ビデオ形式をサポートしてい ます。この新しい CIM には、D2CIM-DVUSB DVI、D2CIM-DVUSB HDMI、 および D2CIM-DVUSB DP があります。
仮想メディアは安全ですか。	使用できます。仮想メディアのセッションは、 256 ビットの AES、128 ビットの AES または RC4 暗号化によって保護されます。
仮想メディアは実際に音声をサポ ートしていますか。	使用できます。音声の再生と Dominion KX III に 接続されたサーバへの録音が可能です。データ センタ内のリモート サーバで再生するサウン ドや音声を、デスクトップ PC またはラップト ップに接続したスピーカーを使用して聞くこと ができます。また、PC またはラップトップに接 続したマイクを使用してリモート サーバに録 音することもできます。デジタル CIM または D2CIM-DVUSB デュアル仮想メディア CIM が 必要です。



Ap E: FAQ

質問	回答
USB プロファイルとは何ですか。	一部のターゲット サーバでは、仮想メディアな ど USB ベースのサービスを利用するために、特別に構成された USB インタフェースを必要と します。USB プロファイルは、KX III の USB イ ンタフェースをターゲット サーバの特性に合 わせて調整するものです。
USB プロファイルを使用するのは なぜですか。	USB プロファイルは、BIOS レベルで特に必要 となります。仮想メディア ドライブにアクセス する際、BIOS レベルでは USB 仕様が完全にサ ポートされていないことがあります。一方、USB プロファイルは OS レベルで使用されることも あります。たとえば、Macintosh サーバや Linux サーバにおいてマウス動作を同期させる場合な どです。
USB プロファイルはどのように使 用しますか。	管理者は KX III の [Port Configuration] (ポート 設定) ページで、特定の USB プロファイルを使 用するように個々のポートまたはポート グル ープを設定できます。必要があれば、USB プロ ファイルを KX III クライアントで選択するこ ともできます。詳細については、ユーザ ガイド を参照してください。
仮想メディアを利用する際、USB プロファイルを必ず設定する必要 がありますか。	いいえ。仮想メディアを OS レベルで利用する 場合や、仮想メディアにアクセスせずに BIOS レベルで操作する場合、デフォルトの USB プロ ファイルで十分なケースがほとんどです。
使用可能なプロファイルはどれで すか。詳細情報はどこで入手できま すか。	使用できるプロファイルや詳細については、ユ ーザ ガイドを参照してください。

帯域幅と KVM-over-IP のパフォーマンス



質問	回答
KVM-over-IP システムで使用され る帯域幅はどのくらいですか。	Dominion KX III のまったく新しいビデオ処理 により、ビデオの柔軟性とパフォーマンスが向 上し、帯域幅を効率的に利用でき、LAN、WAN、 またはインターネット経由でいつでも、どこに でもアクセスできます。
	Dominion KX III では、ターゲット サーバから のキーボード、ビデオ、およびマウス信号のデ ジタル化、圧縮、および暗号化が行われ、IP ネ ットワーク経由でリモート クライアントに IP パケットが送信され、ユーザへのリモート セ ッションが形成されます。KX III は業界最高水 準のビデオ処理アルゴリズムを備えているの で、ローカル アクセスする場合と遜色ない画 質が得られます。
	画面が変更される際、帯域幅の大部分が使用されるので、キーボードとマウスの処理に割り当てられる帯域幅がかなり狭くなります。
	重要なのは、帯域幅はユーザがアクティブであ るときにのみ使用される、という点です。使用 される帯域幅は、サーバの画面表示の変更量に 基づいて決まります。
	画面が変更されない場合、つまり、ユーザがサ ーバとの間で対話操作をしていない場合、一般 に帯域幅はほとんどまたはまったく使用され ません。ユーザがマウスを動かした場合やキー ボードで文字を入力した場合、少量の帯域幅が 使用されます。複雑なスクリーン セーバを実 行している場合や動画を再生している場合、多 量の帯域幅が使用される可能性があります。
帯域幅は KVM-over-IP システム のパフォーマンスにどのような影 響を及ぼしますか。	一般に、帯域幅とパフォーマンスはトレードオ フの関係にあります。使用できる帯域幅が広い ほど、パフォーマンスが向上します。帯域幅に 制約のある環境では、パフォーマンスが低下す るおそれがあります。Dominion KX III は、多種 多様な環境で高いパフォーマンスを得られる ように最適化されています。



Ap E: FAQ

質問	回答
帯域幅に影響を及ぼす要素は何で すか。	帯域幅の使用量を決める要素はいろいろあり ます。最大の要素は前述のとおり、ターゲット サーバの画面表示の変更量です。画面表示の変 更量は、ユーザの操作内容によって異なりま す。
	その他の要素としては、サーバの画面解像度、 ネットワークの速度と特性、KVM Client の接続 プロパティ、クライアント PC のリソース、ビ デオ カードのノイズなどがあります。
KX III で一般的な作業を行う際に 使用される帯域幅はどのくらいで すか?	使用帯域幅は、主にユーザの操作内容によって 決まります。画面表示の変更量が多いほど、使 用される帯域幅も広くなります。



質問	回答
パフォーマンスおよび帯域幅を最 適化するにはどうすればよいです か?	KX III の、ユーザ向けのリモート クライアン トでさまざまな設定を行うことにより、帯域幅 とパフォーマンスを最適化できます。デフォル ト設定では、標準の LAN/WAN 環境において、 ローカル アクセスする場合と同等のパフォー マンスが得られると共に、使用帯域幅が節約さ れます。
	[Optimize For] (最適化): この設定で、標準の IT /コンピュータ アプリケーションまたはビ デオ/ブロードキャスト アプリケーションの ビデオ エンジンを設定します。
	[Compression] (圧縮):スライダを左に動かすと ビデオ品質が最高になり、右に動かすと帯域幅 が最小になります。
	[Noise Filter] (ノイズ フィルタ): ほとんどの場 合、デフォルトの設定で効果を発揮しますが、 レスポンシブ ビデオの場合は左に動かし、低 帯域幅の場合は右に動かすことができます。
	その他に帯域幅を狭くするためのヒントとして、以下の方法があります。
	 デスクトップの壁紙に、複雑な画像ではなく 無地の画像を使用する。
	 スクリーンセーハを無効にする。 ターゲット サーバで低いビデオ解像度を使用する
	 Windows のコントロール パネルの [画面] で、[ドラッグ中にウィンドウの内容を表示 する] チェック ボックスをオフにする。 シンプルな画像、テーマ (例: Windows クラ シック)、およびデスクトップを使用する
インターネット経由で接続したい と考えています。どの程度のパフォ ーマンスが期待できますか。	パフォーマンスは、リモート クライアントと KX III の間のインターネット接続の帯域幅と伝 送遅延によって決まります。ケーブル モデム 接続または高速 DSL 接続の場合、LAN/WAN 接続に近いパフォーマンスが得られる可能性 があります。低速ネットワークの場合は、前述 の推奨値に設定し、パフォーマンスを向上させ てください。


質問	回答
帯域幅の広い環境で KX III を使用 することを検討しています。パフォ ーマンスを最大化するにはどうす ればよいですか。	デフォルト設定で十分に機能します。 [Connection Properties] (接続プロパティ) 設定 を左に動かすと、ビデオ パフォーマンスを高 めることができます。
IP ネットワーク上でのリモート アクセスにおいてサポートされて いる最大ビデオ解像度はどのくら いですか。	Dominion KX III は、フル HD リモート画面解 像度 (1920 x 1080、フレーム レート:最大 30 フレーム/秒、デジタル音声付き)をサポートし ている、業界初かつ唯一の KVM-over-IP スイ ッチです。 また、よく使われる横長画面形式(例:1600 x 1200、1680 x 1050、1440 x 900)もサポートされ ているので、リモート ユーザは最近販売され ている高解像度モニタを使用できます。
音声はどれくらいの帯域幅を使用 しますか。	使用する音声形式のタイプにもよりますが、CD 品質の音声を聞く場合は、約 1.5 Mbps が使用 されます。
DVI ポート搭載サーバはどのよう に接続できますか。	DVI-A (アナログ) と DVI-I (アナログ/デジタ ル統合) をサポートする DVI ポートを備えた サーバでは、Raritan の低価格の ADVI-VGA パ ッシブ アダプタを使用して、サーバの DVI ポ ートを VGA プラグに変換し、KX III CIM の VGA プラグに接続できます。 DVI-I または DVI-D (デジタル) をサポートす る DVI ポートを搭載したサーバでは、新しい D2CIM-DVUSB DVI CIM を使用できます。

IPv6 ネットワーキング



質問	回答
IPv6 とは何ですか。	 IPv6 は "Internet Protocol Version 6"の頭字語です。 IPv6 は次世代の IP プロトコルであり、現在使用されている Internet Protocol Version 4 (IPv4) プロトコルを置き換えるものです。 IPv6 は、IPv4 が抱えているさまざまな問題を解決します(例: IPv4 アドレスの枯渇)。 経路選択やネットワーク自動設定などの機能が IPv4よりも向上しています。IPv6 は徐々に IPv4 を置き換えていくと予想されています。つまり、数年間は両者が共存することになります。 管理者の観点から見ると、IPv6 は IP ネットワークの大きな問題の1 つを解消します。その問題とは、IP ネットワークの設定作業と保守作業です。
KX III で IPv6 ネットワーキ ングがサポートされているの はなぜですか?	米国のさまざまな政府機関と国防総省は、調達時に IPv6 対応製品を購入するよう義務付けられています。 また、多くの企業および国(例:中国)が、今後数年 間で IPv6 に移行する予定です。
デュアル スタックとは何で すか。また、デュアル スタッ クが必要なのはなぜですか。	デュアル スタックとは、IPv4 と IPv6 のプロトコル を同時にサポートする機能のことです。IPv4 から IPv6 に徐々に移行していくことを考えると、デュアル スタックは IPv6 をサポートするうえで必須機能であ ると言えます。
KX III 上で IPv6 を有効にす るにはどうすればよいです か?	[Device Settings] (デバイス設定) タブから [Network Settings] (ネットワーク設定) ページを開きます。次 に、[IPv6 Address] (IPv6 アドレス) チェック ボックス をオンにし、[IP Auto Configuration] (IP 自動設定) ボ ックスの一覧で値を選択します。詳細については、ユ ーザ ガイドを参照してください。
IPv6 アドレスが設定された 外部サーバがあります。この 外部サーバを KX III と併用 する場合、どうなるでしょう か?	 KX III から外部サーバ (SNMP マネージャ、syslog サーバ、LDAP サーバなど)の IPv6 アドレスを使用してそうしたサーバにアクセスすることができます。 具体的に言うと、KX III のデュアル スタック アーキテクチャを使用することにより、IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、またはホスト名を指定してこれらの外部サーバにアクセスすることができます。つまり KX III は、今後多くのお客様の社内で発生する IPv4/IPv6 混 在環境に対応できます。



質問	回答
社内ネットワークで IPv6 が サポートされていない場合、 どうなるでしょうか?	KX III は、出荷時設定では IPv4 だけを使用するよう になっています。社内ネットワークで IPv6 を使用で きる状態になったら、前述の「Dominion KX II 上で IPv6 を有効にするにはどうすればよいですか。」の手 順を実行し、IPv4/IPv6 デュアル スタックを有効にし ます。
IPv6 に関する詳細情報はど こで入手できますか。	www.ipv6.org に、IPv6 に関する全般情報が掲載されて います。また、KX III のユーザ ガイドでは、KX III に おける IPv6 のサポートについて説明されています。

サーバ

質問	回答
Dominion KX III の操作は Windows サーバに依存しますか?	必要ありません。ユーザは、どのようなシナリ オでも必ず使用できる KVM インフラストラ クチャに依存しているため(問題を解決するた めに KVM インフラストラクチャを使用する ような場面も考えられます)、Dominion KX III は 外部サーバからも完全に独立するよう設計さ れています。
Dominion KX III に接続するには、 サーバでどのような準備が必要で すか?	理想的なマウス同期を実現し、画面表示に影響 するスクリーンセーバや電源管理の機能をオ フにするように、マウス パラメータ オプショ ンを設定します。
マウス同期機能はどのようになっ ていますか。	これまでの KVM-over-IP のマウス同期は、不 満が残るものでした。Dominion KX III には「ず れないマウス」機能が備わっています。これに より、Windows サーバまたは Apple® Mac サー バを使用している場合は、サーバ側のマウス設 定を変更することなく、マウスの動きを厳密に 同期させることができます。その他のサーバの 場合は、インテリジェント マウス モードまた は高速なシングル マウス モードを使用すれ ば、サーバ側のマウス設定を変更せずに済みま す。



質問	回答
Dominion KX III には何が同梱され ていますか?	次のアイテムが同梱されています。(1) Dominion KX III ユニット、(2) クイック セットアップ ガイド、(3) 標準 19 インチ ラック マウント ブラケット、(4) ユーザ マニュアル CD-ROM、 (5) 使用地域の AC ライン コード、(6) 保証書 とその他の文書。

ブレード サーバ

質問	回答
ブレード サーバを Dominion KX III に接続できますか?	使用できます。Dominion KX III では、代表的な ブレード サーバ メーカー (HP®、IBM®、Dell®、 および Cisco®)の主要なブレード サーバ モデ ルがサポートされています
サポートされているブレード サー バはどれですか。	サポートされているモデルは次のとおりです。 Dell PowerEdge® 1855、1955、および M1000e、 HP BladeSystem c3000 と c7000、IBM BladeCenter® H、E、および S、Cisco UCS B-Series。
どの CIM を使用すればよいです か。	使用する CIM は、ご使用のブレード サーバの 製造元とモデルにおける KVM ポートのタイ プによって決まります。サポートされている CIM は、DCIM-PS2、DCIM-USBG2、 D2CIM-VUSB、および D2CIM-DVUSB です。
使用可能なアクセスおよび制御の 方法はどれですか。	Dominion KX III では、(1) ローカル ポートから アクセス、(2) IP を使用してリモート アクセ ス、(3) CC-SG 経由でアクセス、(4) モデムを 使用してアクセス、という 4 種類の方法によ り、自動で安全な KVM アクセスが可能です。
複数台のブレード サーバを切り替 える際、ホットキーを使用する必要 がありますか。	一部のブレード サーバでは、複数台のブレー ド サーバを切り替える際にホットキーを使用 する必要があります。Dominion KX III では、ホ ットキーを使用する必要はありません。ブレー ド サーバの名前をクリックするだけで、自動 的にそのブレード サーバに切り替わります。 ホットキーを明示的に使用する必要はありま せん。



質問	回答
ブレード サーバの管理モジュール にアクセスできますか。	使用できます。管理モジュールの URL を定義 し、Dominion KX III または CommandCenter Secure Gateway からアクセスすることができ ます。ワンクリック アクセスが設定されてい る場合、1 回のクリック操作でアクセスできま す。
Dominion KX III には何台のサーバ を接続できますか?	パフォーマンス上および信頼性上の理由によ り、1 台の Dominion KX III に接続できるブレ ード シャーシは、モデルにかかわらず最大 8 台です。接続するブレード サーバ筐体の台数 は、KX III でサポートされているリモート接続 数の 2 倍以内にすることを推奨します。たと えば、リモート チャネルが 2 本ある KX3-216 の場合、接続するブレード サーバ シャーシを 4 台以内にすることをお勧めします。もちろ ん、残りのサーバ ポートにブレード サーバを 接続することもできます。
当社は大企業であり、 CommandCenter Secure Gateway を 使用しています。CommandCenter Secure Gateway からブレード サー バにアクセスできますか。	使用できます。Dominion KX III 上でブレード サーバの設定が完了したら、CommandCenter Secure Gateway から KVM 接続を使用してブ レード サーバにアクセスできるようになりま す。さらに、ブレード サーバは、シャーシ別 に CommandCenter Secure Gateway のカスタム ビューにも表示されます。
インバンド KVM アクセスまたは 埋め込み KVM アクセスも必要な 場合はどうなりますか。	ブレード サーバに対するインバンド アクセ スおよび埋め込みアクセスは、CommandCenter Secure Gateway で設定できます。
一部のブレード サーバ上で VMware® を実行しています。この 構成はサポートされていますか。	使用できます。CommandCenter Secure Gateway を使用して、ブレード サーバ上で実行されて いる仮想マシンを表示し、また、その仮想マシ ンにアクセスすることができます。
仮想メディアはサポートされてい ますか。	これは、ブレード サーバによって異なります。 HP ブレードは、仮想メディアをサポートでき ます。IBM BladeCenter (BladeCenter T 以外) は、適切に設定されている場合には仮想メディ アをサポートします。仮想メディア CIM (D2CIM-VUSB または D2CIM-DVUSB) を使用 する必要があります。



質問	回答
ずれないマウス機能はサポートさ れていますか。	ブレード筐体内に KVM スイッチを備えてい るサーバの場合、通常、ずれないマウス機能は サポートされません。HP ブレードおよび Dell の一部のブレード サーバの場合は、CIM を各 ブレードに接続できるので、ずれないマウス機 能がサポートされます。
ブレード サーバへのアクセスは安 全ですか。	使用できます。ブレード サーバへのアクセス には、Dominion KX III の標準的なセキュリティ 機能(128 ビットまたは 256 ビットの暗号化 など)がすべて使用されます。その他、ブレー ド サーバ特有のセキュリティ機能がありま す。たとえば、ブレード サーバごとにアクセ ス権限を付与する機能や、入力されたホットキ ーを拒否する機能などがあるので、不正アクセ スの防止に役立ちます。
Dominion KSX II および KX III-101 で、ブレード サーバはサポートさ れていますか?	現時点では、これらの製品ではブレード サー バはサポートされていません。

インストール

質問	回答
Dominion KX III を設置するには、 ユニット本体のほかに何を Raritan に注文する必要がありますか?	Dominion KX III に接続するサーバごとに、サー バのキーボード、ビデオ、マウス ポートに直 接接続するアダプタである Dominion または Paragon コンピュータ インタフェース モジュ ール (CIM) が必要です。
導入時、どのタイプの Cat5 ケーブ ルを使用すればよいですか。	Dominion KX III では、Cat5、Cat5e、または Cat6 の標準 UTP (非シールド ツイスト ペア) ケー ブルを使用できます。Raritan のマニュアルや販 売資料では、単に「Cat5」と記載されています。 実際には、Dominion KX III にはどのブランドの UTP ケーブルも使用できます。



質問	回答
Dominion KX III には、どのタイプ のサーバおよび PC を接続できま すか?	Dominion KX III はサーバのベンダを選びませ ん。標準に準拠したキーボード ポート、ビデ オ ポート、およびマウス ポートを搭載してい るあらゆるサーバを接続できます。さらに、シ リアル ポートを搭載したサーバは、 P2CIM-SER CIM を使用して管理できます。
どのようにサーバを Dominion KX III に接続すればよいですか?	Dominion KX III に接続するサーバには、サーバ のキーボード ポート、ビデオ ポート、マウス ポートに直接接続する Dominion CIM または Paragon CIM が必要です。Cat5、Cat5e、Cat6 な どの標準 UTP(非シールド ツイスト ペア)ケ ーブルを使用して、各 CIM を Dominion KX III に接続します。
サーバは、Dominion KX III からど のくらいの距離に設置できます か?	サーバの種類にもよりますが、一般に、サーバ は Dominion KX III から最大で 45 m (150 フィ ート)離れた場所に設置できます (詳細につい ては、「ターグット サーバのサポートされて いる画面解像度、接続距離、およびリフレッシ ュレート 『124p. 』」を参照してください)。 仮想メディアとずれないマウスをサポートし ている D2CIM-VUSB CIM の場合、推奨範囲は 30 m (100 フィート)です。
オペレーティング システムによっ ては、操作中にキーボードかマウス を切断した場合、システムがロック する場合があります。それらを切断 しても Dominion KX III に接続して いるサーバがロックしないように するには、どうすればよいですか?	Dominion コンピュータ インターフェース モ ジュール (DCIM) ドングルは、それぞれ接続さ れているサーバに対する仮想キーボードや仮 想マウスとして動作します。この技術は、KME (キーボード/マウス エミュレーション) と呼 ばれます。Raritan の KME 技術は、データ セ ンタでの使用に耐えるグレードであり、厳正に テストされています。また、ローエンドの KVM スイッチの技術に比べてはるかに高い信頼性 が確保されています。この技術には 15 年間以 上に及ぶ実績も生かされており、世界中で何百 万台ものサーバに実装されています。
Dominion KX III に 接続されているサーバには何らか のエージェントをインストールす る必要がありますか?	Dominion KX III はハードウェアを介してサー バのキーボード用、ビデオ用、マウス用の各ポ ートに直接接続されるため、Dominion KX III に 接続されたサーバには、ソフトウェア エージ ェントを一切インストールする必要がありま せん。



質問	回答
Dominion KX III ユニットごとに何 台のサーバを接続できますか?	Dominion KX III モデルでは、1U シャーシの場 合は 8、16、または 32 個のサーバ ポートを、 2U シャーシの場合は 8 ~ 64 個のサーバ ポ ートが用意されています。このデジタル KVM スイッチ ポートの密度は、業界の最高水準で す。
サーバを Dominion KX III から切断 して別の Dominion KX II に再接続 した場合、または同じ Dominion KX III ユニットの別のポートに接続し た場合、どうなりますか?	サーバ接続先ポートを変更した場合、サーバ ポート名が自動更新されます。この変更内容 は、ローカル クライアントおよびすべてのリ モート クライアントに反映されます。CC-SG を使用している場合は、CC-SG にも反映され ます。
Cisco のルータやスイッチ、Sun ヘ ッドレス サーバなど、シリアル制 御 (RS-232) デバイスは、どのよう に Dominion KX III に接続すれば よいですか?	シリアル制御デバイスの数が少ない場合は、 Raritan の P2CIM-SER シリアル変換器を使用 して Dominion KX III に接続できます。 お客様は、Dominion KSX II (KVM およびシリア ルの統合スイッチ) の導入を検討することもで きます。DKSX-144 は、4 つの KVM-over-IP ポ ートおよび 4 つのシリアル ポートを装備し ています。 DKSX-188 は、8 つの KVM-over-IP ポートお よび 8 つのシリアル ポートを装備していま す。 ただし、シリアル制御デバイスの数が多い場合 は、Raritan のセキュア コンソール サーバであ る Dominion SX 製品を使用することをお勧め します。Dominion SX は、Dominion KX III より も割安な価格で、より優れたシリアル機能を提 供できます。この SX は使いやすく、設定や管 理が簡単であるうえに、展開している Dominion シリーズと完全に統合できます。

ローカル ポート - KX III



質問	回答
ラックからサーバに直接アクセス できますか。	使用できます。Dominion KX III は、ラックで従 来の KVM スイッチと同じように機能し、1 組 のキーボード、モニタ、マウスを使用して、最 大 64 台のサーバを制御できます。ブラウザベ ースのユーザ インターフェイスまたはホット キーによってサーバを切り替えることができま す。
複数台の KX III のローカル ポー トを統合できますか?	使用できます。KX III のカスケード接続機能を 利用すれば、複数台の KX III のローカル ポー トを別の KX III に接続できます。これにより、 データ センタ内の 1 か所から統合ポート リ ストを使用して、KX III に接続されているサー バにアクセスできます。
自分がローカル ポートを使用して いるとき、他ユーザがサーバにリモ ート アクセスできないように設定 できますか。	いいえ。Dominion KX III のローカル ポートに は、サーバへの完全に独立したアクセス パスが あります。つまり、ユーザーはラックからサー バにローカル アクセスできます。ラックに同時 にリモート アクセスするユーザーの数を制限 する必要はありません。
USB キーボードまたは USB マウ スをローカル ポートで使用できま すか。	使用できます。Dominion KX III ローカル ポート エリアには、USB キーボード ポートおよびマウ ス ポートがあります。Dominion KX III には、 PS/2 ローカルポートはありません。PS/2 のキ ーボードおよびマウスを使用しているお客様 は、PS/2-USB アダプタを利用する必要があり ます。
ローカル アクセスする場合、オン スクリーン ディスプレイ (OSD) は表示されますか。	表示されます。ただし、Dominion KX III のラッ クからのアクセスは、従来の OSD よりもはる かに優れています。Dominion KX III にはローカ ル アクセス用に業界初のブラウザベースのイ ンタフェースが実装されされています。また、 ローカル ポートではローカル アクセスとリモ ート アクセスに同じインタフェースが使用さ れます。さらに、大半の管理機能をローカルで 実行できます。
ローカル ポートを使用していると き、サーバを切り替えるにはどうす ればよいですか。	ローカル ポートを使用しているとき、接続され ているサーバが、リモート クライアントと同じ 画面に表示されます。サーバを切り替えるには、 切り替え先サーバをマウスでクリックするか、 ホットキーを使用します。



質問	回答
承認されたユーザだけがローカル ポートからサーバにアクセスでき るようにするには、どうすればよい ですか。	ユーザがローカル ポートを使用するには、リモ ートでアクセスする場合と同レベルの認証を受 ける必要があります。これは次のことを意味し ます。
	Dominion KX III が外部 RADIUS、LDAP、または Active Directory [®] サーバと連動するよう設定し ている場合、ユーザがローカル ポートへのアク セスを試みると、同じサーバで認証されます。 外部認証サーバが利用できない場合は、Dominion KX III は自身の内部認証データベースにフェイ ルオーバします。
	Dominion KX III は独自のスタンドアロン認証を 備えているため、即座にインストールを有効に できます。

拡張ローカル ポート

質問	回答
拡張ローカル ポートとは何です か。	Dominion KX2-808、KX2-832、および KX2-864 には、拡張ローカル ポートが搭載されていま す。対応する Dominion KX III モデルには、拡 張ローカル ポートがありません。代わりに、 すべての KX III モデルには、カスケード接続 ポートが搭載されています。 KX III のデジタル ローカル ポートを拡張する 場合は、Raritan Cat5 Reach DVI 製品を使用す ると、500 メートルまでのローカル アクセス およびリモート アクセスが可能になります。
	「 <i>KX III と Cat5 Reach DVI の接続 - 拡張ロ ーカル ポート機能の提供</i> 『107p. 』」を参照 してください。

二重化電源



質問	回答
Dominion KX III には二重化電源オ プションがありますか?	使用できます。Dominion KX III の全モデルは、 AC 入力と AC 電源が二重化されており、自動 フェイルオーバ機能を備えています。KX III で は一方の電源入力や電源に障害が発生すると、 もう一方に自動的に切り替えられます。
Dominion KX III で使用する電源で は、電圧設定が自動検知されます か?	使用できます。Dominion KX III の電源は、100 ~ 240 V、50 ~ 60 Hz の範囲の AC 電圧で使用で きます。
電源または入力電力に障害が発生 した場合、通知されますか。	電源障害は Dominion KX III の前面パネルにあ る LED でユーザに通知されます。同時に、エン トリも監査ログに送信され、KX リモート クラ イアント ユーザ インタフェースに表示されま す。管理者によって設定されている場合は、そ の後 SNMP イベントまたは syslog イベントが 発生します。

インテリジェント電源タップ (PDU) の管理

質問	回答
Dominion KX III にはどのようなタ イプのリモート電源管理機能が用 意されていますか?	Raritan のインテリジェント PDU は、ターゲッ ト サーバやその他の機器の電源を管理するた めに Dominion KX III に接続できます。サーバ の場合は、簡単な設定作業を一度行えば、サー バ名をクリックするだけで電源を投入または 切断したり、停止したサーバに電源を再投入し たりできます。
Dominion KX III ではどのようなタ イプの電源タップがサポートされ ていますか?	Raritan の Dominion PX [™] 電源タップおよび Remote Power Control (RPC) 電源タップ。 この電源タップには、さまざまなコンセント、 コネクタ、およびアンペアの製品があります。 PM シリーズの電源タップはコンセントレベル で切り替えできないので、こうした電源タップ を Dominion KX III に接続しないでください。
Dominion KX III ユニットには何台 の PDU を接続できますか?	1 台の Dominion KX III に最大 8 台の PDU を接続できます。



質問	回答
PDU をどのように Dominion KX III に接続すればよいですか?	電源タップを Dominion KX III に接続するに は、D2CIM-PWR を使用します。D2CIM-PWR は別途購入する必要があります。PDU には付属 していません。
Dominion KX III では、複数の電源 を持つサーバはサポートされてい ますか?	使用できます。Dominion KX III では、複数の電 源タップに接続された複数の電源でサーバを サポートするよう簡単に設定できます。ターゲ ット サーバごとに 4 つの電源を接続できま す。
Dominion KX III には PDU の統計 情報と測定値が表示されますか?	使用できます。PDU レベルの電源統計情報 (例:電力、電流、電圧)が PDU から取得され、 ユーザに対して表示されます。
リモート電源管理では、接続されて いるサーバを特別に設定する必要 がありますか。	一部のサーバでは、電源をいったん切断して再 投入したときにサーバが自動再起動しないよ うに、BIOS が設定されています。このような サーバを使用する場合、そのサーバのドキュメ ントを読み、この設定を変更してください。
サーバの電源を入れ直すとどうな りますか。	これは、サーバの AC 電源コードをいったん抜いて再度差し込むのと同じことです。

Ethernet と IP ネットワーキング

質問	回答
Dominion KX III の Ethernet イン タフェースの速度はどのくらいで すか?	Dominion KX III では、 $10/100$ Ethernet に加えて ギガビット Ethernet もサポートされています。 Dominion KX III では 2 つの $10/100/1000$ Ethernet インタフェースがサポートされてお り、速度と二重化の設定を変更できます(自動検 知または手動で設定)。
ワイヤレス接続で Dominion KX III にアクセスできますか?	使用できます。Dominion KX III は標準の Ethernet を使用するだけでなく、高品質なビデ オ表示を保ちつつ、使用する帯域幅を抑えます。 そのため、ワイヤレス クライアントを Dominion KX III にネットワーク接続していても、サーバ の BIOS レベルの設定と管理をワイヤレスで行 えます。



質問	回答
Dominion KX III には、冗長フェイ ルオーバまたは負荷分散を行うた めのデュアル ギガビット Ethernet ポートが用意されていま すか?	使用できます。Dominion KX III には、冗長フェ イルオーバ機能を実現するためのデュアル ギ ガビット Ethernet ポートが搭載されています。 プライマリ Ethernet ポート (またはポートに接 続されているスイッチやルータ) に障害が発生 した場合、Dominion KX III が同じ IP アドレス を持つセカンダリ ネットワーク ポートにフェ イルオーバすることにより、サーバの動作が中 断されないようにします。自動フェイルオーバ は、管理者が有効にする必要があります。
Dominion KX III を VPN で使用で きますか?	使用できます。Dominion KX III では、レイヤ 1 ~ 4 において標準的なインターネット プロト コル (IP) 技術が使用されています。そのため、 標準的な Virtual Private Network (VPN) から届 いたトラフィックを簡単にトンネリングできま す。
KX III とプロキシ サーバを組み合 わせて使用できますか?	使用できます。リモート クライアント PC が適 切に設定されている場合、KX III を SOCKS プ ロキシ サーバと組み合わせて使用することが できます。詳細については、ユーザ マニュアル またはオンライン ヘルプを参照してください。
Dominion KX III にネットワーク ア クセスできるようにするためには、 ファイアウォールで TCP ポート をいくつ開く必要がありますか?	2 つのポートが必要です。TCP ポート 5000 で 他の Dominion デバイスを検知して Raritan デ バイスと CC-SG 間の通信を行います。また、 もちろんポート 443 で HTTPS 通信を行いま す。
また、これらのポートは変更できま すか。	使用できます。Dominion KX III の TCP ポート は管理者が設定できます。
Dominion KX III は Citrix® と共に 使用できますか?	設定を適切に行えば、Dominion KX III を Citrix などのリモート アクセス製品と共に使用でき ます。ただし、Raritan では十分なパフォーマン スを維持しつつ作業できるかどうかは保証でき ません。Citrix のような製品は、デジタル KVM スイッチと概念が似ているビデオ リダイレク ト技術が使用されています。したがって、併用 した場合 2 種類の KVM-over-IP 技術が同時に 使用されるという点にご注意ください。



質問	回答
Dominion KX III では DHCP を使 用できますか?	DHCP アドレス割り当ては使用できますが、 Raritan では固定 IP アドレスの設定を推奨して います。Dominion KX III はインフラストラクチ ャ デバイスであるため、固定 IP アドレスを使 用した方が、Dominion KX III に対してより効率 的にアクセスし、管理できます。
IP ネットワークから Dominion KX III にアクセスできなくなりまし た。原因は何でしょうか。	Dominion KX III はお客様の LAN または WAN ネットワークに依存しています。考えられる原 因は次のとおりです。
	Ethernet のオートネゴシエーション。ネットワ ークによっては、10/100 オート ネゴシエーシ ョンが適切に機能しないため、Dominion KX III ユニットを 100 Mb/全二重に設定するか、ネッ トワークに最適な設定を行う必要があります。
	IP アドレスの重複。Dominion KX III の IP アド レスが他のデバイスと 重複していると、ネットワーク接続を確立でき ない場合があります。
	ポート 5000 の競合。他のデバイスでポート 5000 を使用している場合は、Dominion KX III の デフォルト ポートを変更する必要があります (または、他のデバイスのポートを変更する必要 があります)。
	Dominion KX III の IP アドレスを変更するか、 新しい Dominion KX II に切り替える場合、KX III の IP アドレスと Mac [®] アドレスがレイヤ 2、レ イヤ 3 のネットワークに通知されるまで、十分 な時間が必要です。

ローカル ポートの統合およびカスケード接続



質問	回答
複数の Dominion KX III を 1 つの ソリューションとして統合するに は、物理的にどのように接続すれば よいですか?	複数台の KX III を互いに物理接続してローカ ル アクセスを統合するには、KX III のカスケ ード接続ポートを使用して、カスケード接続さ れた複数台の KX III の接続ポートをベース KX III に接続します。これにより、データ セ ンタ内の 1 か所から統合ポート リストを使 用して、KX III に接続されているサーバにアク セスできます。
	カスケード接続された KX III をベース KX III に接続するには、カスケード接続ポートを使用 する必要があります。
	統合ポート リストを使用したアクセスは、デ ータ センタ内だけでなくリモート PC からで も可能です。階層型ポート リストまたは検索 機能(およびワイルドカード)を使用すること により、カスケード接続 KX III に接続されて いるすべてのサーバにアクセスできます。 カスケード接続レベルは 2 段階までサポート
	されています。また、カスケード接続構成内の 最大 1,024 個のデバイスにアクセスできます。 リモート電源制御もサポートされています。
	将来のリリースでは、カスケード接続構成内で 仮想メディア、スマート カード、およびブレ ード サーバへのアクセスがサポートされる予 定です。もちろん、これらの機能は標準リモー ト接続においても利用できます。
	利便性を考慮して、IP ネットワーク上で統合ポ ート リストを使用してリモート IP サーバに アクセスできるようになっています。ただし、 CommandCenter から、またはサーバが接続され ている KX III からカスケード接続サーバにリ モート アクセスする方法の方が、パフォーマ ンスが高くなるので推奨されます。



質問	回答
Dominion KX III どうしを物理接続 する必要がありますか?	複数の Dominion KX III ユニットを物理的に相 互接続する必要はありません。その代わりに、 各 Dominion KX III ユニットをネットワークに 接続します。Raritan の CommandCenter Secure Gateway (CC-SG) 管理アプライアンスを使用 して展開すると、1 つのソリューションとして 自動的に一体となって機能します。
	CC-SG は、リモート アクセスおよびリモート 管理用の単一のアクセス ポイントとして機能 します。 たとえば、設定作業の集中管理、ファームウェ ア更新作業の集中管理、認証データベースの一 元化などが可能になるので便利です。 リモート アクセスを集中化する目的で
	CC-SG を使用しているお客様は、KX III のカ スケード接続機能を利用することにより、複数 台の KX III のローカル ポートを統合し、デー タ センタ内の 1 か所のコンソールから最大 1,024 台のサーバにローカル アクセスするこ とができます。
CC-SG は必要ですか。	集中管理システムを使用せずに Dominion KX III をスタンドアロンで使用したいお客様は、従 来どおり、複数台の KX III を IP ネットワーク 上で相互運用して規模を拡張することになり ます。複数台の Dominion KX III には、KX III の Web ベースのユーザ インタフェースからアク セスできます。



質問	回答
既存のアナログ KVM スイッチを Dominion KX III に接続できます か?	使用できます。アナログ KVM スイッチは、 Dominion KX III のサーバ ポートのいずれかに 接続できます。USB コンピュータ インタフェ ース モジュール (CIM) を使用して、既存のア ナログ KVM スイッチのユーザ ポートにつな ぐだけです。 ローカル ポートでホットキーベースの切り替 えをサポートしているアナログ KVM スイッ チを Dominion KX III にカスケード接続する と、統合ポート リストを介してリモートおよ びデータ センタを切り替えることができま す。 アナログ KVM スイッチの仕様はそれぞれ異 なっているため、Raritan では、サードパーティ 製の特定のアナログ KVM スイッチについて の相互運用性は保証していません。詳細につい ては、Raritan のテクニカル サポート部門にお 問い合わせください。

コンピュータ インタフェース モジュール (CIM)

質問	回答
CIM でサポートされているビデオ のタイプはどれですか。	弊社の CIM は、従来からアナログ VGA ビデ オをサポートしています。3 つの新しい CIM では、DVI、HDMI、DisplayPort などのデジタル ビデオ形式をサポートしています。この新しい CIM には、D2CIM-DVUSB DVI、D2CIM-DVUSB HDMI、および D2CIM-DVUSB DP があります。



質問	回答
Raritan のアナログ マトリックス KVM スイッチである Paragon の コンピュータ インタフェース モ ジュール (CIM) を Dominion KX III と共に使用できますか?	使用できます。特定の Paragon コンピュータ インタフェース モジュール (CIM) は、 Dominion KX III と連動する可能性があります (認定済みの CIM の最新リストについては、 Raritan の Web サイトで Dominion KX III リリ ース ノートを確認してください)。
	り高額のため (最大 304 m (1,000 フィート) の ビデオ送信向けの技術が組み込みまれている ため)、通常は Dominion KX III 用に Paragon CIM を購入することをお勧めします。また、 Paragon CIM を Dominion KX III に接続すると、 ビデオ送信距離は Dominion KX III CIM と同じ く最大で 46 m (150 フィート) となります。 Paragon に接続した場合の 304 m (1,000 フィ ート) ではありません。
Dominion KX III において Paragon Dual CIM はサポートされています か?	使用できます。Dominion KX III では、Paragon II Dual CIM (P2CIM-APS2DUAL および P2CIM-AUSBDUAL) がサポートされています。 これらの CIM を使用すれば、データ センタ内 のサーバを 2 台の異なる Dominion KX III に 接続できます。 一方の KX III が使用不能になった場合でも、
	もう一方の KX III からサーバにアクセスでき ます。つまり、冗長構成になり、リモート KVM アクセスを二重化できます。
	なお、これらは Paragon CIM なので、KX III の 拡張機能 (仮想メディア、ずれないマウス、音 声など) はサポートされません。

セキュリティ



質問	回答
Dominion KX III は FIPS 140-2 に 対応していますか?	Dominion KX III では、FIPS 140-2 実装ガイダン スに従って、Linux プラットフォームで実行さ れている FIPS 140-2 で検証された埋め込み暗 号化モジュールが使用されます。ビデオ、キー ボード、マウス、仮想メディア、およびスマー ト カードのデータで構成される KVM セッシ ョン トラフィックの暗号化には、この暗号化 モジュールが使用されます。
Dominion KX III ではどのような種 類の暗号化が使用されますか?	Dominion KX III の SSL 通信と自身のデータ ストリームでは、業界標準である極めて安全な 256 ビット AES、128 ビット AES、または 128 ビットの暗号化が使用されます。事実、暗号化 によって完全に保護されていないリモート ク ライアントと Dominion KX III の間ではデータ は転送されません。
Dominion KX III では、米国政府の NIST および FIPS 規格で推奨され る AES 暗号化がサポートされて いますか?	使用できます。Dominion KX III では、セキュリ ティを高めるために Advanced Encryption Standard (AES) が使用されます。256 ビットお よび 128 ビットの AES を利用できます。 AES は米国政府の承認した暗号アルゴリズム です。NIST (米国の国立標準技術研究所)の FIPS 規格 197 で推奨されています。
Dominion KX III では、ビデオ デー タの暗号化を行いますか?それと も、キーボードデータとマウス デ ータだけが暗号化されますか。	キーボードとマウスのデータのみを暗号化す る競合他社のソリューションとは異なり、 Dominion KX III ではセキュリティに関して妥 協していません。Dominion KX III では、キーボ ード、マウス、ビデオ、および仮想メディアの データの暗号化を行います。
Dominion KX III と、Active Directory、RADIUS、LDAP などの 外部認証サーバは、どのように統合 して機能しますか?	Dominion KX III には、非常に簡単な設定で、す べての認証要求を LDAP、Active Directory、 RADIUS などの外部サーバに転送するよう指定 できます。Dominion KX III は、認証されたユー ザごとに認証サーバからユーザが属するユー ザ グループを受け取ります。次に Dominion KX III は、ユーザが属するユーザ グループに基づ いてそのユーザのアクセス許可を決定します。



質問	回答
ユーザ名とパスワードはどのよう に保存されますか。	Dominion KX III の内部認証機能が使用される 場合、ユーザ名やパスワードなどの機密情報は すべて暗号化形式で保存されます。実際に、 Raritan のテクニカル サポートやプロダクト エンジニアリング部門を含め、誰もこれらのユ ーザ名やパスワードを読み出せません。
Dominion KX III では強力なパスワ ードがサポートされていますか?	使用できます。Dominion KX III には管理者が設 定できる強力なパスワード チェック機能があ ります。この機能によって、ユーザの作成した パスワードが企業または政府の標準を満たし、 悪意のあるハッキング行為によって暴かれな いようにします。
自社固有のデジタル証明書を Dominion KX III にアップロードで きますか?	使用できます。お客様は、自己署名されたデジ タル証明書または認証局発行のデジタル証明 書を Dominion KX III にアップロードできま す。これにより、認証機能を強化し、通信のセ キュリティを高めることができます。
Does the KX III ではセキュリティ バナーをカスタマイズできます か?	使用できます。政府機関や軍のようなセキュリ ティを重視するお客様では、ユーザがログイン する前にセキュリティ メッセージを表示する 必要があります。KX III では、カスタマイズ可 能なバナー メッセージを表示できます。また、 このメッセージへの同意を義務付けることも できます。
当社のセキュリティ ポリシーで は、標準の TCP ポート番号の使用 を許可していません。TCP ポート 番号を変更できますか。	使用できます。セキュリティを強化するために 標準の TCP/IP ポート番号を使用したくない お客様の場合、Dominion KX III では管理者が代 替ポート番号を設定できるようになっていま す。

スマート カード認証と CAC 認証

質問	回答
Dominion KX III では、スマート カード	使用できます。ターゲット サーバへのスマ
認証と CAC 認証はサポートされてい	ート カード認証と DoD Common Access
ますか?	Card (CAC) 認証がサポートされています。



A	- E -	
AD		FAU
· • • •		

質問	回答
CAC とは何ですか。	Homeland Security Presidential Directive 12 (HSPD-12) によって義務付けられている CAC は、米国政府が作成し、米軍および政 府職員が使用するスマート カードの一種で す。CAC カードは、多彩な技術に基づく多 目的カードであり、識別カードを 1 つにま とめることを目標にしています。詳細につい ては、FIPS 201 規格を参照してください。
スマート カードと CAC がサポート されている KX III のモデルはどれで すか?	すべての Dominion KX III モデルでサポート されています。Dominion KX III-101 モデル では、現在スマート カードと CAC はサポ ートされていません。
大企業や中小企業でもスマート カー ドは使用されていますか。	使用できます。なお、スマート カードを最 も積極的に導入しているのは米国連邦政府 です。
スマート カードと CAC が サポートされている CIM はどれです か。	D2CIM-DVUSB、D2CIM-DVUSB DVI、 D2CIM-DVUSB HDMI、D2CIM-DVUSB DP の 各 CIM が必要です。
サポートされているスマート カード リーダーはどれですか。	必要なリーダー標準は、USB CCID と PC/SC です。認定済みのリーダーの一覧お よび詳細については、ユーザ マニュアルを 参照してください。
スマート カードと CAC の認証は、ロ ーカル ポートおよび CommandCenter で利用できますか。	使用できます。スマート カードと CAC の 認証は、ローカル ポートおよび CommandCenter で機能します。ローカル ポ ートを使用する場合は、互換性のあるスマー ト カード リーダーを Dominion KX III の USB ポートに接続します。

管理機能



質問	回答
Dominion KX III は Web ブラウザ を介してリモートで管理および設 定できますか?	使用できます。Dominion KX III は、Web ブラ ウザを介して完全にリモートで設定できます。 ただし、リモート クライアントに適切なバー ジョンの Java Runtime Environment (JRE) がイ ンストールされている必要があります。 Dominion KX III の IP アドレスの初期設定のほ か、ソリューションの関連事項をすべてネット ワーク上で設定できます(実際に、Ethernet クロ ス ケーブルと Dominion KX III のデフォルト IP アドレスを使用すると、Web ブラウザを介 して初期設定も変更できます)。
Dominion KX III の設定のバックア ップや復元は可能ですか?	使用できます。非常事態が発生した際に復旧を 行うため、Dominion KX III のデバイス設定とユ ーザ設定は完全にバックアップされます。 Dominion KX III のバックアップ機能と復元機 能は、ネットワークや Web ブラウザを介して リモートで使用できます。
Dominion KX III では、どのような 監視機能またはログ機能が提供さ れますか?	ユーザのアカウンタビリティをサポートする ため、Dominion KX III では主要なユーザ イベ ントが日付やタイム スタンプと共に記録され ます。記録されるイベントの例としては、ユー ザー ログイン、ユーザー ログアウト、特定の サーバへのユーザー アクセス、ログインの失 敗、設定の変更など。
Dominion KX III と syslog は一元 化できますか?	使用できます。Dominion KX III の独自の内部ロ グ機能に加え、Dominion KX III ではログ記録さ れたすべてのイベントを集中 syslog サーバに 送信できます。
Dominion KX III と SNMP は一元 化できますか?	使用できます。Dominion KX III の独自の内部ロ グ機能に加え、Dominion KX III では SNMP ト ラップを SNMP 管理システムに送信できま す。SNMP v2 および v3 がサポートされていま す。
管理者はユーザをログオフするこ とができますか。	はい。管理者は、どのユーザがどのポートにロ グインしているかを調べ、必要に応じて特定の ポートから、またはデバイスからユーザをログ オフすることができます。



質問	回答
Dominion KX III の内部クロックは 時刻サーバと同期できますか?	使用できます。Dominion KX III では、企業の時 刻サーバとパブリック時刻サーバのいずれか に同期するための業界標準の NTP プロトコル がサポートされています(企業ファイアウォー ル経由のアウトバウンド NTP リクエストが許 可されている場合)。

ドキュメントおよびサポート

質問	回答
オンライン ヘルプは利用できます か。	使用できます。オンライン ヘルプは、ドキュ メントと共に raritan.com にあり、KX III ユー ザ インタフェースから利用できます。 オンライン ヘルプには、リモート コンソー ル、Virtual KVM Client (VKC)、Active KVM Client (AKC)、およびローカル コンソールの使用法に 関する KX III 管理情報やエンド ユーザ情報、 および KX III の仕様、留意事項、KX III と Paragon II の使用法、Cat5 Reach DVI への KX III の接続方法、T1700-LED への KX III の接続 方法などが用意されています。
Dominion KX III のドキュメントは どこにありますか?	ドキュメントは、raritan.com にあり、ファーム ウェア リリース別に一覧表示されています。
どのようなドキュメントを入手で きますか。	クイック セットアップ ガイド、オンライン ヘルプ、管理者ガイドやユーザ ガイドの形式 でのヘルプの PDF バージョン、リリース ノー トなどが用意されています。
特定のサーバにどのような CIM を使用する必要がありますか。	KX III ドキュメントとして用意されている CIM ガイドを調べてください。DVI、HDMI、 DisplayPort の各ビデオ規格は、デジタル ビデ オ CIM でサポートされています。
KX III のハードウェア保証期間は どのくらいですか?	Dominion KX III の保証期間は標準で 2 年です が、保証期間を 5 年に延長することもできま す。



その他

質問	回答
Dominion KX III のデフォルト IP アドレスは?	192.168.0.192
Dominion KX III のデフォルト ユー ザ名とパスワードは?	Dominion KX III のデフォルトのユーザ名とパ スワードは「admin/raritan」です(すべて小文 字)。ただし、最高レベルのセキュリティを確保 するため、Dominion KX III ではユニットが最初 に起動した際に、管理者が Dominion KX III の デフォルト管理者ユーザ名とパスワードを変 更するよう要求されます。
Dominion KX III の管理者パスワー ドを変更したところ、新しいパスワ ードを忘れてしまいました。パスワ ードを取得してもらえますか?	Dominion KX III では、ハードウェア リセット ボタンを使用してデバイスを工場出荷時の設 定に戻すことができます。このとき、デバイス の管理者パスワードもデフォルトのパスワー ドにリセットされます。
Dominion KX II から Dominion KX III にはどのような方法で移行すれ ばよいですか?	ー般に、KX II のお客様には既存のスイッチを 長期間お使いいただけます。データ センタを 拡張する場合、お客様は新しい KX III モデル を購入して使用することが考えられます。 Raritan の集中管理アプライアンスである CommandCenter Secure Gateway (CC-SG) リリ ース 6.0 は、KX II および KX III をシームレ スにサポートします。
現在使用している KX II CIM は、 Dominion KX III でも動作します か?	使用できます。既存の KX II CIM は、Dominion KX III でも動作します。また、KX III で動作す る Paragon CIM をお選びください。これによ り、KVM over IP への切り替えを検討している Paragon II のお客様は、KX III に簡単に移行で きます。ただし、仮想メディア、ずれないマウ ス機能、および音声をサポートする D2CIM-VUSB CIM および D2CIM-DVUSB CIM を検討することをお勧めします。さらに、DVI、 HDMI、および DisplayPort をサポートするデジ タル ビデオ CIM も利用できます。



索引

E

[Auto-sense Video Settings] (ビデオ設定の自 動検出) - 40 [Color Accuracy] (色精度) - 30 [Connect] (接続) - 20 [Disconnect] (切断) - 21 [Full Screen Mode] (全画面モード) - 55 [General Settings] (全般) - 47 [Noise Filter] (ノイズ フィルタ) - 31 [Optimize for] (最適化) 選択 - 30 [Port Access] (ポート アクセス) ページ (リモ ート コンソール ディスプレイ) - 17,81 [Port Action] (ポート アクション) メニュー -17, 20, 27, 79 [Power Cycle] (電源の再投入) - 22 [Power Off] (電源オフ) - 22 [Power On] (電源オン) - 22 [Scaling] (拡大、縮小) - 54 [Send Ctrl+Alt+Del] (Ctrl+Alt+Del の送信) マ クロ - 34 [Send LeftAlt+Tab] (Send LeftAlt+Tab の送信) - 34 [Send Text to Target] (テキストをターゲット に送信) - 35 [Set Scan] (スキャン設定) タブ - 19 [Switch From] (切り替え) - 21 [Text Readability] (テキストの読みやすさ) - 30 [Video Mode] (ビデオ モード) - 30 [View by Group] (グループ別表示) タブ - 19 [View by Search] (検索して表示) タブ - 19 [View Status Bar] (ステータス バーの表示) -54 [View Toolbar] (ツール バーの表示) - 54

Α

Active KVM Client (AKC) ヘルプ - 8, 78, 165 AKC ダウンロード サーバ証明書の検証を有 効にする - 80 AKC でサポートされている Microsoft .Net Framework - 79 AKC でサポートされているオペレーティング システム - 79
AKC でサポートされているブラウザ - 80
AKC を使用するため前提条件 - 27, 78, 80

С

Cat5 Reach DVI の概要 - 107 CD-ROM/DVD-ROM/ISO イメージのマウント - 61, 64 CIM キーボード/マウス オプションの設定 -34 CIM に関する留意事項 - 146 Cookie を許可 - 80

D

Dell 筐体を接続する場合のケーブル長と画面 解像度 - 131 Dominion KX3-832 - 4 Dominion KX3-864 - 6 DVI 互換モード - 129

E

Ethernet と IP ネットワーキング - 183

F

FAQ - 159 Fedora サーバへの Virtual KVM Client (VKC) スマート カードの接続 - 158 Fedora 使用時の Firefox のフリーズに関す る問題の解決 - 158

Η

HTTP ポートおよび HTTPS ポートの設定 -140, 141

Ι

IPv6 ネットワーキング - 172

J

Java Runtime Environment (JRE) に関する留 意事項 - 143, 145 Java および Microsoft .NET の要件 - 143



198

Java が Mac に正しくロードされていない場合 - 146
 Java のキャッシュ機能の無効化および Java キャッシュのクリア - 145
 Java 検証およびアクセス警告 - 9

Κ

KXIII-KXIII 構成の Paragon CIM に関する ガイドライン - 114 KX III - Paragon II 構成に関するガイドライン - 115 KX III KVM Client アプリケーション - 8 KX III インタフェースおよびナビゲーション - 16 KX III オンライン ヘルプ -8 KX III から Paragon II へのアクセス - 111 KX Ⅲ でサポートされているターゲット サー バ画面解像度 - 123, 124 KX III と Cat5 Reach DVI の接続 - 108 KX III と Cat5 Reach DVI の接続 - 拡張ロー カル ポート機能の提供 - 1, 107, 181 KX III の写真および機能 -2 KX III の寸法および物理的仕様 - 119 KXIII の設置および設定 -9 KXIII の前提条件 - 56 KX III への Paragon II の接続 - 117 KX III へのログイン - 14, 81, 82 KX Ⅲ リモート コンソール - KX Ⅲ エンド ユーザ ヘルプ - 81 KX III リモート コンソール インタフェース -7, 16, 82 KX Ⅲ リモート/ローカル コンソール インタ フェース -7 KX III ローカル コンソール - KX III エンド ユーザ ヘルプ - 25,92 KX III ローカル コンソール インタフェース - 7, 25 KX III ローカル コンソール インタフェース への切り替え - デフォルトのホット キー -94 KX III ローカル コンソール ファクトリ リセ ット - 104 KX Ⅲ ローカル ポートのサポートされている DVI 解像度 - 93, 125 KX3-832 の写真 - 4

KX3-832 の特長 - 4 KX3-864 の写真 - 6 KX3-864 の特長 - 6

L

Linux クライアントからドライブに接続できない場合 - 148
Linux ターゲット サーバでマクロが保存されない場合 - 155
Linux ターゲット サーバに対して Windowsの3 ボタン マウスを使用する場合 - 146
Linux リモート クライアントの要件 - 133
Linux 環境での音声 - 157
Linux 環境での仮想メディア - 63

Μ

Mac Mini BIOS のキー入力コマンド - 138
Mac および Linux の仮想メディア USB ド ライブの切断 - 150
Mac クライアントからファイルの読み書きが できない場合 - 148
Mac でのビデオ画像の表示が暗い場合 - 151
Mac の JRE の要件およびブラウザに関する 注意事項 - 143
Mac 環境での音声 - 136
Mac 環境での仮想メディア - 63

Ρ

Paragon II と KX III の間でサポートされている接続距離 - 117
 PC 共有モードが有効になっている場合の音声接続に関する推奨事項 - 69, 135

R

root ユーザ権限の要件 - 63

S

Sun Composite Sync ビデオ - 151 Sun サーバへのアクセス時に使用できる特別 なキー組み合わせ - 96 SUSE と VESA のビデオ モード - 152

U

USB プロファイル - 33



V

Virtual KVM Client (VKC) ヘルプ - 8, 26, 78, 165 VKC および AKC でのポート スキャンの設 定 - 52, 85, 86, 98, 101

W

Windows 2000 での複合 USB デバイスの動作 - 147
Windows 2000 の仮想メディアへのアクセス - 150
Windows XP 環境での仮想メディア - 62
Windows キーボードによる Mac ターゲットへのアクセス - 140
Windows 環境での VKC および AKC を介した仮想メディア - 149
Windows 環境での音声 - 158

あ

アクセント記号 (Windows XP クライアント のみ) - 153 アクティブ システム パーティション - 63 インストール - 177 インテリジェント マウス モード - 44 インテリジェント マウス モードへの切り替 え - 44 インテリジェント マウス同期の条件 - 45 インテリジェント電源タップ (PDU) の管理 -182 オペレーティング システムの音声再生サポー ト - 73 お気に入りのアクセスおよび表示 - 91 お気に入りの管理 - 1, 24, 78, 89 お気に入りの有効化 - 90

か

カスケード接続デバイス - [Port Access] (ポー ト アクセス) ページ - 18 キーボード - 34 キーボード マクロ - 35 キーボードに関する留意事項 - 152 キーボードの制限 - 49 キーボード言語の設定 (Fedora クライアン ト) - 154 キャプチャ/再生バッファ サイズの調整 (音声 設定) - 76 キャレット記号 (Linux クライアントのみ) -152 クライアント コンピュータの仮想メディア ドライブへのアクセス - 60 クライアント起動設定 - 50 コンピュータ インタフェース モジュール (CIM) - 188

さ

サーバ - 174 サポートされていないスマート カード リー ダー - 134 サポートされている Paragon II CIMS および 設定 - 112 サポートされているオペレーティング システ ムとブラウザ - 142 サポートされているコンピュータ インタフェ ース モジュール (CIM) の仕様 - 65, 125 サポートされているスマート カード リーダ - - 133 サポートされているデジタル ビデオ CIM (Mac 用) - 127 サポートされているリモート接続 - 129 サポートされている音声/仮想メディアおよび スマート カード接続の数 - 137 サポートされている音声デバイス形式 - 68. 69 サポートされている仮想メディア オペレーテ ィング システム - 59 サポートされている仮想メディア タイプ・ 58 サポートされている仮想メディア ドライブ数 - 59 シングル マウス モード - 47 CC-SG の管理下にあるターゲットに接続 する場合 - 156 スマート カード - 65 スマート カード リーダーのアンマウント (取り外し)-68 スマート カード リーダーのマウント -67 スマート カード リーダーの検出 -66 スマート カード リーダーの更新 - 67 スマート カード リーダーへのアクセス時の 認証 - 66



スマート カードに関する留意事項 - 158 スマート カードの最小システム要件 - 65. 102, 131 スマート カードの最小システム要件、CIM、 およびサポートされているスマート カード リーダーとサポートされていないスマート カード リーダー - 65 スマート カードの取り外しおよび再挿入の通 知の送信 - 68 スマート カード使用時の PC 共有モードお よびプライバシー設定 - 66 スマート カード認証と CAC 認証 - 191 ずれないマウス モード - 44 セキュリティ - 189 セキュリティ警告および検証メッセージ-9. 10, 14, 82 その他 - 195 その他のセキュリティ警告 - 9,10 ソフトウェア - 3, 142

た

ターゲット コマンドによるスクリーンショッ ト (ターゲット スクリーンショット) - 42 ターゲット サーバ - 57 ターゲット サーバにアクセスする -92 ターゲット サーバのサポートされている画面 解像度、接続距離、およびリフレッシュ レ ─ ▷ - 124, 178 ターゲット サーバの要件 - 131 ターゲット サーバへの接続 - 27,78 ターゲットのスキャン - 87 ターゲットのスキャン・ローカル コンソー ル - 101 ツール オプション - 47,55 ティルデ記号 - 153 デジタル CIM タイミング モード - 128 デジタル CIM の既定モードおよび標準モー ド - 127. 128 デジタル CIM 既定モード - 128 デジタル CIM 標準モード - 129 デジタル音声 - 68 デジタル音声デバイスの接続 -73 デジタル音声デバイスの接続および切断 - 72. 73

デバイスのリセット ボタンによる KX III の リセット - 105 デフォルトの接続プロパティ設定 - 最適化に よる最高のパフォーマンスの実現 - 29 デュアル ビデオ ポート グループ - [Port Access] (ポート アクセス) ページ - 18 デュアル マウス モード - 44 ドキュメントおよびサポート - 194 ドライブ パーティション - 63

な

ネットワーク速度の設定 - 129

は

バージョン情報 - Virtual KVM Client - 76 ハードウェア - 2,119 はじめに -1 パスワードの変更-88 パッケージの内容 -2 ビデオ モードと解像度に関する留意事項 -93, 151 ビデオのプロパティ - 39 ビデオ設定の調整 - 40 ファイル追加後に仮想メディアが最新の情報 に更新されない - 150 ブラウザに関する留意事項 - 158 フランス語キーボード - 152 ブレード サーバ - 175 ブレード シャーシ - [Port Access] (ポート ア クセス) ページ - 18 ヘルプでの最新情報 -1 ポート スキャン オプションの使用 -86 ポート スキャンの設定 -53 ポート スキャン中のターゲット ステータス インジケータ - リモート コンソール - 85 ポート スキャン中のターゲット ステータス インジケータ - ローカル コンソール - 100 ポートのスキャン - リモート コンソール -17, 19, 52, 83, 97 ポートのスキャン - ローカル コンソール -85.97 ポートのスキャンのスライド ショー・リモ ート コンソール - 84 ポートのスキャンのスライド ショー・ロー カル コンソール - 98



索引

ホット キーと接続キー - 94 ポップアップの許可 - 9

ま

マウス オプション - 43 マウス ポインタの同期 (Fedora) - 156 マウスに関する留意事項 - 156 マウスの同期 - 46 マウス同期のヒント - 46 マクロのインポート - 37 マクロのエクスポート - 38 マクロの新規作成 - 35 モデルごとにサポートされているユーザ数と ポート数 - 7

Þ

ユーザが同時接続可能 - 93 ユニバーサル仮想メディア - 166

6

リモート PC - 56 リモート アクセス - 162 リモート アクセスに対応していない Mac キ ーボードのキー - 156 リモート クライアントの要件 - 132 ローカル コンソール スキャンの設定 - 52. 98, 101 ローカル コンソールの USB プロファイル オプション - 103 ローカル コンソールのスマート カード アク セス - 65, 102 ローカル コンソールの画面解像度 - 93 ローカル ドライブのマウント - 57 ローカル ドライブのマウントに関する留意事 項 - 57 ローカル ポート - KX III - 179 ローカル ポートで黒色の縞が表示される場合 - 151 ローカル ポートの統合およびカスケード接続 - 185 ローカル ポートの要件 - 131

漢字

一般的な FAQ - 159 音声 - 68, 157 音声デバイスの切断 - 75 音声の再生とキャプチャに関する推奨事項と 要件 - 69, 73, 135 音声の再生とキャプチャに関する問題 - 157 音声レベル - 69,135 音声設定の調整 - 76 音声設定の保存 - 72,73 仮想メディア-56 仮想メディア ドライブの切断 - 62 仮想メディア ファイル サーバのセットアッ プ (ファイル サーバ ISO イメージの場合 のみ) - 64 仮想メディアによりサポートされているタス ク-58 仮想メディアに関する留意事項 - 148 仮想メディアに必要な CIM - 57 仮想メディアの Linux ドライブが 2 回リス トされる - 150 仮想メディアの接続および切断 - 60 仮想メディアを使用するための条件 - 56 仮想メディア機能利用時におけるターゲット サーバの BIOS の起動時間 - 150 画面を更新する - 39 概要 - 1, 16, 26, 78, 81, 92, 107, 111, 145 各言語に対して KX III でサポートされている キーボード - 137 拡張ローカル ポート - 181 監査ログおよび Syslog でキャプチャされる イベント - 144 管理機能 - 192 高速の仮想メディア接続を使用した場合の仮 想メディアの接続エラー - 151 左パネル - 23 仕様 - 119 使用される TCP ポートおよび UDP ポート - 140 証明書のインストール - 9,10 色の調整 - 40 数字キーパッド - 153 接続キーの例 - 94 接続プロパティの概要 -28 接続プロパティの設定 - 1,28,32 接続プロパティへのアクセス -28 接続情報 - 32 接続情報のアクセスおよびコピー - 29.33 多言語対応キーボードの JRE の要件 - 144



索引

帯域幅と KVM-over-IP のパフォーマンス -168 帯域幅要件 - 70, 135 単一のリモート クライアントから複数のター ゲットへの接続 - 72, 73 読み取り/書き込み可能に設定できない状況 -58,60 二重化電源 - 181 入門 - 9 標準マウス モード - 46 表示オプション - 54 留意事項 - 137, 145 例 1 ブラウザへの証明書のインポート - 11, 14 例 2 [信頼済みサイト] への KX III の追加と証 明書のインポート - 13



😻 Raritan.

▶ 米国/カナダ/ラテン アメリカ

月曜日~金曜日
 午前 8 時~午後 8 時 (米国東海岸時間)
 電話:800-724-8090 または 732-764-8886
 CommandCenter NOC に関するお問い合わせ:6 を押してから 1 を押してください。
 CommandCenter Secure Gateway に関するお問い合わせ:6 を押してから 2 を押してください。
 Fax:732-764-8887
 CommandCenter NOC に関する電子メール:tech-ccnoc@raritan.com
 その他のすべての製品に関する電子メール:tech@raritan.com

▶ 中国

北京 月曜日~金曜日 午前9時~午後6時(現地時間) 電話:+86-10-88091890

上海 月曜日~金曜日 午前9時~午後6時(現地時間) 電話:+86-21-5425-2499

広州 月曜日~金曜日 午前9時~午後6時(現地時間) 電話:+86-20-8755-5561

🕨 インド

月曜日~金曜日 午前 9 時~午後 6 時 (現地時間) 電話 :+91-124-410-7881

▶ 日本

月曜日~金曜日 午前 9 時 30 分~午後 5 時 30 分 電話:03-5795-3170 電子メール:support.japan@raritan.com

🕨 ヨーロッパ

ヨーロッパ 月曜日~金曜日 午前8時30分~午後5時(GMT+1CET) 電話:+31-10-2844040 電子メール:tech.europe@raritan.com

英国 月曜日~金曜日 午前8時30分~午後5時(GMT) 電話:+44(0)20-7090-1390

フランス 月曜日~金曜日 午前8時30分~午後5時(GMT+1CET) 電話:+33-1-47-56-20-39

ドイツ 月曜日~金曜日 午前 8 時 30 分~午後 5 時 30 分 (GMT+1 CET) 電話 :+49-20-17-47-98-0 電子メール : rg-support@raritan.com

メルボルン (オーストラリア)

月曜日~金曜日 午前 9 時~午後 6 時 (現地時間) 電話:+61-3-9866-6887

▶ 台湾

月曜日~金曜日 午前 9 時~午後 6 時 (標準時:GMT-5、夏時間:GMT-4) 電話:+886-2-8919-1333 電子メール:support.apac@raritan.com